

## 生涯学習に関するアンケート報告

## 1 生涯学習に関するアンケート調査の概要

## (1) 調査目的

第2次香芝市生涯学習推進基本計画策定に向けて、香芝市民における生涯学習の取組み実態及び意向を把握することを目的として、一般市民へのアンケート調査、および生涯学習団体に参加して活動している市民へのアンケート調査を実施した。

また、香芝市内に立地する事業所における、従業員の生涯学習活動に対する支援の実態や今後の取組み意向を把握することを目的として、香芝市内事業所へのアンケート調査を実施した。

## (2) 調査方法

以下の通り、調査対象を抽出し、郵送法により調査を実施した。

	調査対象
一般市民アンケート調査	住民基本台帳より無作為に抽出した、16歳以上の市民 1,400名
生涯学習団体アンケート調査	市内の公共施設等で活動されている生涯学習団体の活動 参加者500名
事業所アンケート調査	香芝市内に本社がある、従業員10名以上の事業所100社

## (3) 調査時期

平成26年8月

## (4) 回収状況

それぞれのアンケート調査の回収状況は次の通りだった。

## &lt;回収結果&gt;

	配布数	回収数(回収率)	有効数
一般市民アンケート調査	1,400	613 (43.8%)	612
生涯学習団体アンケート調査	500	355 (71.0%)	355
事業所アンケート調査	100	55 (55.0%)	55

## 2 一般市民アンケート調査の結果

### (1) アンケート対象者の特性

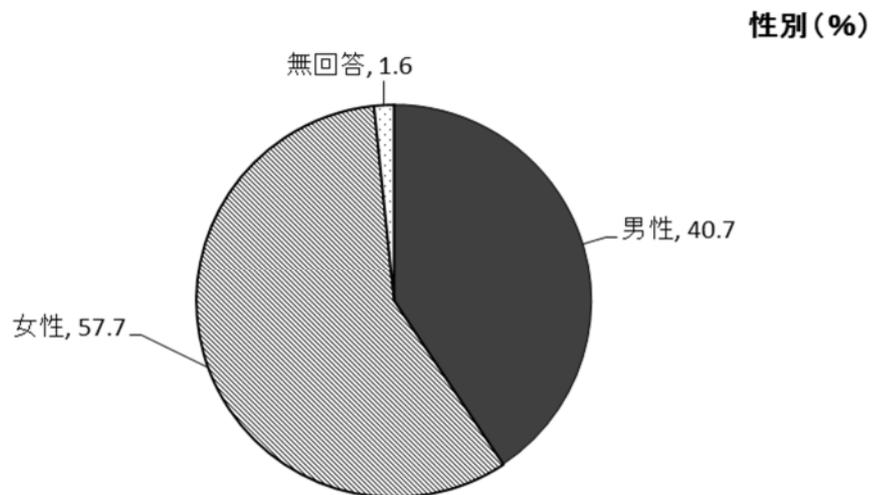
アンケート回答者の性別、年代、居住小学校区は次の通りだった。

#### 1) 性別

回答者の性別は、男性 40.7%、女性 57.7%で女性がやや多かった。

問1 あなたの性別についてお答えください。

問1	回答数	%
男性	249	40.7
女性	353	57.7
無回答	10	1.6
計	612	100.0

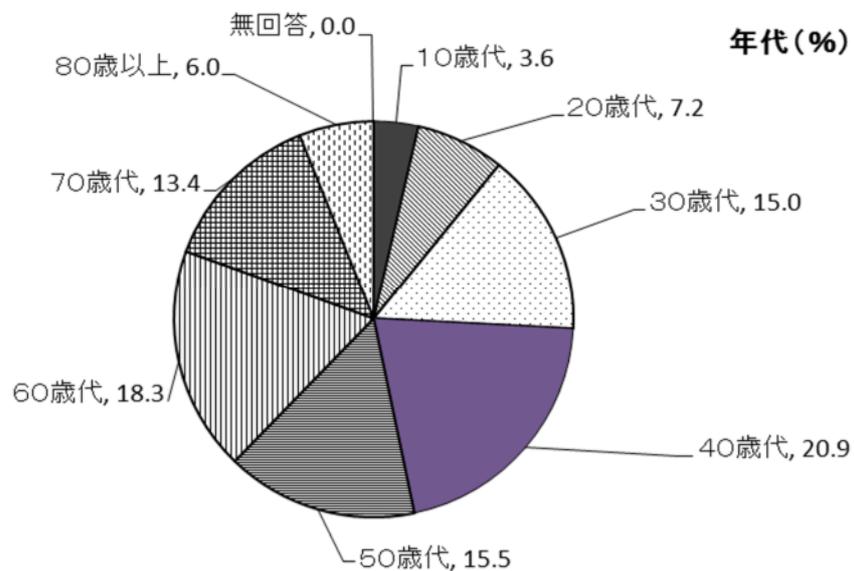


#### 2) 年齢

回答者の年齢は、40歳代が 20.9%、次いで 60歳代が 18.3%、50歳代 15.5%、30歳代 15.0%となった。

問2 あなたの年齢についてお答えください。(いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
10歳代	22	3.6
20歳代	44	7.2
30歳代	92	15.0
40歳代	128	20.9
50歳代	95	15.5
60歳代	112	18.3
70歳代	82	13.4
80歳以上	37	6.0
無回答	0	0.0
計	612	100.0

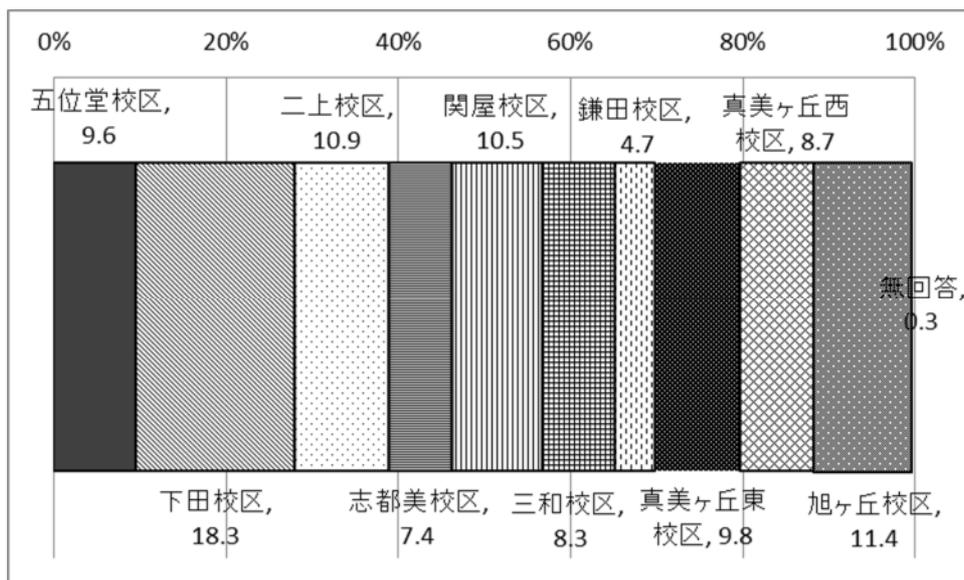


### 3) 居住小学校区

回答者の居住小学校区は、下田校区が 18.3%、次いで旭ヶ丘校区 11.4%、二上校区 10.9%、関屋校区 10.5%となった。

問3 あなたの校区についてお答えください。（いずれか1つに○を）

問3	回答数	%
五位堂校区	59	9.6
下田校区	112	18.3
二上校区	67	10.9
志都美校区	45	7.4
関屋校区	64	10.5
三和校区	51	8.3
鎌田校区	29	4.7
真美ヶ丘東校区	60	9.8
真美ヶ丘西校区	53	8.7
旭ヶ丘校区	70	11.4
無回答	2	0.3
計	612	100.0



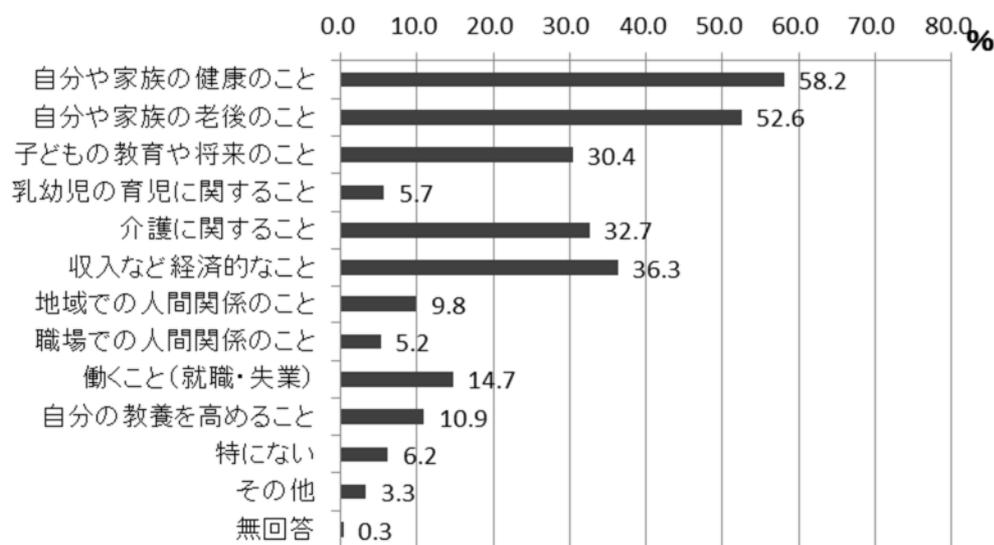
## (2) 日常生活での悩みや不安

日常生活で悩みや不安を感じていることをたずねたところ、「自分や家族の健康のこと」58.2%、「自分や家族の老後のこと」52.6%が多く、回答者の半数以上があげている。次いで「収入など経済的なこと」「介護に関すること」「子どもの教育や将来のこと」を3割以上の回答者があげている。

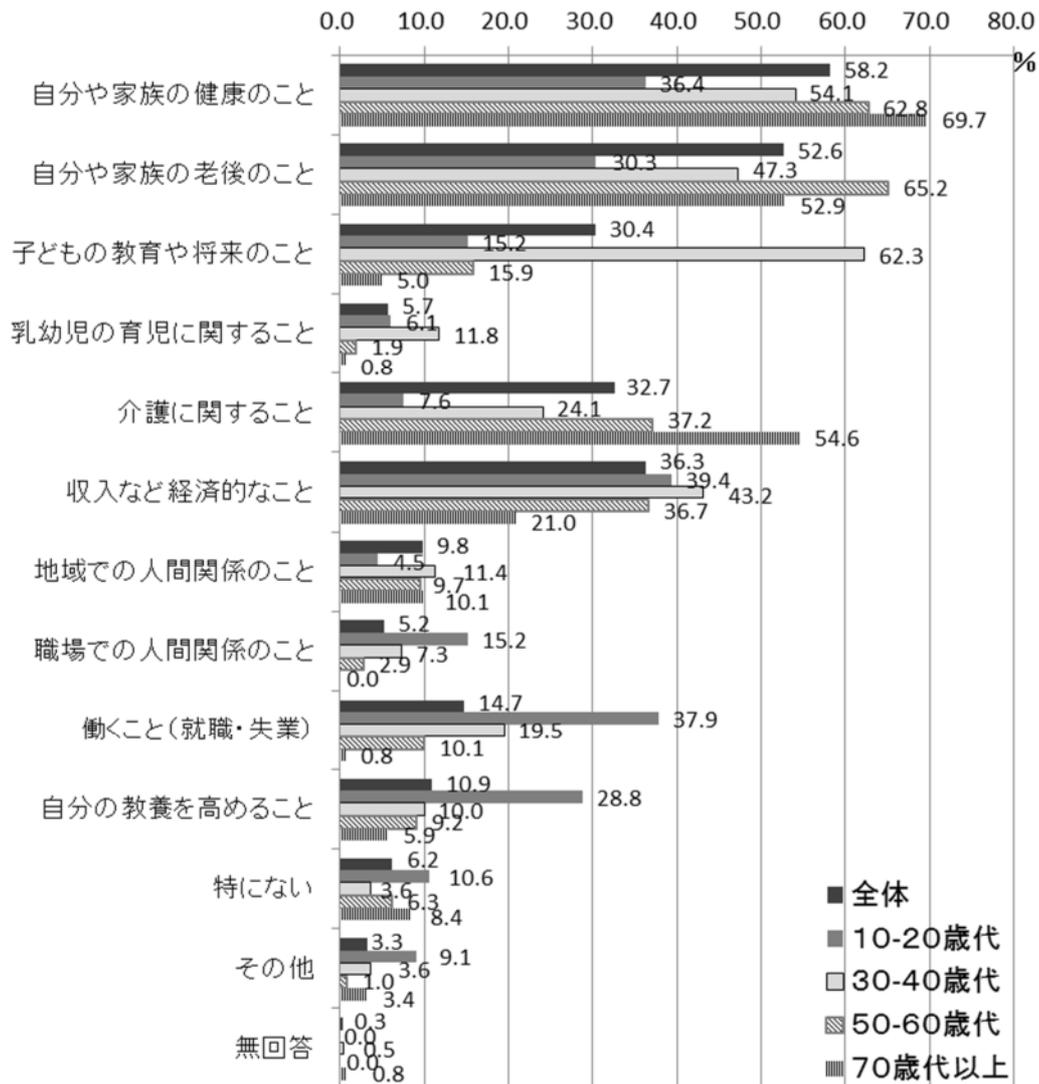
「自分や家族の健康のこと」「介護に関すること」は年代が上がるほど割合が大きくなっている。「自分や家族の老後のこと」は50-60歳代が最も大きくなっている。「子どもの教育や将来のこと」は30-40歳代で特に割合が大きくなっている。10-20歳代では「働くこと(就職・失業)」「自分の教養を高めること」「職場での人間関係のこと」の大きくなっている。

問4 あなたが、日常生活で悩みや不安を感じているとすれば、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○を)

問4(MA)	回答数	%
自分や家族の健康のこと	356	58.2
自分や家族の老後のこと	322	52.6
子どもの教育や将来のこと	186	30.4
乳幼児の育児に関すること	35	5.7
介護に関すること	200	32.7
収入など経済的なこと	222	36.3
地域での人間関係のこと	60	9.8
職場での人間関係のこと	32	5.2
働くこと(就職・失業)	90	14.7
自分の教養を高めること	67	10.9
特にない	38	6.2
その他	20	3.3
無回答	2	0.3
全体	612	-



問4(MA) 回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
自分や家族の健康のこと	24	36.4	119	54.1	130	62.8	83	69.7	356	58.2
自分や家族の老後のこと	20	30.3	104	47.3	135	65.2	63	52.9	322	52.6
子どもの教育や将来のこと	10	15.2	137	62.3	33	15.9	6	5.0	186	30.4
乳幼児の育児に関すること	4	6.1	26	11.8	4	1.9	1	0.8	35	5.7
介護に関すること	5	7.6	53	24.1	77	37.2	65	54.6	200	32.7
収入など経済的なこと	26	39.4	95	43.2	76	36.7	25	21.0	222	36.3
地域での人間関係のこと	3	4.5	25	11.4	20	9.7	12	10.1	60	9.8
職場での人間関係のこと	10	15.2	16	7.3	6	2.9	0	0.0	32	5.2
働くこと(就職・失業)	25	37.9	43	19.5	21	10.1	1	0.8	90	14.7
自分の教養を高めること	19	28.8	22	10.0	19	9.2	7	5.9	67	10.9
特にない	7	10.6	8	3.6	13	6.3	10	8.4	38	6.2
その他	6	9.1	8	3.6	2	1.0	4	3.4	20	3.3
無回答	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.8	2	0.3
全体	66	-	220	-	207	-	119	-	612	-



### (3) 地域活動等への参加

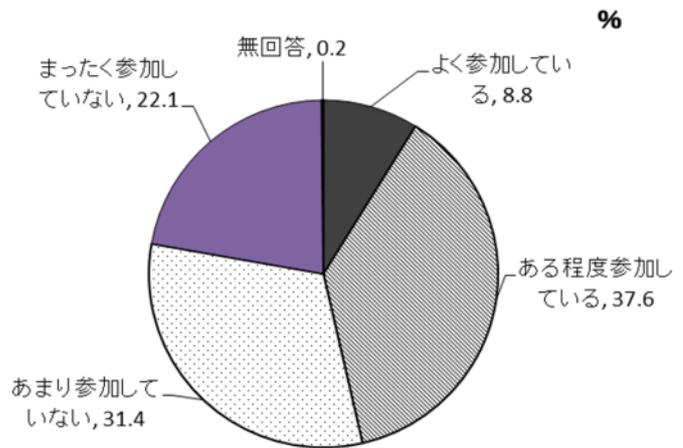
#### 1) 地域活動等への参加状況

地域の行事、地域活動等への参加状況をたずねたところ、「よく参加している」8.8%、「ある程度参加している」37.6%を合わせて、参加している人は50%を下まわっており、「まったく参加していない」が20%を超えている。

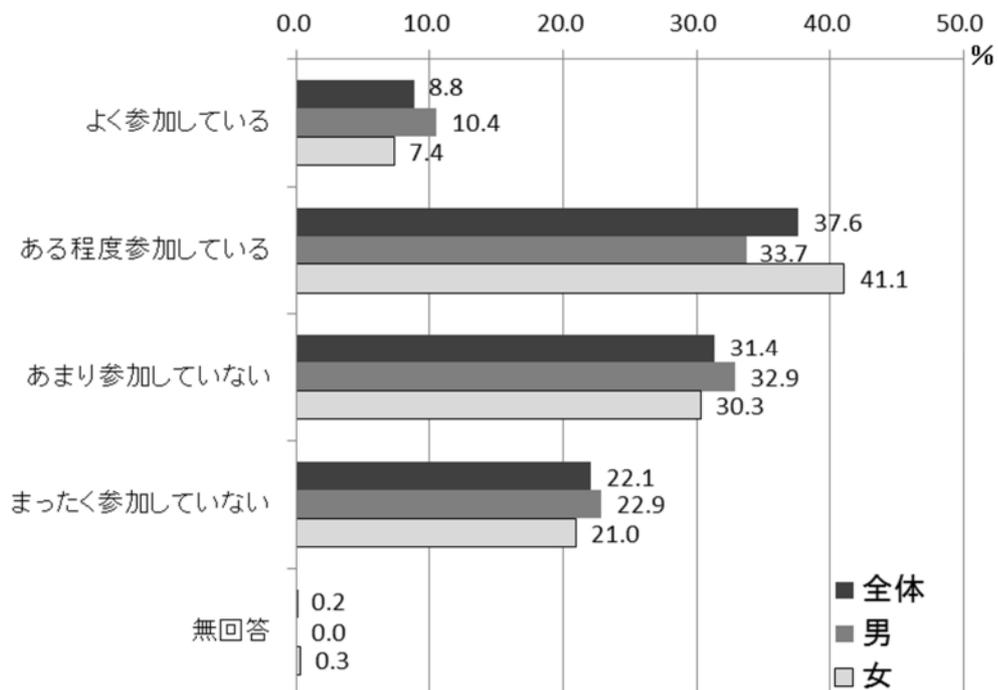
「よく参加している」と「ある程度参加している」を合わせた割合では、男性34.1%、女性48.5%で、女性の方の割合がやや大きくなっている。

問5 あなたは、地域の行事、地域活動等へ参加したことがありますか。(いずれか1つに○を)

問5	回答数	%
よく参加している	54	8.8
ある程度参加している	230	37.6
あまり参加していない	192	31.4
まったく参加していない	135	22.1
無回答	1	0.2
計	612	100.0

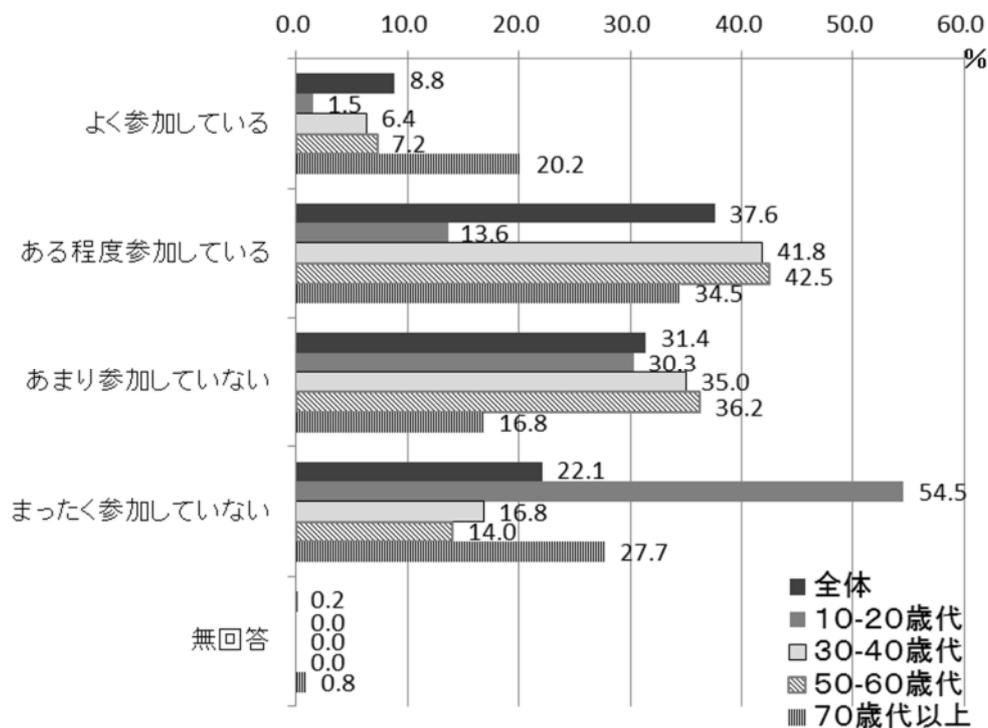


問5	回答数・%	男	%	女	%	不明	全体	%
よく参加している	26	10.4	26	7.4	2	54	8.8	
ある程度参加している	84	33.7	145	41.1	1	230	37.6	
あまり参加していない	82	32.9	107	30.3	3	192	31.4	
まったく参加していない	57	22.9	74	21.0	4	135	22.1	
無回答	0	0.0	1	0.3	0	1	0.2	
計	249	100.0	353	100.0	10	612	100.0	



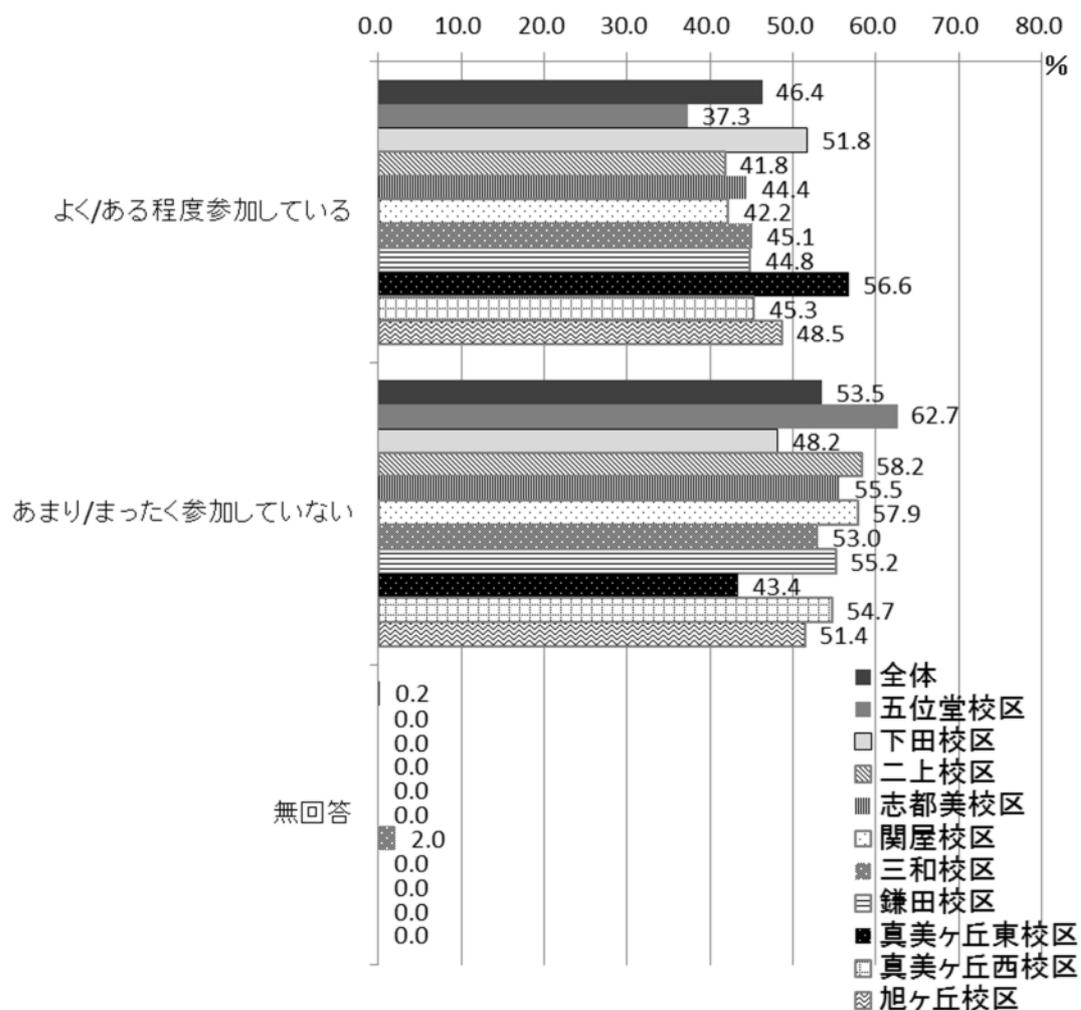
「よく参加している」は、70歳代以上で割合が大きく、「ある程度参加している」は、50-60歳代、30-40歳代の順で割合が大きかった。一方「まったく参加していない」は、10-20歳代で特に割合が大きく、次いで70歳代以上で大きくなっている。

問5	回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
よく参加している		1	1.5	14	6.4	15	7.2	24	20.2	54	8.8
ある程度参加している		9	13.6	92	41.8	88	42.5	41	34.5	230	37.6
あまり参加していない		20	30.3	77	35.0	75	36.2	20	16.8	192	31.4
まったく参加していない		36	54.5	37	16.8	29	14.0	33	27.7	135	22.1
無回答		0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	0.2
計		66	100.0	220	100.0	207	100.0	119	100.0	612	100.0



「よく参加している」「ある程度参加している」の合計では、真美ヶ丘東校区、下田校区で5割を超え割合が大きくなっている。一方「あまり参加していない」「まったく参加していない」の合計では、五位堂校区が6割を超え割合が大きくなっている。

問5 校区 回答数(%)	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
よく参加している	3 (5.1)	14 (12.5)	5 (7.5)	9 (20.0)	3 (4.7)	3 (5.9)	0 (0.0)	5 (8.3)	7 (13.2)	5 (7.1)	54 (8.8)
ある程度参加している	19 (32.2)	44 (39.3)	23 (34.3)	11 (24.4)	24 (37.5)	20 (39.2)	13 (44.8)	29 (48.3)	17 (32.1)	29 (41.4)	230 (37.6)
あまり参加していない	16 (27.1)	30 (26.8)	27 (40.3)	15 (33.3)	20 (31.3)	14 (27.5)	10 (34.5)	16 (26.7)	25 (47.2)	19 (27.1)	192 (31.4)
まったく参加していない	21 (35.6)	24 (21.4)	12 (17.9)	10 (22.2)	17 (26.6)	13 (25.5)	6 (20.7)	10 (16.7)	4 (7.5)	17 (24.3)	135 (22.1)
無回答	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.2)
計	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612

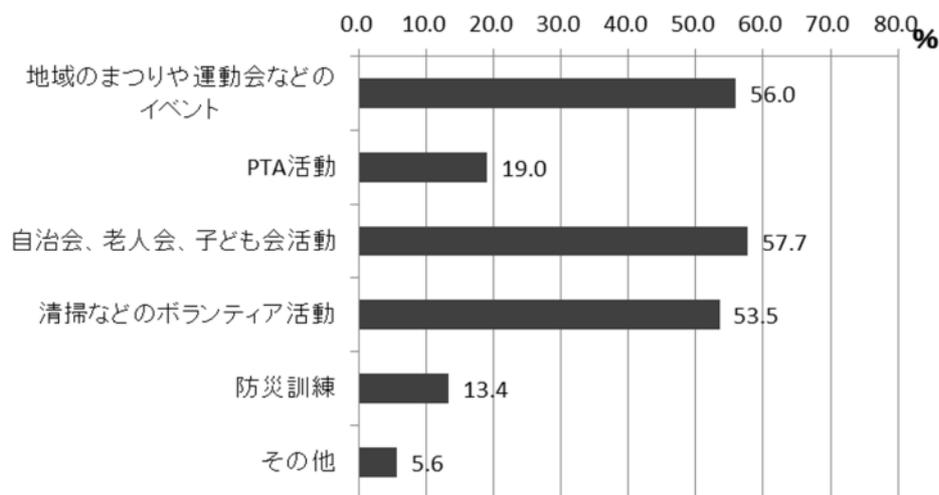


## 2) 参加している地域活動等の内容

地域活動等に「よく参加している」、「ある程度参加している」回答者に活動内容をたずねたところ、「自治会、老人会、子ども会活動」57.7%、「地域のまつりや運動会などのイベント」56.0%「清掃などのボランティア活動」53.5%で、5割以上で多かった。

問5-1 問5で「1.よく参加している、2.ある程度参加している」とお答えの方のみ、おたずねします。それはどのような活動ですか。（あてはまるものすべてに○を）

問5-1(MA)	回答数	%
地域のまつりや運動会などのイベント	159	56.0
PTA活動	54	19.0
自治会、老人会、子ども会活動	164	57.7
清掃などのボランティア活動	152	53.5
防災訓練	38	13.4
その他	16	5.6
無回答	0	0.0
問5回答1,2	284	-

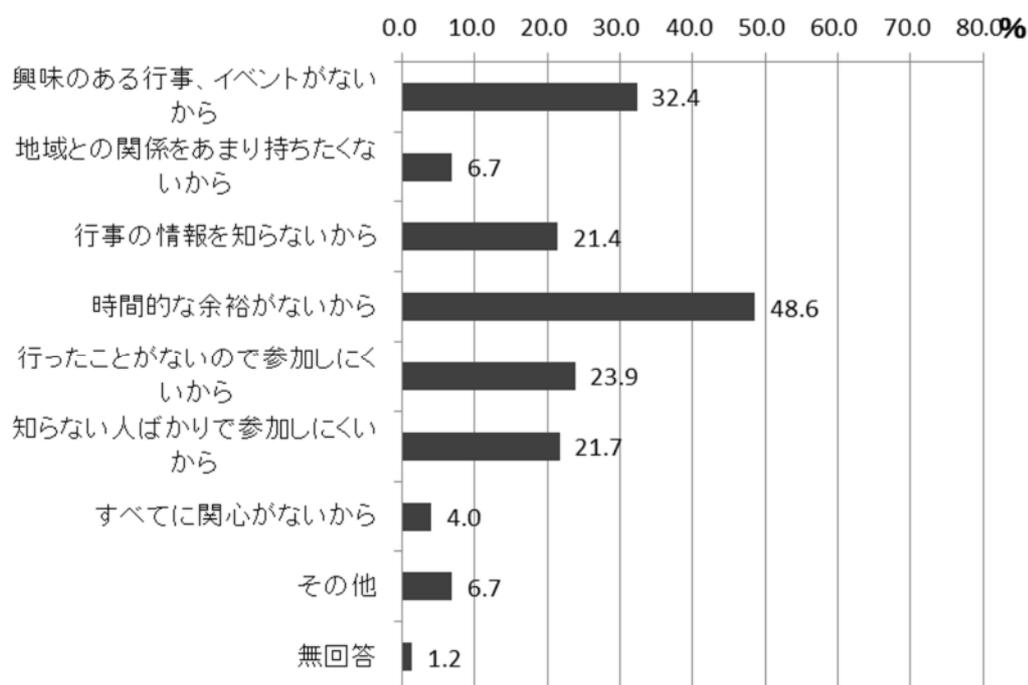


### 3) 地域活動等に参加しない理由

地域活動等に「あまり参加していない」、「まったく参加していない」回答者に参加しない理由をたずねたところ、「時間的な余裕がないから」48.6%が最も多く、次いで「興味のある行事、イベントがないから」32.4%、「行ったことがないので参加しにくいから」23.9%、「知らない人ばかりで参加しにくいから」21.7%だった。「行事の情報を知らないから」が21.4%あり、行事、地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないということは課題といえる。

問5-2 問5で「3.あまり参加していない、4.まったく参加していない」とお答えの方のみ、おたずねします。参加されない理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○を）

問5-2(MA)	回答数	%
興味のある行事、イベントがないから	106	32.4
地域との関係をあまり持ちたくないから	22	6.7
行事の情報を知らないから	70	21.4
時間的な余裕がないから	159	48.6
行ったことがないので参加しにくいから	78	23.9
知らない人ばかりで参加しにくいから	71	21.7
すべてに関心がないから	13	4.0
その他	22	6.7
無回答	4	1.2
問5回答3,4	327	-



#### (4) 生涯学習に関する活動状況

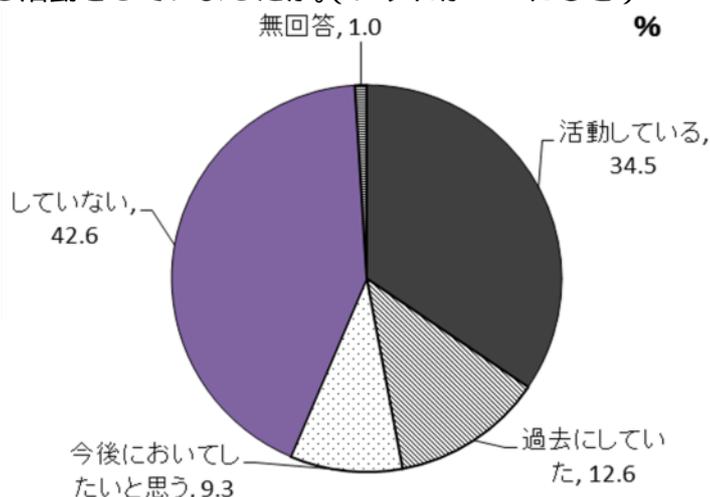
##### 1) 生涯学習に関する活動状況

この1年間の「生涯学習」に関する活動状況をたずねたところ、「活動している」は34.5%、「過去にしていた」12.6%「今後においてしたいと思う」を合わせると50%を上まわるが、「していない」が42.6%で多数を占めている。

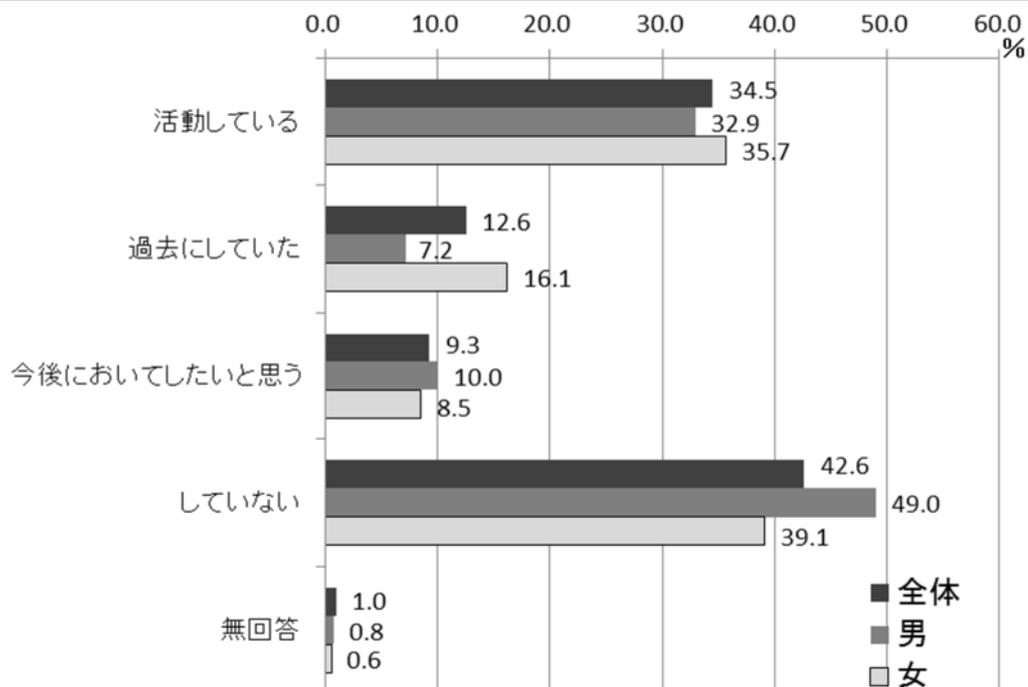
「活動している」、「過去にしていた」では、女性の方が割合が大きく、「していない」では男性の方が割合が大きくなっている。

問6 あなたは、この1年間に「生涯学習」に関する活動をしていましたか。(いずれか1つに○を)

問6	回答数	%
活動している	211	34.5
過去にしていた	77	12.6
今後においてしたいと思う	57	9.3
していない	261	42.6
無回答	6	1.0
計	612	100.0

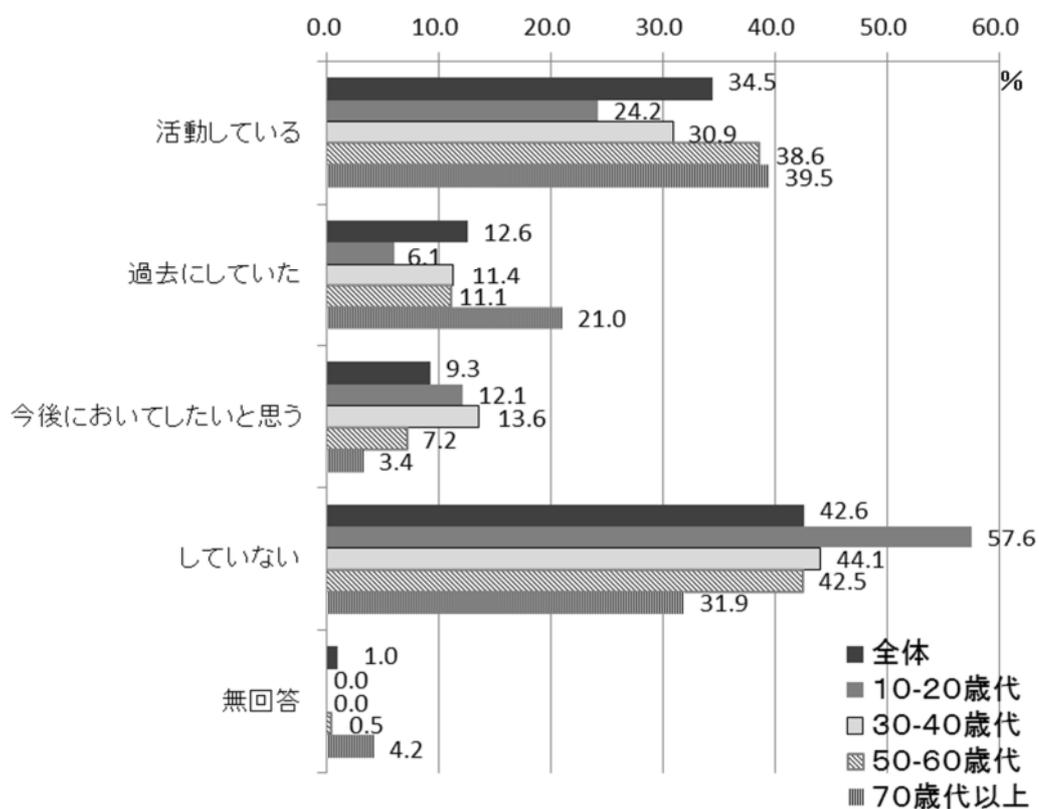


問6	回答数・%	男	%	女	%	不明	全体	%
活動している	82	32.9	126	35.7	3	211	34.5	
過去にしていた	18	7.2	57	16.1	2	77	12.6	
今後においてしたいと思う	25	10.0	30	8.5	2	57	9.3	
していない	122	49.0	138	39.1	1	261	42.6	
無回答	2	0.8	2	0.6	2	6	1.0	
計	249	100.0	353	100.0	10	612	100.0	



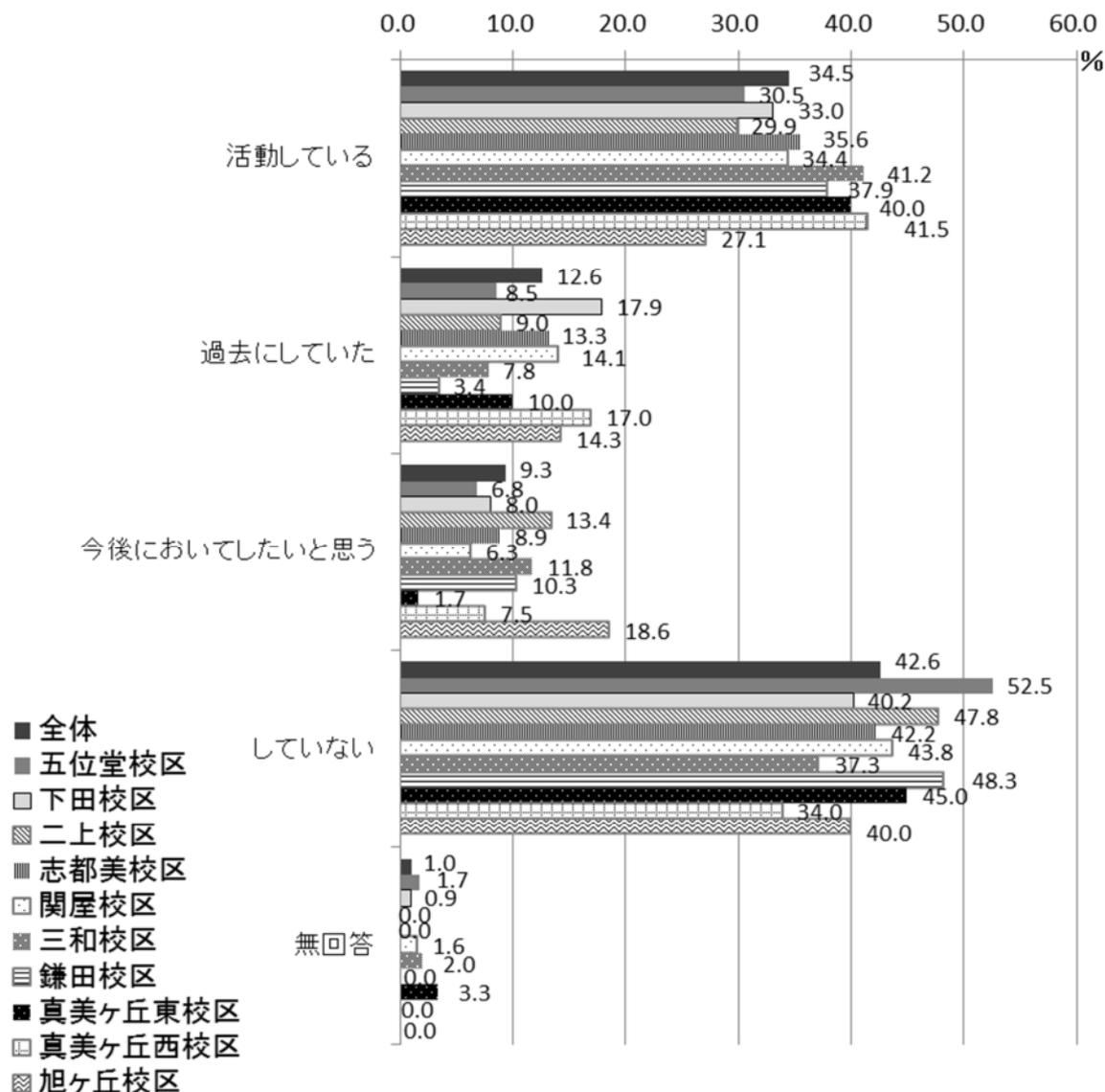
「活動している」、「過去にしていた」では、年代が上がるほど割合が大きく、反対に「していない」では年代が下がるほど割合が大きくなっている。一方で「今後においてしたいと思う」は30-40歳代、10-20歳代で割合が大きくなっている。

問6	回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
活動している	16	24.2	68	30.9	80	38.6	47	39.5	211	34.5	
過去にしていた	4	6.1	25	11.4	23	11.1	25	21.0	77	12.6	
今後においてしたいと思う	8	12.1	30	13.6	15	7.2	4	3.4	57	9.3	
していない	38	57.6	97	44.1	88	42.5	38	31.9	261	42.6	
無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.5	5	4.2	6	1.0	
計	66	100.0	220	100.0	207	100.0	119	100.0	612	100.0	



「活動している」では、真美ヶ丘西校区、三和校区、真美ヶ丘東国で4割を超えて割合が大きく、反対に「していない」では五位堂校区で5割を超え割合が大きくなっている。

問6 校区 回答数・(%)	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
活動している	18 (30.5)	37 (33.0)	20 (29.9)	16 (35.6)	22 (34.4)	21 (41.2)	11 (37.9)	24 (40.0)	22 (41.5)	19 (27.1)	211 (34.5)
過去にしていた	5 (8.5)	20 (17.9)	6(9.0)	6 (13.3)	9 (14.1)	4 (7.8)	1 (3.4)	6 (10.0)	9 (17.0)	10 (14.3)	77 (12.6)
今後においてしたいと思う	4 (6.8)	9 (8.0)	9 (13.4)	4 (8.9)	4 (6.3)	6 (11.8)	3 (10.3)	1 (1.7)	4 (7.5)	13 (18.6)	57 (9.3)
していない	31 (52.5)	45 (40.2)	32 (47.8)	19 (42.2)	28 (43.8)	19 (37.3)	14 (48.3)	27 (45.0)	18 (34.0)	28 (40.0)	261 (42.6)
無回答	1 (1.7)	1 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.6)	1 (2.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (1.0)
計	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612



## 2) 生涯学習活動の形態

「活動している」「過去にしていた」回答者に、どのような形態で生涯学習活動をしているかたずねたところ、自宅では「図書、新聞等の出版物」が最も多く 25.0%、次いで「インターネットを通じて」が 17.0%となった。今回調査は生涯学習活動をしている人のみにたずねているので、前回平成 11 年調査と単純に数値の比較はできないが、傾向として「インターネットを通じて」と「個人的に師匠、先生に習って」の割合が大きくなっていることがわかる。

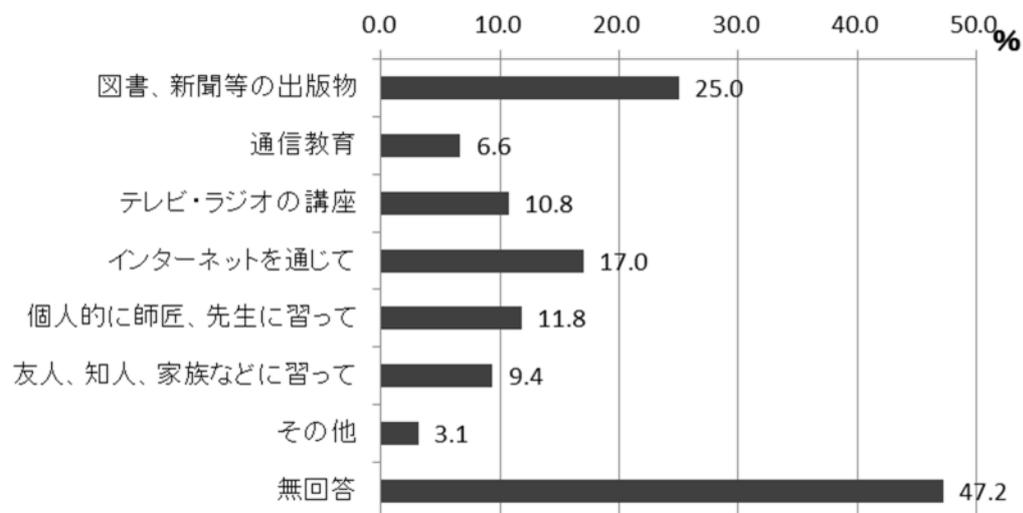
自宅以外では、「グループ・サークル活動」31.3%、「公営の講座、教室」30.6%、「民間の講座、教室」28.5%が、上位を占めている。前回平成 11 年調査と単純に数値の比較はできないが、傾向として「グループ・サークル活動」と「公営の講座、教室」の割合が大きくなっていることがわかる。

問7 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、自宅や自宅以外でどのような形態で生涯学習活動をしていましたか。(あてはまるものすべてに○を)

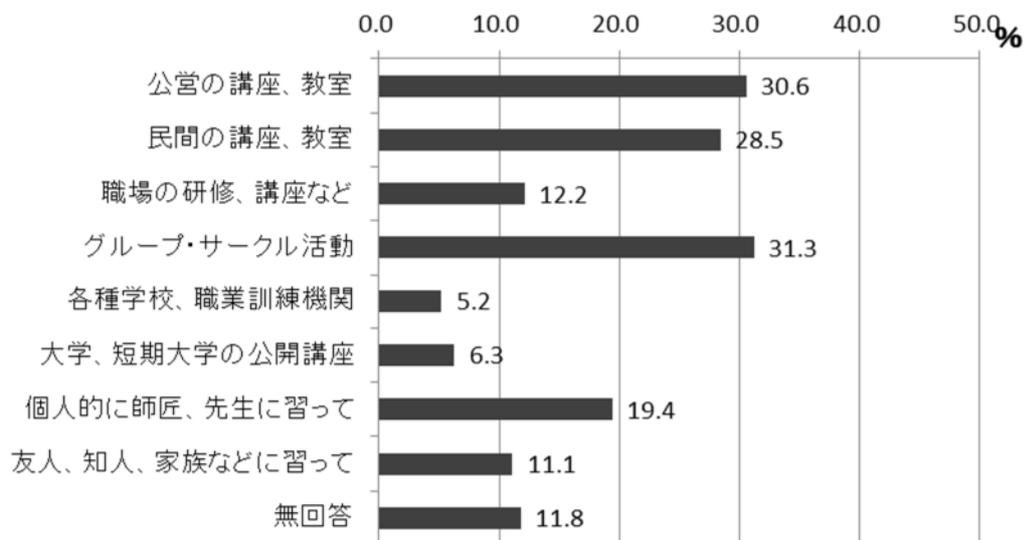
問7自宅(MA)	回答数	%	H11 調査%
図書、新聞等の出版物	72	25.0	28
通信教育	19	6.6	10
テレビ・ラジオの講座	31	10.8	14
インターネットを通じて	49	17.0	5
個人的に師匠、先生に習って	34	11.8	3
友人、知人、家族などに習って	27	9.4	8
その他	9	3.1	1
(H11 何もしていない)			42
無回答	136	47.2	10
問6 回答 1,2	288	-	

問7自宅以外(MA)	回答数	%	H11 調査%
公営の講座、教室	88	30.6	15
民間の講座、教室	82	28.5	19
職場の研修、講座など	35	12.2	18
グループ・サークル活動	90	31.3	12
各種学校、職業訓練機関	15	5.2	3
大学、短期大学の公開講座	18	6.3	4
個人的に師匠、先生に習って	56	19.4	14
友人、知人、家族などに習って	32	11.1	7
(H11 何もしていない)			35
無回答	34	11.8	6
問6 回答 1,2	288	-	-

< 自宅での生涯学習活動 >



< 自宅以外での生涯学習活動 >



### 3) 生涯学習活動の内容

「活動している」「過去にしていた」回答者に、現在までどのような生涯学習活動をしているか、また今後どのような生涯学習をしたいかをたずねたところ、現在、今後とも「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「教養」となった。今後したい生涯学習では、「教養」と「健康増進・食育」「保健・介護・地域福祉」が、現在よりも多くなっている。

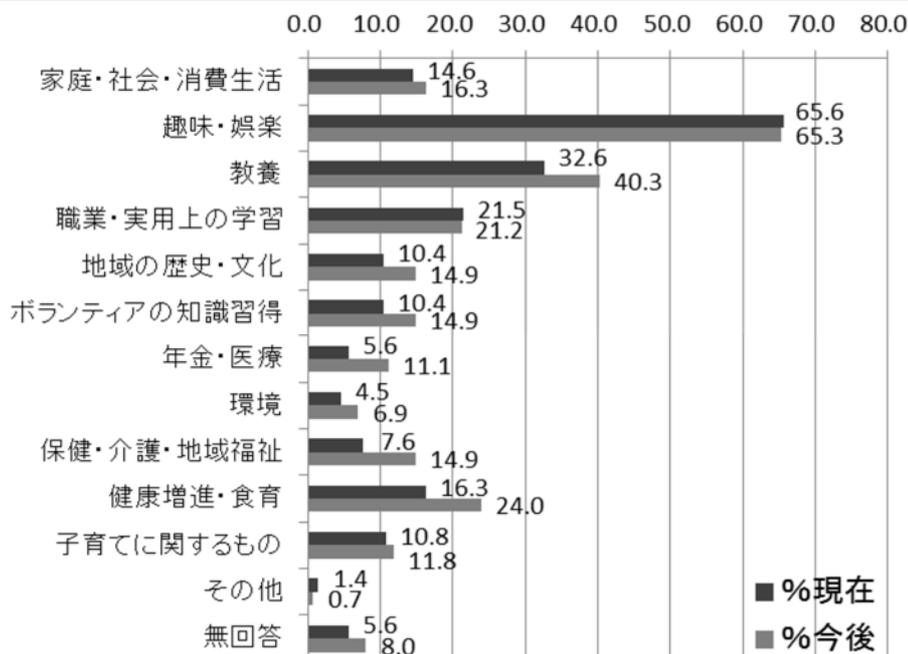
今回調査は生涯学習活動をしている人のみにたずね、選択肢が増えているので、前回平成11年調査と単純に数値の比較はできないが、傾向として現在、今後とも「趣味・娯楽」と「教養」の割合が大きくなっていることがわかる。

問7-1 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。

あなたは、現在までどのような生涯学習をしましたか。(あてはまるものすべてに○を)

あなたは、今後どのような生涯学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-1①(MA)	現在		今後		H11 調査	
	回答数	%	回答数	%	現在 %	今後 %
家庭・社会・消費生活	42	14.6	47	16.3	9	13
趣味・娯楽	189	65.6	188	65.3	34	42
教養	94	32.6	116	40.3	15	24
職業・実用上の学習	62	21.5	61	21.2	22	23
地域の歴史・文化	30	10.4	43	14.9	5	13
ボランティアの知識習得	30	10.4	43	14.9	4	14
年金・医療	16	5.6	32	11.1		
環境	13	4.5	20	6.9		
保健・介護・地域福祉	22	7.6	43	14.9		
健康増進・食育 (H11 健康維持)	47	16.3	69	24.0	17	31
子育てに関するもの(育児・教育)	31	10.8	34	11.8		
その他	4	1.4	2	0.7	0	0
(H11 現在何もしていない、今後特ごない)					22	11
無回答	16	5.6	23	8.0	13	7
問6 回答 1,2	288	-	288	-	-	-



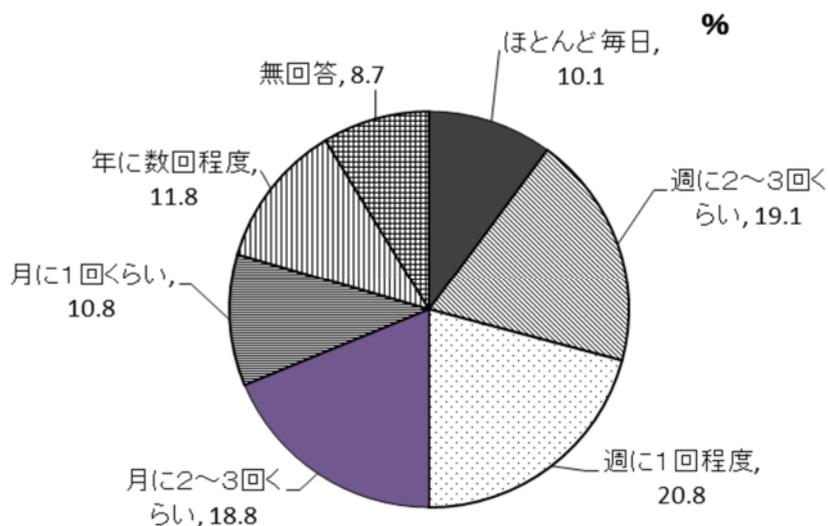
#### 4) 生涯学習活動の回数

「活動している」「過去にしていた」回答者に、行っている生涯学習に関する活動の回数をたずねたところ、「週に1回程度」20.8%、「週に2～3回くらい」19.1%、「月に2～3回くらい」18.8%が多かった。

問7-1 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。

あなたが、行っている生涯学習に関する活動の回数について、おたずねします。(いずれか1つに○を)

問7-1③	回答数	%
ほとんど毎日	29	10.1
週に2～3回くらい	55	19.1
週に1回程度	60	20.8
月に2～3回くらい	54	18.8
月に1回くらい	31	10.8
年に数回程度	34	11.8
無回答	25	8.7
問6回答1,2	288	100.0

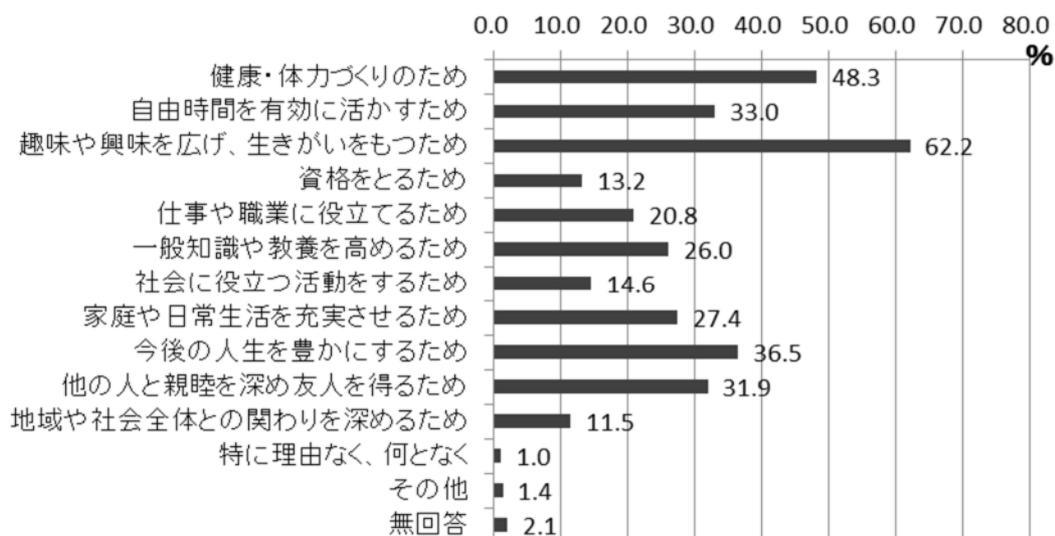


### (5) 生涯学習活動を行う目的

「活動している」「過去にしていた」回答者に、生涯学習に関する活動を行う目的や動機をたずねたところ、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が**62.2%**で最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」が**48.3%**と多かった。さらに、「今後の人生を豊かにするため」**36.5%**、「自由時間を有効に活かすため」**33.0%**、「他の人と親睦を深め友人を得るため」**31.9%**となっている。

問7-2 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、その生涯学習に関する活動を行う目的や動機は何ですか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-2(MA)	回答数	%
健康・体力づくりのため	139	48.3
自由時間を有効に活かすため	95	33.0
趣味や興味を広げ、生きがいをもつため	179	62.2
資格をとるため	38	13.2
仕事や職業に役立てるため	60	20.8
一般知識や教養を高めるため	75	26.0
社会に役立つ活動をするため	42	14.6
家庭や日常生活を充実させるため	79	27.4
今後の人生を豊かにするため	105	36.5
他の人と親睦を深め友人を得るため	92	31.9
地域や社会全体との関わりを深めるため	33	11.5
特に理由なく、何となく	3	1.0
その他	4	1.4
無回答	6	2.1
問6回答1,2	288	-



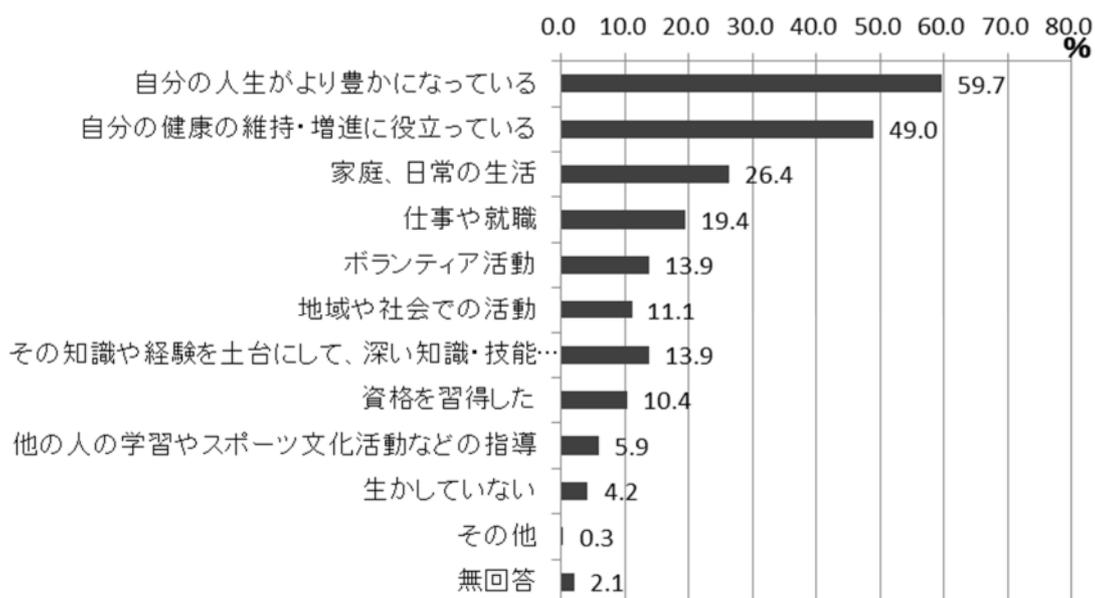
## (6) 生涯学習活動の活用

### 1) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かしかた（活動している人）

「活動している」「過去にしていた」回答者に、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかをたずねたところ、「自分の人生がより豊かになっている」が 59.7%で最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が 49.0%と多かった。さらに、「家庭、日常生活」26.4%、「仕事や就職」19.4%と続き、自分自身の生活や仕事のために生涯学習が活かされていることがわかる。

問7-3 問6で、「1 .活動している」「2 .過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、その生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問7-3(MA)	回答数	%
自分の人生がより豊かになっている	172	59.7
自分の健康の維持・増進に役立っている	141	49.0
家庭、日常生活	76	26.4
仕事や就職	56	19.4
ボランティア活動	40	13.9
地域や社会での活動	32	11.1
その知識や経験を土台にして、深い知識・技能を身につけるように生かしている	40	13.9
資格を習得した	30	10.4
他の人の学習やスポーツ文化活動などの指導	17	5.9
生かしていない	12	4.2
その他	1	0.3
無回答	6	2.1
問6回答1,2	288	-

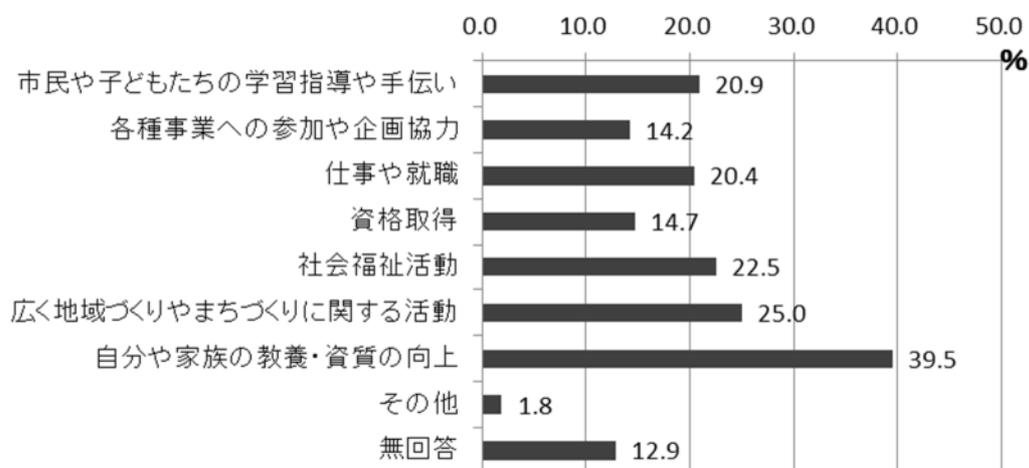


## 2) 生涯学習で学んだことをどのように役立てたいか（全体）

生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思うかをたずねたところ、「自分や家族の教養・資質の向上」が39.5%で最も多く、次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」が25.0%、「社会福祉活動」22.5%、「市民や子どもたちの学習指導や手伝い」20.9%、「仕事や就職」20.4%と続き、自分や家族のためが最も多いものの、地域づくりや社会福祉活動に生涯学習で学んだことを役立てたいという意向がみられる。

問14 あなたは、生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問14(MA)	回答数	%
市民や子どもたちの学習指導や手伝い	128	20.9
各種事業(講座、展示会、イベントなど)への参加や企画協力	87	14.2
仕事や就職	125	20.4
資格取得	90	14.7
社会福祉活動	138	22.5
広く地域づくりやまちづくりに関する活動	153	25.0
自分や家族の教養・資質の向上	242	39.5
その他	11	1.8
無回答	79	12.9
全体	612	-

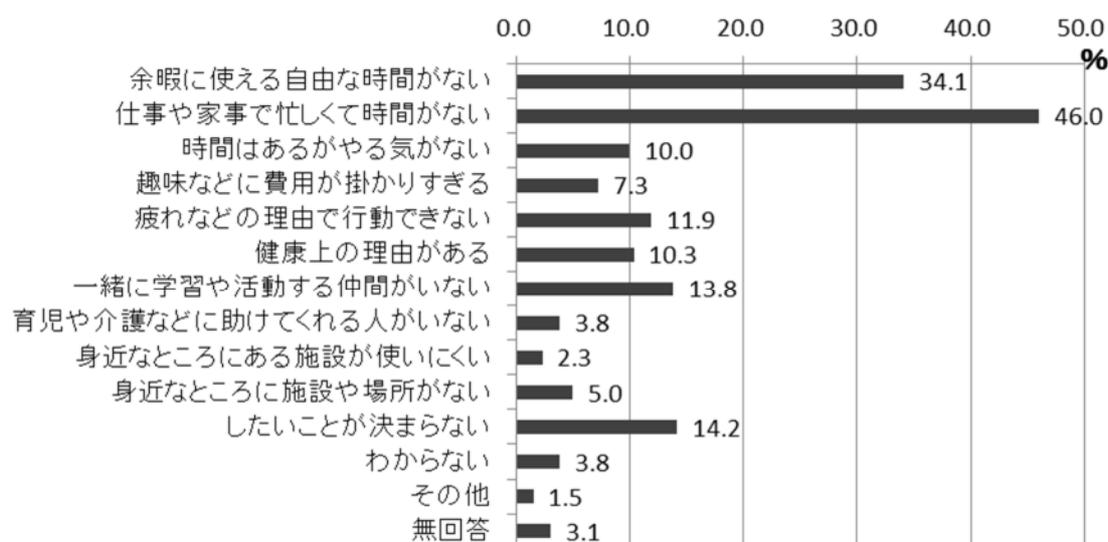


### (7) 生涯学習活動をしていない理由

「活動していない」回答者に、その理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しくて時間がない」が46.0%で最も多く、次いで「余暇に使える自由な時間がない」が34.1%と多かった。「したいことが決まらない」14.2%、「一緒に学習や活動する仲間がいない」13.8%と続くが、時間がないことが大きな理由となっていることがわかる。

問7-4 問6で、「4. していない」とお答えの方のみ、おたずねします。  
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○を）

問7-4 (MA)	回答数	%
余暇に使える自由な時間がない	89	34.1
仕事や家事で忙しくて時間がない	120	46.0
時間はあるがやる気がない	26	10.0
趣味などに費用が掛かりすぎる	19	7.3
疲れなどの理由で行動できない	31	11.9
健康上の理由がある	27	10.3
一緒に学習や活動する仲間がいない	36	13.8
育児や介護などに助けてくれる人がいない	10	3.8
身近なところにある施設が使いにくい	6	2.3
身近なところに施設や場所がない	13	5.0
したいことが決まらない	37	14.2
わからない	10	3.8
その他	4	1.5
無回答	8	3.1
問6 回答4	261	-



## (8) スポーツ・レクリエーション活動の状況

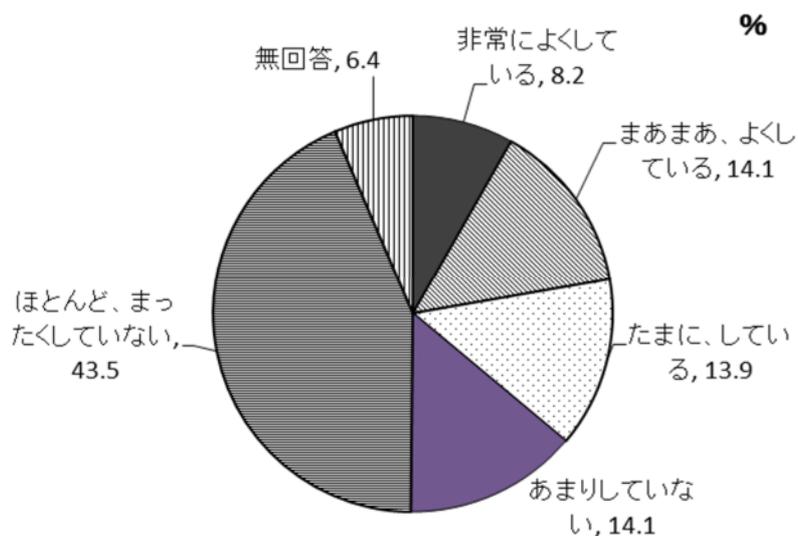
### 1) スポーツ・レクリエーション活動状況

過去1年間に、何かの「スポーツ・レクリエーション」をしたかをたずねたところ、「ほとんど、まったくしていない」が43.5%で最も多くなった。次いで「まあまあ、よくしている」が14.1%だったが、「非常によくしている」8.2%、「たまに、している」13.9%とあわせても36%に過ぎなかった。

前回平成11年調査と比較しても同様の傾向だが、「ほとんど、まったくしていない」の割合が増えている。

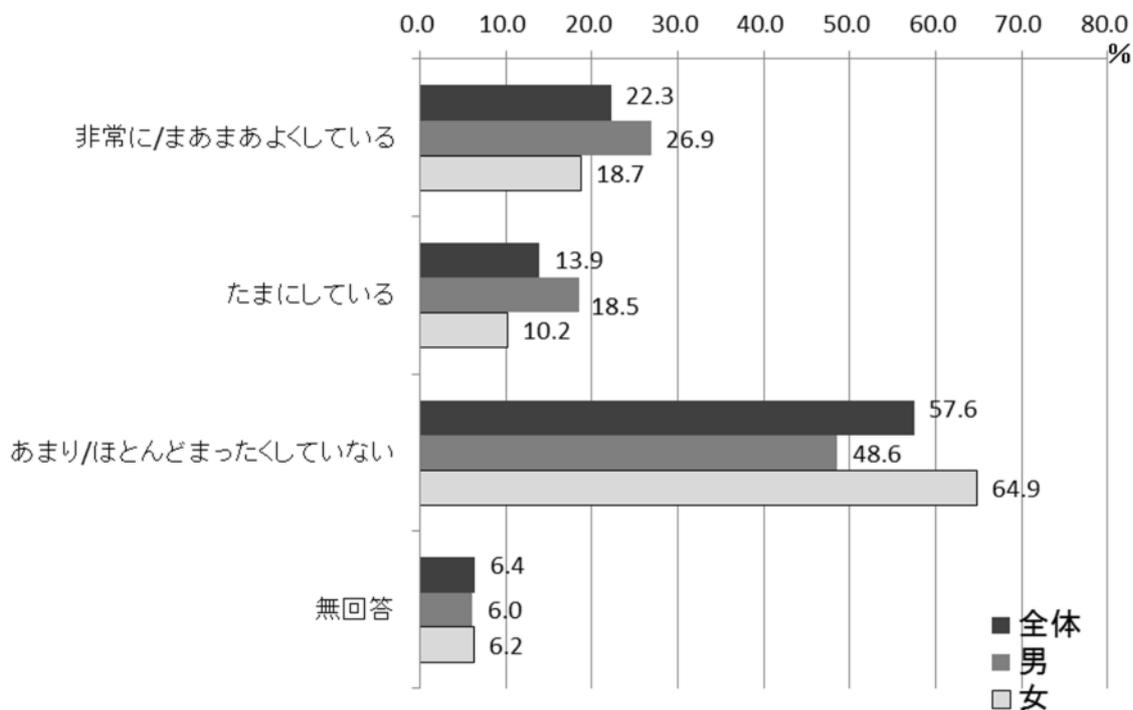
問8 過去1年間に、何かの「スポーツ・レクリエーション」をされましたか。(いずれか1つに○を)

問8①	回答数	%	H11 調査%
非常によくしている	50	8.2	8
まあまあ、よくしている	86	14.1	14
たまに、している	85	13.9	19
あまりしていない	86	14.1	21
ほとんど、まったくしていない	266	43.5	37
無回答	39	6.4	2
計	612	100.0	(101)



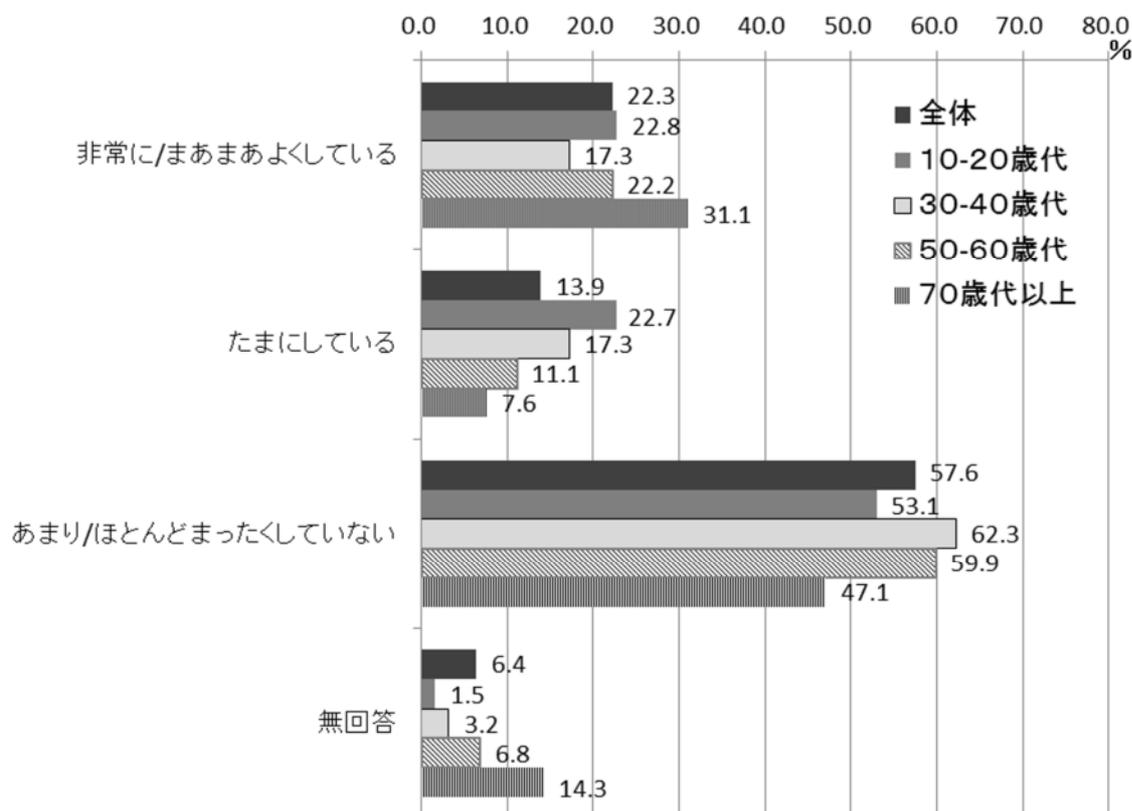
「非常によくしている」「まあまあ、よくしている」を合わせると、男性の方がやや割合が大きく、「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせると、女性の方が割合が大きくなっている。

問8①	回答数・%	男	%	女	%	不明	全体	%
非常によくしている		25	10.0	24	6.8	1	50	8.2
まあまあ、よくしている		42	16.9	42	11.9	2	86	14.1
たまに、している		46	18.5	36	10.2	3	85	13.9
あまりしていない		38	15.3	47	13.3	1	86	14.1
ほとんど、まったくしていない		83	33.3	182	51.6	1	266	43.5
無回答		15	6.0	22	6.2	2	39	6.4
計		249	100.0	353	100.0	10	612	100.0



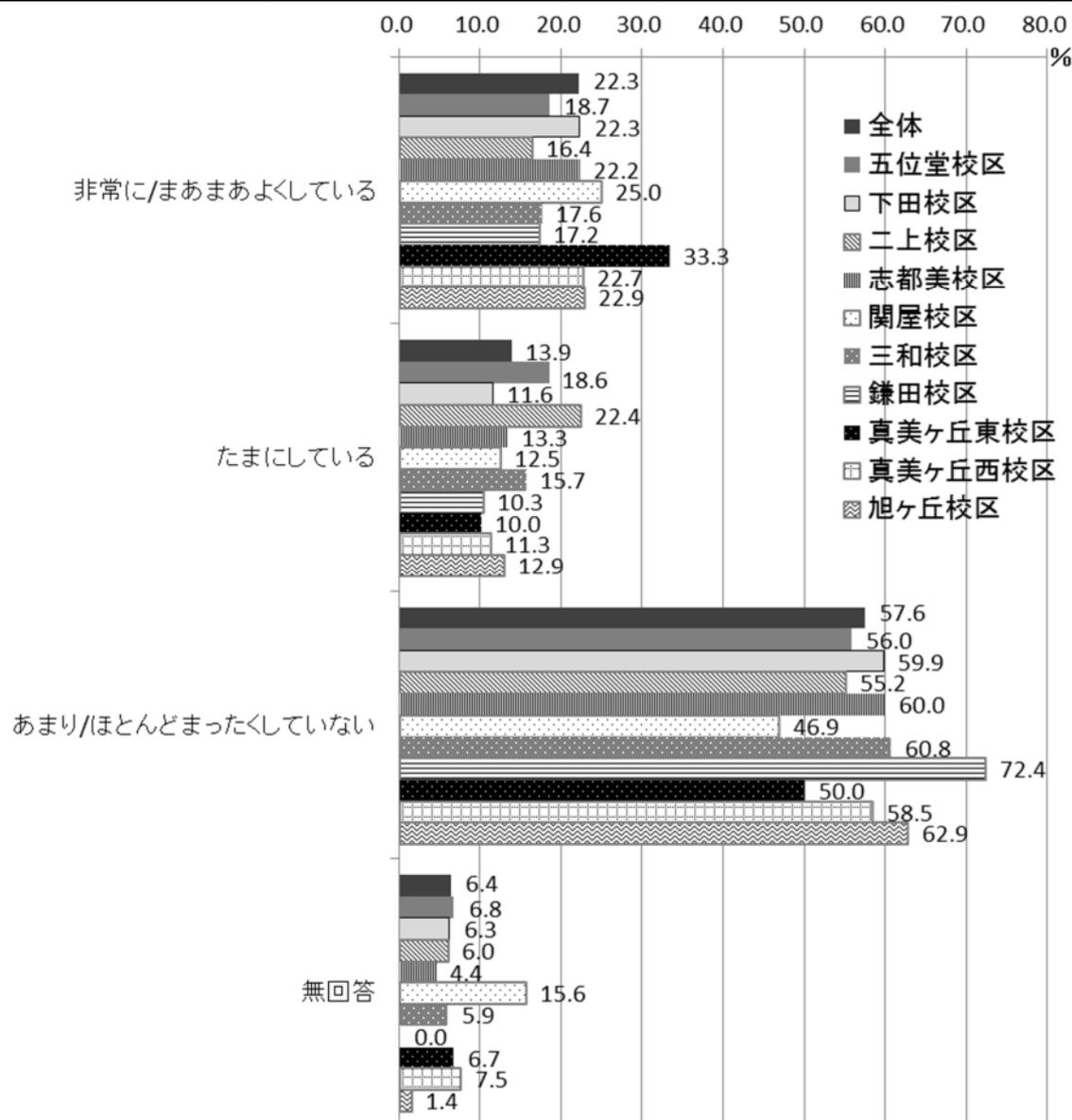
「非常によくしている」「まあまあ、よくしている」を合わせると、70歳以上がやや割合が大きく、30-40歳代の割合が小さくなっている。「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせると、30-40歳代、50-60歳代が割合が大きくなっている。

問8①	回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
非常によくしている	10	15.2	12	5.5	13	6.3	15	12.6	50	8.2	
まあまあ、よくしている	5	7.6	26	11.8	33	15.9	22	18.5	86	14.1	
たまに、している	15	22.7	38	17.3	23	11.1	9	7.6	85	13.9	
あまりしていない	11	16.7	34	15.5	29	14.0	12	10.1	86	14.1	
ほとんど、まったくしていない	24	36.4	103	46.8	95	45.9	44	37.0	266	43.5	
無回答	1	1.5	7	3.2	14	6.8	17	14.3	39	6.4	
計	66	100.0	220	100.0	207	100.0	119	100.0	612	100.0	



「非常によくしている」「まあまあ、よくしている」を合わせると、真美ヶ丘東校区でやや割合が大きくなっている。「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせると、鎌田校区で割合が大きくなっている。

問8① 校区 回答数(%)	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
非常によくしている	4 (6.8)	11 (9.8)	4 (6.0)	4 (8.9)	7 (10.9)	5 (9.8)	1 (3.4)	6 (10.0)	2 (3.8)	6 (8.6)	50 (8.2)
まあまあ、よくしている	7 (11.9)	14 (12.5)	7 (10.4)	6 (13.3)	9 (14.1)	4 (7.8)	4 (13.8)	14 (23.3)	10 (18.9)	10 (14.3)	86 (14.1)
たまに、している	11 (18.6)	13 (11.6)	15 (22.4)	6 (13.3)	8 (12.5)	8 (15.7)	3 (10.3)	6 (10.0)	6 (11.3)	9 (12.9)	85 (13.9)
あまりしていない	9 (15.3)	18 (16.1)	7 (10.4)	9 (20.0)	4 (6.3)	6 (11.8)	8 (27.6)	7 (11.7)	8 (15.1)	10 (14.3)	86 (14.1)
ほとんど、まったくしていない	24 (40.7)	49 (43.8)	30 (44.8)	18 (40.0)	26 (40.6)	25 (49.0)	13 (44.8)	23 (38.3)	23 (43.4)	34 (48.6)	266 (43.5)
無回答	4 (6.8)	7 (6.3)	4 (6.0)	2 (4.4)	10 (15.6)	3 (5.9)	0 (0.0)	4 (6.7)	4 (7.5)	1 (1.4)	39 (6.4)
計	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612

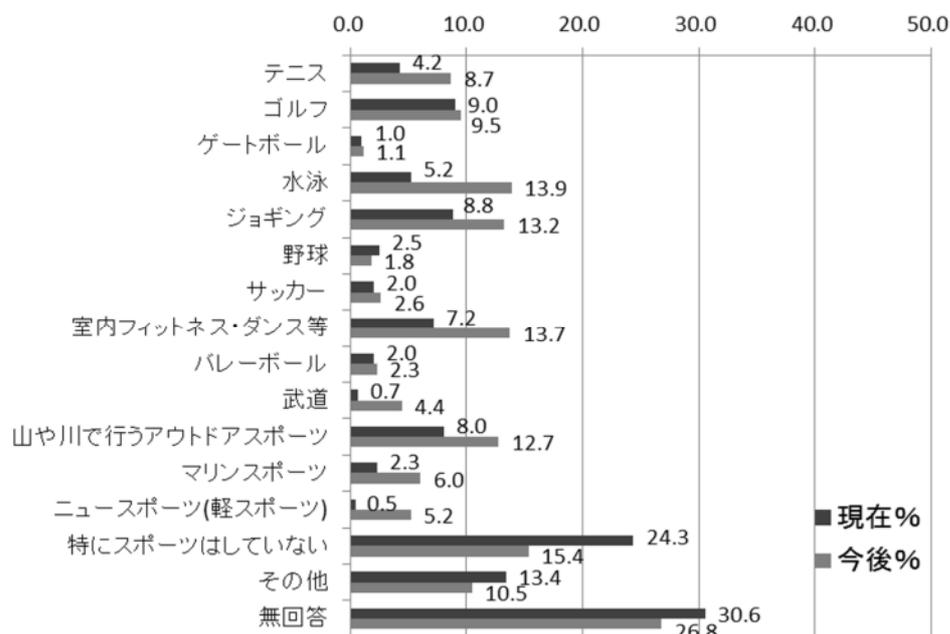


## 2) スポーツ・レクリエーション活動の内容

現在しているスポーツまた、今後したいと思っているスポーツについてたずねたところ、現在は「特にスポーツはしていない」が24.3%で最も多かったが、今後については回答比率が15.4%に下がっている。今後したいスポーツは、「水泳」13.9%、「室内フィットネス・ダンス等」13.7%、「ジョギング」13.2%、「山や川で行うアウトドアスポーツ」12.7%が多かった。「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多いのは特徴といえる。前回平成11年調査と比較しても同様の傾向がみられる。

現在している「スポーツ」また、今後したいと思っている「スポーツ」について下記の選択肢の中から、選んでください。(あてはまるものすべてに○を)

問8②(MA)	現在		今後		H11 調査	
	回答数	%	回答数	%	現在%	今後%
テニス	26	4.2	53	8.7	6	13
ゴルフ	55	9.0	58	9.5	14	14
ゲートボール	6	1.0	7	1.1	1	3
水泳	32	5.2	85	13.9	7	27
ジョギング	54	8.8	81	13.2	10	13
野球	15	2.5	11	1.8	4	4
サッカー	12	2.0	16	2.6		
室内フィットネス・ダンス等	44	7.2	84	13.7	6	18
バレーボール	12	2.0	14	2.3	3	4
武道	4	0.7	27	4.4	2	3
山や川で行うアウトドアスポーツ	49	8.0	78	12.7	12	20
マリンスポーツ	14	2.3	37	6.0	2	8
ニュースポーツ(軽スポーツ)	3	0.5	32	5.2		
特にスポーツはしていない	149	24.3	94	15.4	38	19
その他	82	13.4	64	10.5	10	7
無回答	187	30.6	164	26.8	10	6
全体	612	-	612	-	-	-



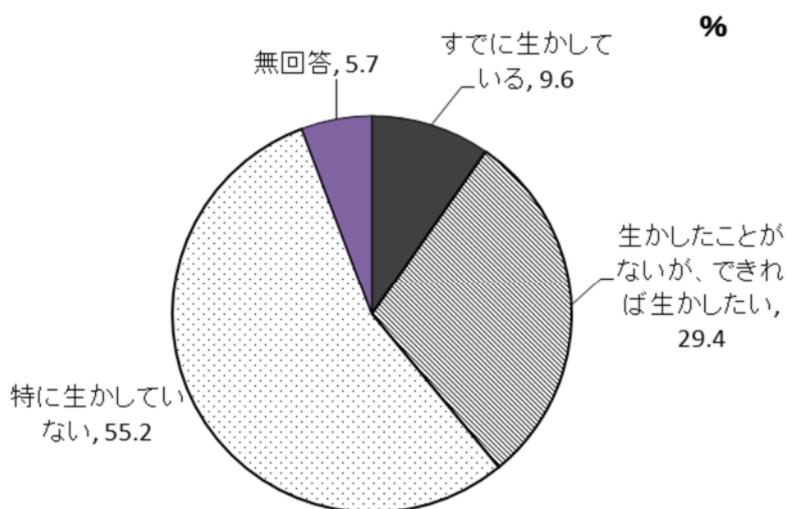
## (9) ボランティア活動

### 1) ボランティア活動への意向

地域のために、自分の経験や知識、特技あるいは余暇時間をボランティア活動に生かしたいと思うかをたずねたところ、「特に生かしていない」が55.2%で最も多くなった。次いで「生かしたことがないが、できれば生かしたい」が29.4%で、「すでに生かしている」9.6%、とあわせても39.0%だった。

問9 あなたは、地域のために、自分の経験や知識、特技あるいは余暇時間をボランティア活動に生かしたいと思いますか。(いずれか1つに○を)

問9	回答数	%
すでに生かしている	59	9.6
生かしたことがないが、できれば生かしたい	180	29.4
特に生かしていない	338	55.2
無回答	35	5.7
計	612	100.0



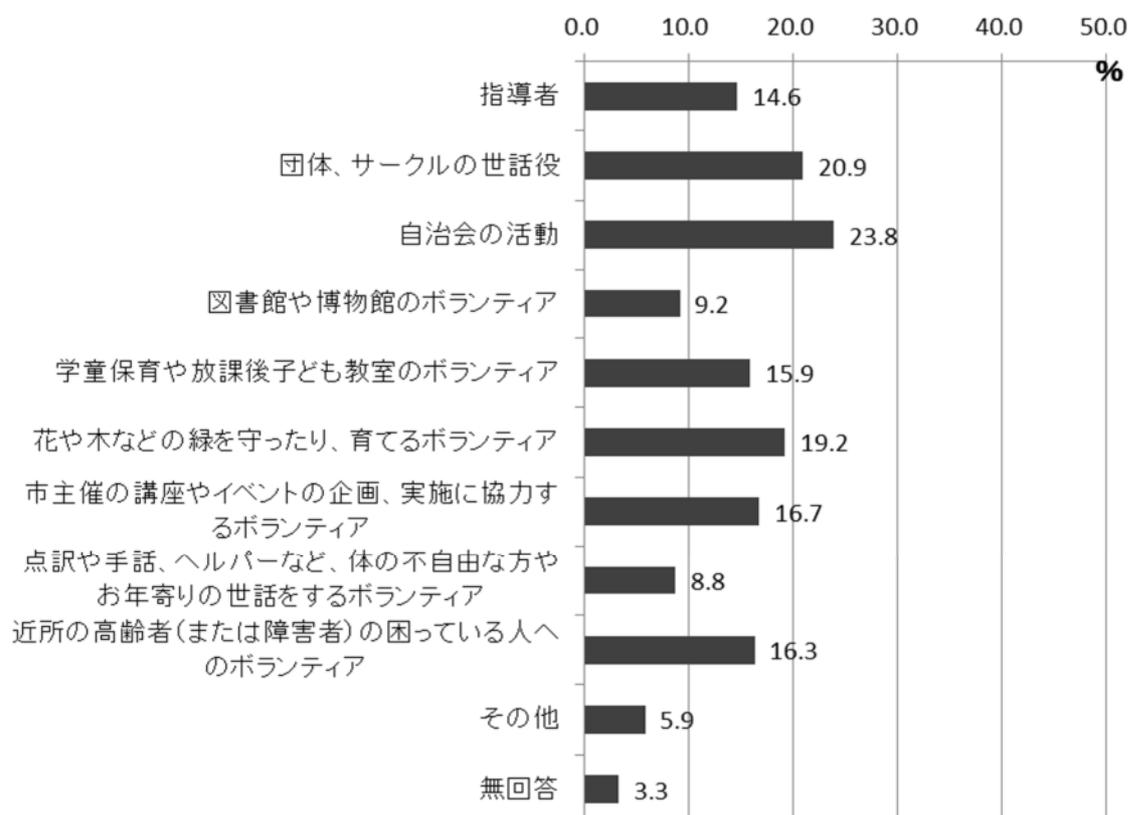
## 2) ボランティア活動の内容

「すでに生かしている」「生かしたことがないが、できれば生かしたい」の回答者に、どのような形で生かしているか、また生かしたいと思うかをたずねたところ、「自治会の活動」が23.8%、「団体、サークルの世話役」20.9%で多かった。次いで「花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア」19.2%、「市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア」16.7%、「近所の高齢者（または障害者）の困っている人へのボランティア」16.3%と続いている。多様なボランティア活動への参加意向が存在している。

問9-1 問9で「1・2」と答えた方にお聞きします。

どのような形で生かしているか、また生かしたいと思えますか。（2つ以内に○を）

問9-1(MA)	回答数	%
指導者	35	14.6
団体、サークルの世話役	50	20.9
自治会の活動	57	23.8
図書館や博物館のボランティア	22	9.2
学童保育や放課後子ども教室のボランティア	38	15.9
花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア	46	19.2
市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア	40	16.7
点訳や手話、ヘルパーなど、体の不自由な方やお年寄りの世話をするボランティア	21	8.8
近所の高齢者(または障害者)の困っている人へのボランティア	39	16.3
その他	14	5.9
無回答	8	3.3
問9回答1,2	239	-

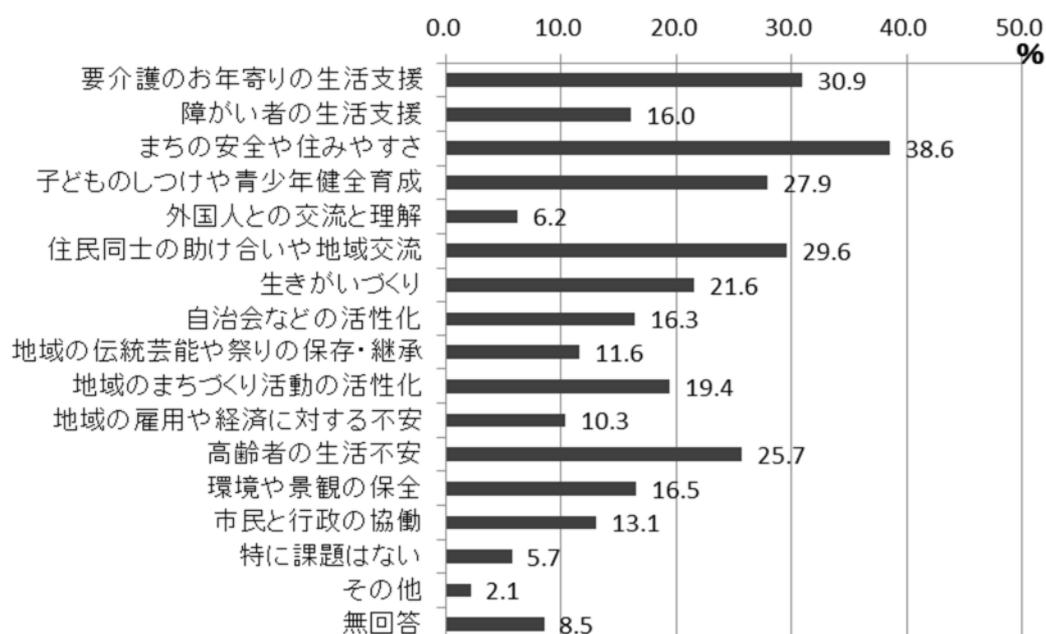


### (10) 地域の課題

地域にどのような課題があると思うかをたずねたところ、「まちの安全や住みやすさ」が38.6%で最も多かった。次いで「要介護のお年寄りの生活支援」30.9%、「住民同士の助け合いや地域交流」29.6%、「子どものしつけや青少年健全育成」27.9%、「高齢者の生活不安」25.7%と続いている。

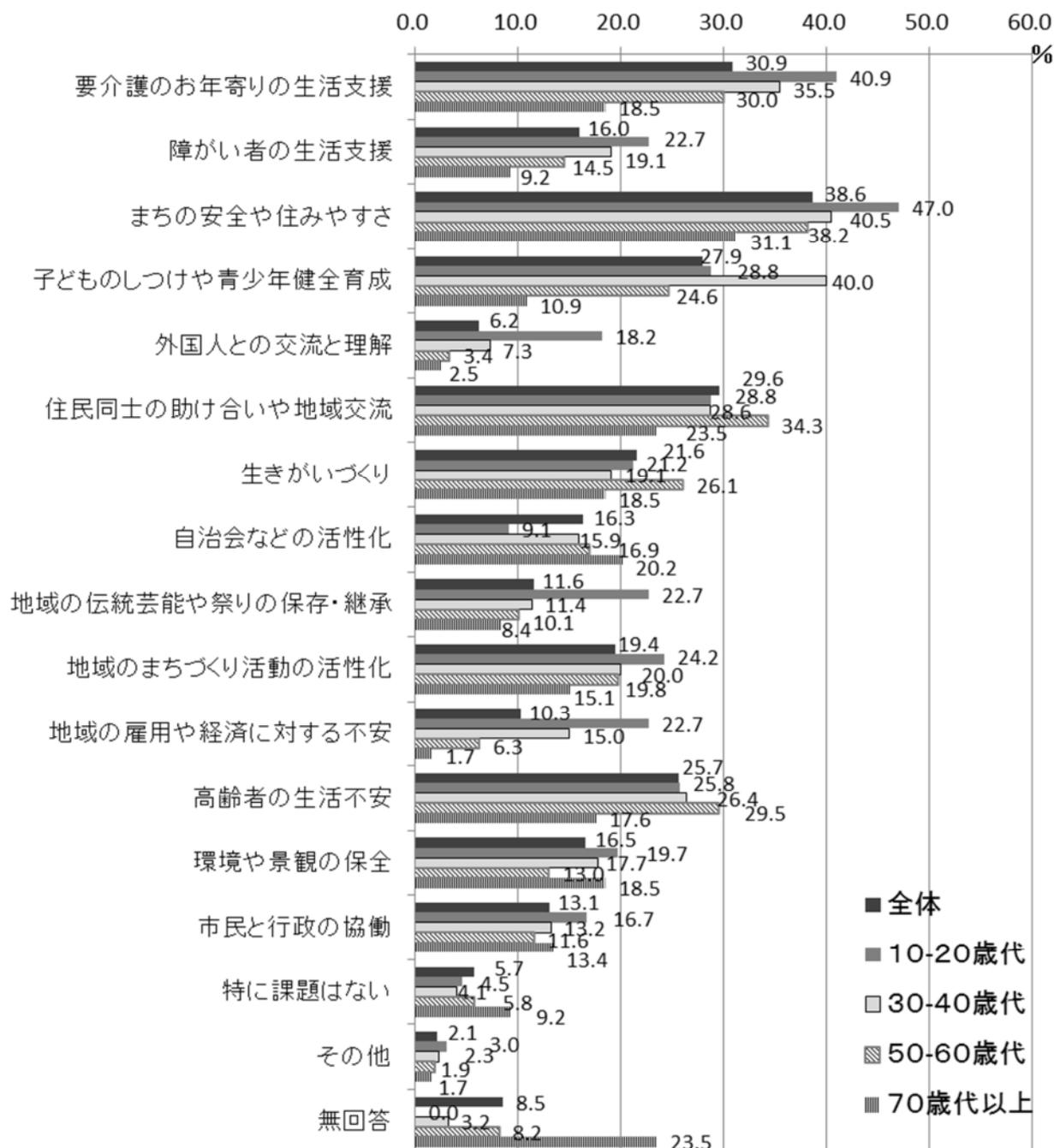
問10 あなたは、地域にどのような課題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問10(MA)	回答数	%
要介護のお年寄りの生活支援	189	30.9
障がい者の生活支援	98	16.0
まちの安全や住みやすさ	236	38.6
子どものしつけや青少年健全育成	171	27.9
外国人との交流と理解	38	6.2
住民同士の助け合いや地域交流	181	29.6
生きがいづくり	132	21.6
自治会などの活性化	100	16.3
地域の伝統芸能や祭りの保存・継承	71	11.6
地域のまちづくり活動の活性化	119	19.4
地域の雇用や経済に対する不安	63	10.3
高齢者の生活不安	157	25.7
環境や景観の保全	101	16.5
市民と行政の協働	80	13.1
特に課題はない	35	5.7
その他	13	2.1
無回答	52	8.5
全体	612	-



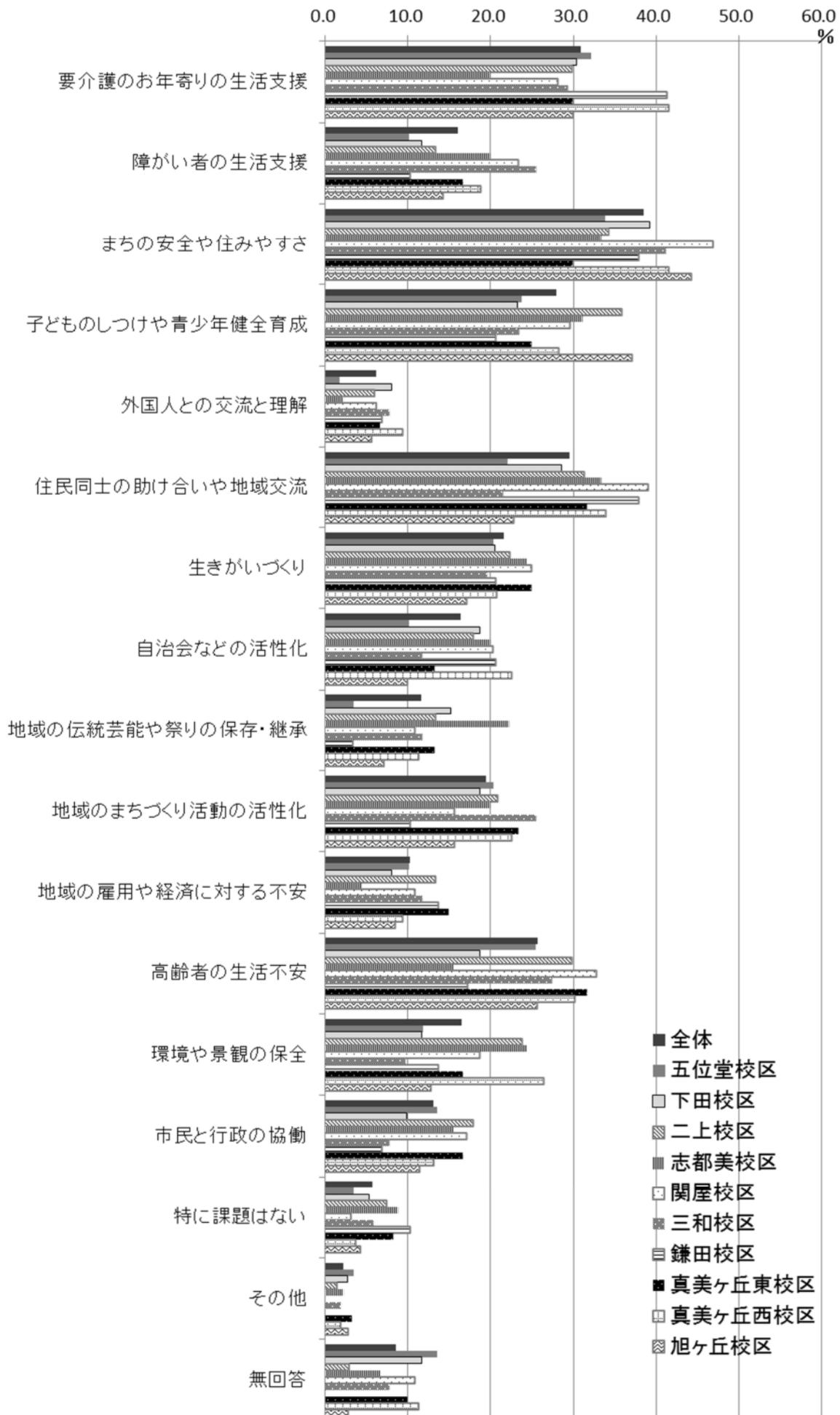
「要介護のお年寄りの生活支援」「障がい者の生活支援」「まちの安全や住みやすさ」「地域のまちづくり活動の活性化」「地域の雇用や経済に対する不安」については、年代が下がるほど割合が大きくなっている。「地域の伝統芸能や祭りの保存・継承」は10-20歳代で割合が大きい。「子どものしつけや青少年健全育成」は30-40歳代で割合が大きい。「住民同士の助け合いや地域交流」「生きがいつくり」は50-60歳代で割合が大きい。

問10(MA)	10-20 歳代	%	30-40 歳代	%	50-60 歳代	%	70歳代 以上	%	全体	%
要介護のお年寄りの生活支援	27	40.9	78	35.5	62	30.0	22	18.5	189	30.9
障がい者の生活支援	15	22.7	42	19.1	30	14.5	11	9.2	98	16.0
まちの安全や住みやすさ	31	47.0	89	40.5	79	38.2	37	31.1	236	38.6
子どものしつけや青少年健全育成	19	28.8	88	40.0	51	24.6	13	10.9	171	27.9
外国人との交流と理解	12	18.2	16	7.3	7	3.4	3	2.5	38	6.2
住民同士の助け合いや地域交流	19	28.8	63	28.6	71	34.3	28	23.5	181	29.6
生きがいつくり	14	21.2	42	19.1	54	26.1	22	18.5	132	21.6
自治会などの活性化	6	9.1	35	15.9	35	16.9	24	20.2	100	16.3
地域の伝統芸能や祭りの保存継承	15	22.7	25	11.4	21	10.1	10	8.4	71	11.6
地域のまちづくり活動の活性化	16	24.2	44	20.0	41	19.8	18	15.1	119	19.4
地域の雇用や経済に対する不安	15	22.7	33	15.0	13	6.3	2	1.7	63	10.3
高齢者の生活不安	17	25.8	58	26.4	61	29.5	21	17.6	157	25.7
環境や景観の保全	13	19.7	39	17.7	27	13.0	22	18.5	101	16.5
市民と行政の協働	11	16.7	29	13.2	24	11.6	16	13.4	80	13.1
特に課題はない	3	4.5	9	4.1	12	5.8	11	9.2	35	5.7
その他	2	3.0	5	2.3	4	1.9	2	1.7	13	2.1
無回答	0	0.0	7	3.2	17	8.2	28	23.5	52	8.5
全体	66	-	220	-	207	-	119	-	612	-



「要介護のお年寄りの生活支援」は、鎌田校区、真美ヶ丘西校区で割合が大きくなっている。「障がい者の生活支援」は、関屋校区、三和校区で割合が大きくなっている。「まちの安全や住みやすさ」は、関屋校区、旭ヶ丘校区で割合が大きくなっている。「子どものしつけや青少年健全育成」は、二上校区、旭ヶ丘校区で割合が大きくなっている。「住民同士の助け合いや地域交流」は、関屋校区、鎌田校区で割合が大きくなっている。「地域の伝統芸能や祭りの保存・継承」は、志都美校区で割合が大きくなっている。「高齢者の生活不安」は、関屋校区、真美ヶ丘東校区で割合が大きくなっている。「環境や景観の保全」は、二上校区、志都美校区、真美ヶ丘西校区で割合が大きくなっている。

問10((MA)校区(%))	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
要介護のお年寄りの生活支援	19 (32.2)	34 (30.4)	20 (29.9)	9 (20.0)	18 (28.1)	15 (29.4)	12 (41.4)	18 (30.0)	22 (41.5)	21 (30.0)	189 (30.9)
障がい者の生活支援	6 (10.2)	13 (11.6)	9 (13.4)	9 (20.0)	15 (23.4)	13 (25.5)	3 (10.3)	10 (16.7)	10 (18.9)	10 (14.3)	98 (16.0)
まちの安全や住みやすさ	20 (33.9)	44 (39.3)	23 (34.3)	15 (33.3)	30 (46.9)	21 (41.2)	11 (37.9)	18 (30.0)	22 (41.5)	31 (44.3)	236 (38.6)
子どものしつけや青少年健全育成	14 (23.7)	26 (23.2)	24 (35.8)	14 (31.1)	19 (29.7)	12 (23.5)	6 (20.7)	15 (25.0)	15 (28.3)	26 (37.1)	171 (27.9)
外国人との交流と理解	1 (1.7)	9 (8.0)	4 (6.0)	1 (2.2)	4 (6.3)	4 (7.8)	2 (6.9)	4 (6.7)	5 (9.4)	4 (5.7)	38 (6.2)
住民同士の助け合いや地域交流	13 (22.0)	32 (28.6)	21 (31.3)	15 (33.3)	25 (39.1)	11 (21.6)	11 (37.9)	19 (31.7)	18 (34.0)	16 (22.9)	181 (29.6)
生きがいづくり	12 (20.3)	23 (20.5)	15 (22.4)	11 (24.4)	16 (25.0)	10 (19.6)	6 (20.7)	15 (25.0)	11 (20.8)	12 (17.1)	132 (21.6)
自治会などの活性化	6 (10.2)	21 (18.8)	12 (17.9)	9 (20.0)	13 (20.3)	6 (11.8)	6 (20.7)	8 (13.3)	12 (22.6)	7 (10.0)	100 (16.3)
地域の伝統芸能や祭りの保存・継承	2 (3.4)	17 (15.2)	9 (13.4)	10 (22.2)	7 (10.9)	6 (11.8)	1 (3.4)	8 (13.3)	6 (11.3)	5 (7.1)	71 (11.6)
地域のまちづくり活動の活性化	12 (20.3)	21 (18.8)	14 (20.9)	9 (20.0)	10 (15.6)	13 (25.5)	3 (10.3)	14 (23.3)	12 (22.6)	11 (15.7)	119 (19.4)
地域の雇用や経済に対する不安	6 (10.2)	9 (8.0)	9 (13.4)	2 (4.4)	7 (10.9)	6 (11.8)	4 (13.8)	9 (15.0)	5 (9.4)	6 (8.6)	63 (10.3)
高齢者の生活不安	15 (25.4)	21 (18.8)	20 (29.9)	7 (15.6)	21 (32.8)	14 (27.5)	5 (17.2)	19 (31.7)	16 (30.2)	18 (25.7)	157 (25.7)
環境や景観の保全	7 (11.9)	13 (11.6)	16 (23.9)	11 (24.4)	12 (18.8)	5 (9.8)	4 (13.8)	10 (16.7)	14 (26.4)	9 (12.9)	101 (16.5)
市民と行政の協働	8 (13.6)	11 (9.8)	12 (17.9)	7 (15.6)	11 (17.2)	4 (7.8)	2 (6.9)	10 (16.7)	7 (13.2)	8 (11.4)	80 (13.1)
特に課題はない	2 (3.4)	6 (5.4)	5 (7.5)	4 (8.9)	2 (3.1)	3 (5.9)	3 (10.3)	5 (8.3)	2 (3.8)	3 (4.3)	35 (5.7)
その他	2 (3.4)	3 (2.7)	1 (1.5)	1 (2.2)	0 (0.0)	1 (2.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	1 (1.9)	2 (2.9)	13 (2.1)
無回答	8 (13.6)	13 (11.6)	2 (3.0)	3 (6.7)	7 (10.9)	4 (7.8)	0 (0.0)	6 (10.0)	6 (11.3)	2 (2.9)	52 (8.5)
全体	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612

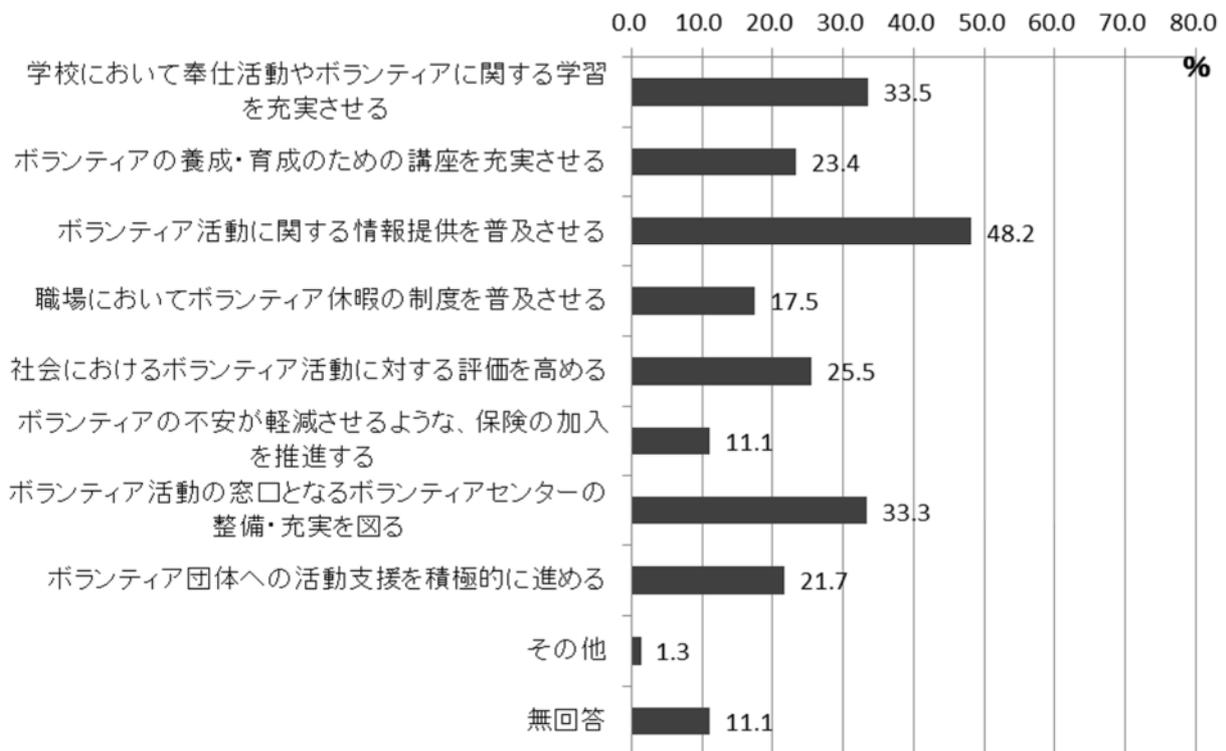


### (11) ボランティア活動を盛んにするための取組み

ボランティア活動を盛んにするために、どのような取組みが必要だと思うかをたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が48.2%で最も多かった。次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」33.5%、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る」33.3%と続いている。

問11 あなたは、ボランティア活動を盛んにするために、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問11(MA)	回答数	%
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	205	33.5
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	143	23.4
ボランティア活動に関する情報提供を普及させる	295	48.2
職場においてボランティア休暇の制度を普及させる	107	17.5
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	156	25.5
ボランティアの不安が軽減させるような、保険の加入を推進する	68	11.1
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る	204	33.3
ボランティア団体への活動支援を積極的に進める	133	21.7
その他	8	1.3
無回答	68	11.1
全体	612	-



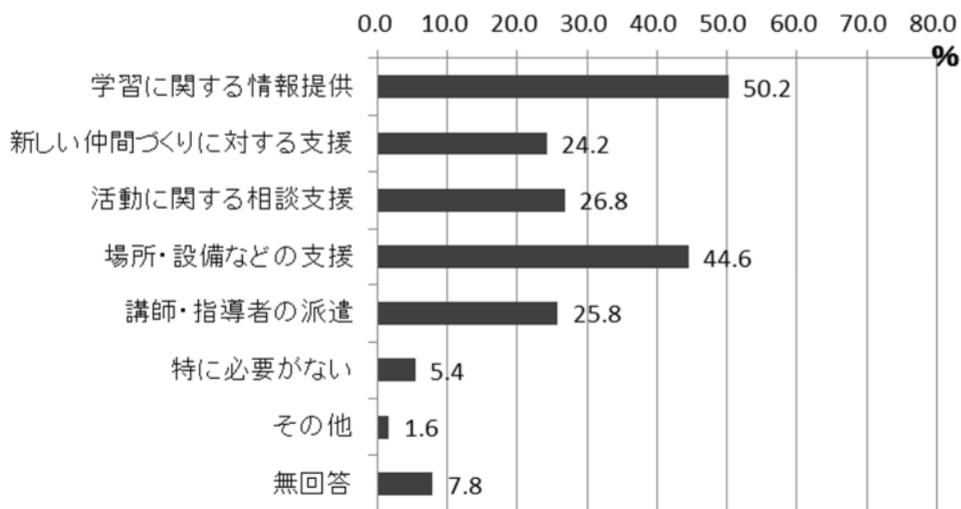
## (12) 生涯学習への支援

生涯学習をするために、どのような支援があると良いと思うかをたずねたところ、「学習に関する情報提供」が50.2%で最も多かった。次いで「場所・設備などの支援」44.6%、「活動に関する相談支援」26.8%、「講師・指導者の派遣」25.8%、「新しい仲間づくりに対する支援」24.2%と続いている。

ボランティア活動を盛んにするための取組みと同様に、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きいといえる。

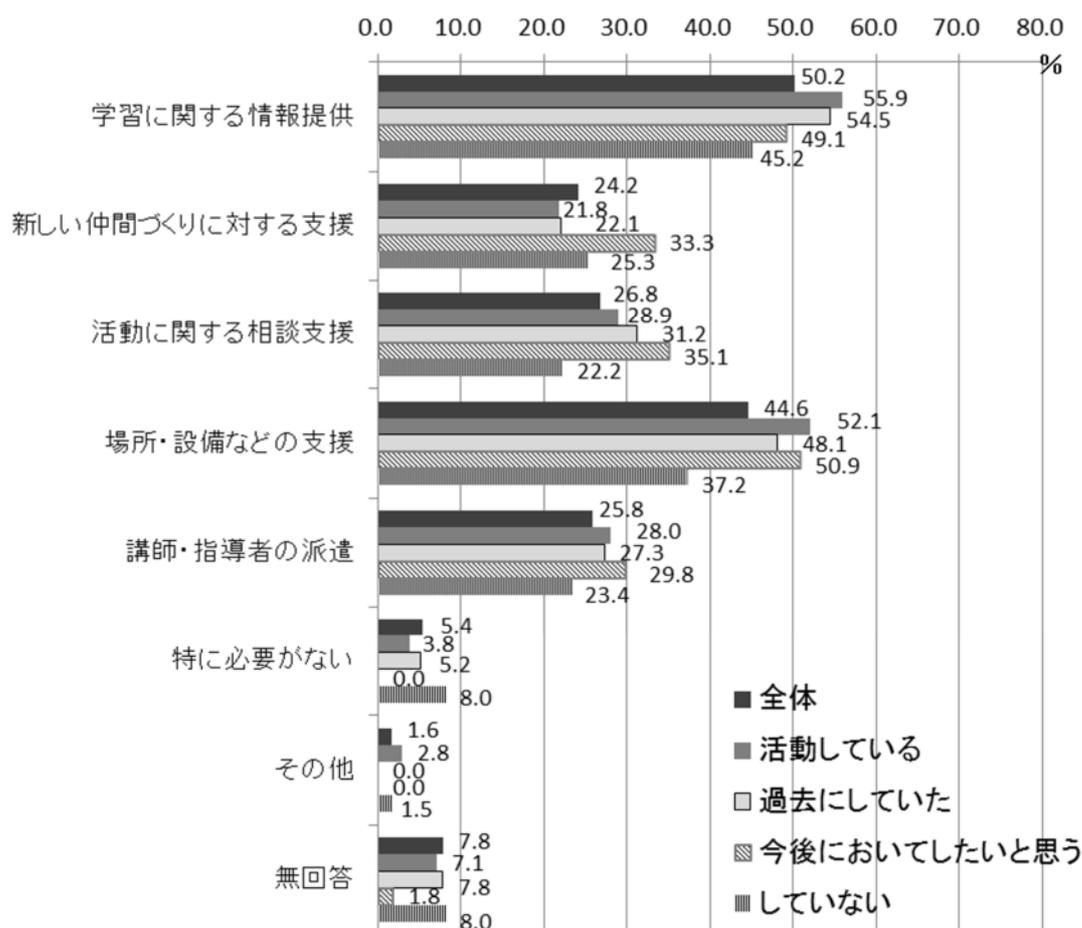
問12 あなたは、生涯学習をするために、どのような支援があると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問12(MA)	回答数	%
学習に関する情報提供	307	50.2
新しい仲間づくりに対する支援	148	24.2
活動に関する相談支援	164	26.8
場所・設備などの支援	273	44.6
講師・指導者の派遣	158	25.8
特に必要がない	33	5.4
その他	10	1.6
無回答	48	7.8
全体	612	-



生涯学習活動について「活動している」回答者では、「学習に関する情報提供」「場所・設備などの支援」の割合が大きくなっている。「今後においてしたいと思う」の回答者では、「新しい仲間づくりに対する支援」「活動に関する相談支援」「場所・設備などの支援」「講師・指導者の派遣」の割合が大きくなっている。

問12(MA) 一問6生涯学習活動状況(この1年間)	活動している	%	過去にしていた	%	今後したいと思う	%	していない	%	無回答	全体	%
学習に関する情報提供	118	55.9	42	54.5	28	49.1	118	45.2	1	307	50.2
新しい仲間づくりに対する支援	46	21.8	17	22.1	19	33.3	66	25.3	0	148	24.2
活動に関する相談支援	61	28.9	24	31.2	20	35.1	58	22.2	1	164	26.8
場所・設備などの支援	110	52.1	37	48.1	29	50.9	97	37.2	0	273	44.6
講師・指導者の派遣	59	28.0	21	27.3	17	29.8	61	23.4	0	158	25.8
特に必要がない	8	3.8	4	5.2	0	0.0	21	8.0	0	33	5.4
その他	6	2.8	0	0.0	0	0.0	4	1.5	0	10	1.6
無回答	15	7.1	6	7.8	1	1.8	21	8.0	5	48	7.8
全体	211	-	77	-	57	-	261	-	6	612	-



### (13) 生涯学習の情報

生涯学習の情報をどこから得ているかをたずねたところ、「県や市の広報誌」が63.4%で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」26.6%、「インターネット・携帯電話」20.9%、「新聞や雑誌」20.8%と続いている。

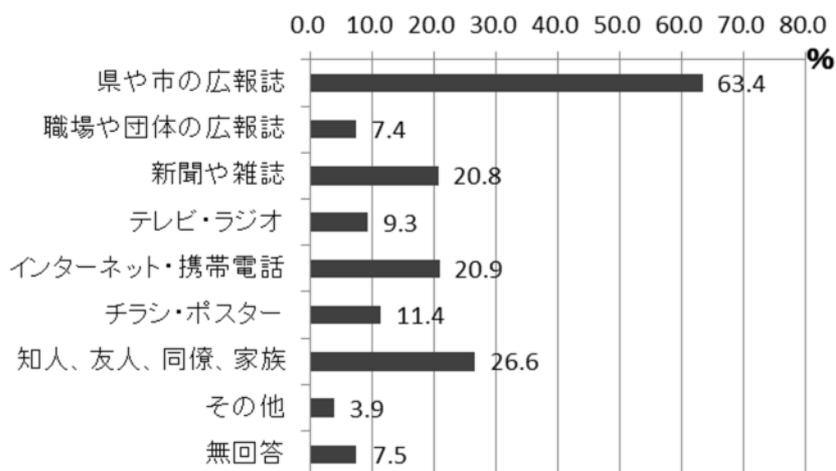
年代別でみると、「県や市の広報誌」は、10-20歳代では37.9%と他年代より低くなっている。「インターネット・携帯電話」は、10-20歳代で28.8%、30-40歳代で32.7%と高い比率だが、50-60歳代で12.6%、70歳代以上で9.2%と比率が低くなっている。

生涯学習活動について「活動している」回答者では、「知人、友人、同僚、家族」「インターネット・携帯電話」の割合が大きくなっている。「今後においてしたいと思う」の回答者では、「県や市の広報誌」の割合が大きくなっている。

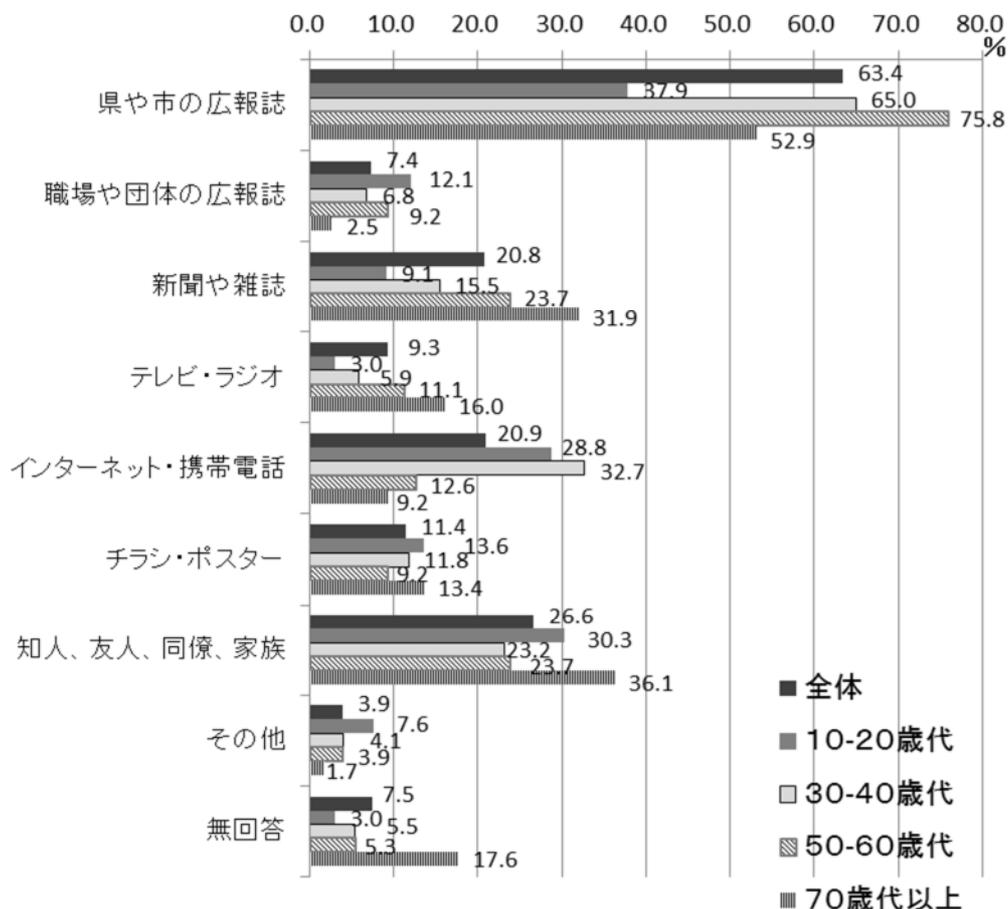
行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、新聞・雑誌など従来からの情報源と合わせて、10-20歳代、30-40歳代ではインターネット・携帯電話も情報源として利用されていることがわかる。

問13 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○を)

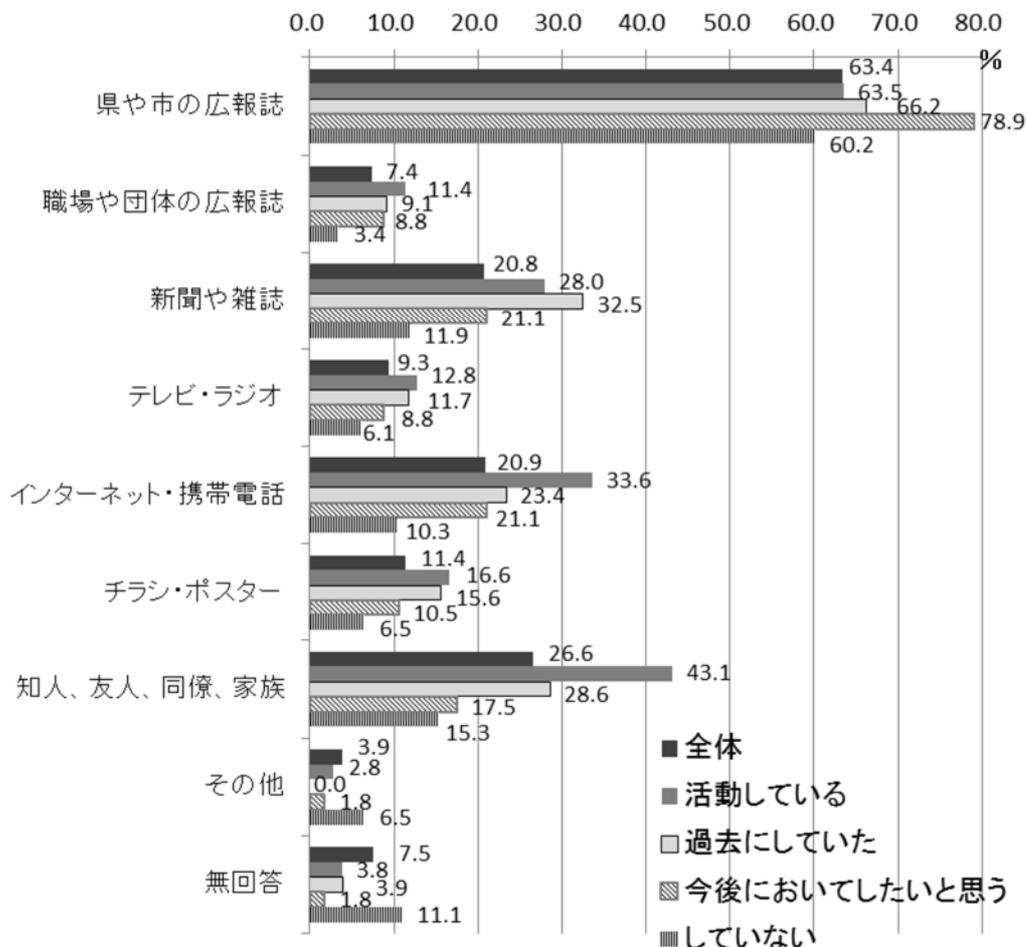
問13(MA)	回答数	%
県や市の広報誌	388	63.4
職場や団体の広報誌	45	7.4
新聞や雑誌	127	20.8
テレビ・ラジオ	57	9.3
インターネット・携帯電話	128	20.9
チラシ・ポスター	70	11.4
知人、友人、同僚、家族	163	26.6
その他	24	3.9
無回答	46	7.5
全体	612	-



問13(MA)	10-20 歳代	%	30-40 歳代	%	50-60 歳代	%	70歳 代以上	%	全体	%
県や市の広報誌	25	37.9	143	65.0	157	75.8	63	52.9	388	63.4
職場や団体の広報誌	8	12.1	15	6.8	19	9.2	3	2.5	45	7.4
新聞や雑誌	6	9.1	34	15.5	49	23.7	38	31.9	127	20.8
テレビ・ラジオ	2	3.0	13	5.9	23	11.1	19	16.0	57	9.3
インターネット・携帯電話	19	28.8	72	32.7	26	12.6	11	9.2	128	20.9
チラシ・ポスター	9	13.6	26	11.8	19	9.2	16	13.4	70	11.4
知人、友人、同僚、家族	20	30.3	51	23.2	49	23.7	43	36.1	163	26.6
その他	5	7.6	9	4.1	8	3.9	2	1.7	24	3.9
無回答	2	3.0	12	5.5	11	5.3	21	17.6	46	7.5
全体	66	—	220	—	207	—	119	—	612	—



問13(MA) 一問6生涯学 習活動状況(この1年間)	活動 している	%	過去に していた	%	今後した いと思う	%	してい ない	%	無回答	全体	%
県や市の広報誌	134	63.5	51	66.2	45	78.9	157	60.2	1	388	63.4
職場や団体の広報誌	24	11.4	7	9.1	5	8.8	9	3.4	0	45	7.4
新聞や雑誌	59	28.0	25	32.5	12	21.1	31	11.9	0	127	20.8
テレビ・ラジオ	27	12.8	9	11.7	5	8.8	16	6.1	0	57	9.3
インターネット・携帯電話	71	33.6	18	23.4	12	21.1	27	10.3	0	128	20.9
チラシ・ポスター	35	16.6	12	15.6	6	10.5	17	6.5	0	70	11.4
知人、友人、同僚、家族	91	43.1	22	28.6	10	17.5	40	15.3	0	163	26.6
その他	6	2.8	0	0.0	1	1.8	17	6.5	0	24	3.9
無回答	8	3.8	3	3.9	1	1.8	29	11.1	5	46	7.5
全体	211	-	77	-	57	-	261	-	6	612	-



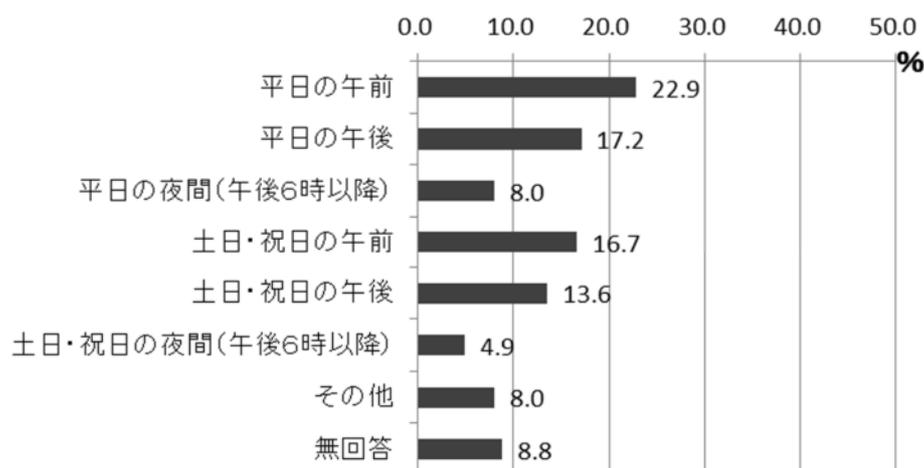
#### (14) 生涯学習活動をする時間・費用

##### 1) 生涯学習活動がしやすい時間帯

生涯学習活動がしやすい時間帯をたずねたところ、「平日の午前」が**22.9%**で最も多かった。次いで「平日の午後」**17.2%**、「土日・祝日の午前」**16.7%**、「土日・祝日の午後」**13.6%**と続いている。

問15 あなたの生涯学習活動がしやすい時間帯はいつですか。(いずれか1つに○を)

問15	回答数	%
平日の午前	140	22.9
平日の午後	105	17.2
平日の夜間(午後6時以降)	49	8.0
土日・祝日の午前	102	16.7
土日・祝日の午後	83	13.6
土日・祝日の夜間(午後6時以降)	30	4.9
その他	49	8.0
無回答	54	8.8
計	612	100.0



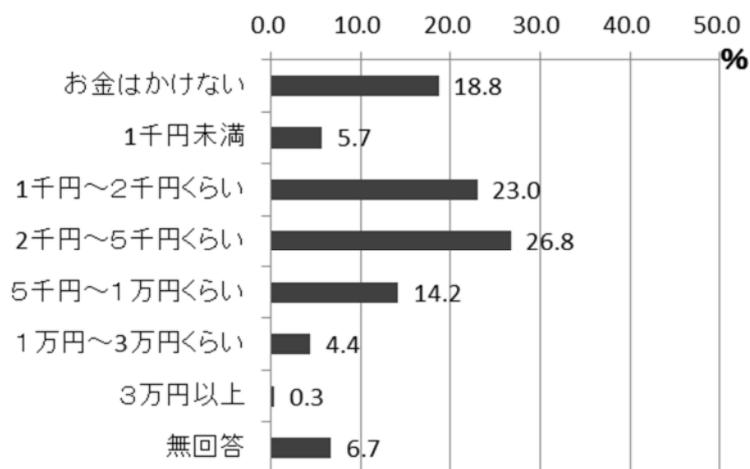
## 2) 生涯学習にかかる経費

生涯学習にかかる経費（1ヶ月単位）は、どのくらいまでならいいかをたずねたところ、「2千円～5千円くらい」**26.8%**、「1千円～2千円くらい」**23.0%**が多かった。次いで「お金はかけない」**18.8%**、「5千円～1万円くらい」**14.2%**と続いている。

前回平成11年調査と比較すると、「2千円～5千円くらい」が最も多いのは同様だが、「1千円～2千円くらい」「お金はかけない」の比率が前回より大きくなっている。

問16 あなたは、生涯学習にかかる経費は、どのくらいまでならいいですか。「1ヶ月単位」(いずれか1つに○を)

問16	回答数	%	H11 調査%
お金はかけない	115	18.8	9
1千円未満	35	5.7	5
1千円～2千円くらい	141	23.0	18
2千円～5千円くらい	164	26.8	36
5千円～1万円くらい	87	14.2	18
1万円～3万円くらい	27	4.4	3
3万円以上	2	0.3	0
(利用するつもりはない)			7
無回答	41	6.7	4
計	612	100.0	100



### (15) 市の生涯学習施設の満足度と今後の利用意向

香芝市の生涯学習施設について、満足度と今後の利用意向をたずねた結果を下記の通りスコア化してその傾向を見た。

問17 満足度	スコア	今後の利用意向	スコア
1 満足	2	1 ぜひ利用したい	2
2 まあまあ満足	1	2 出来れば利用したい	1
3 どちらともいえない	0	3 あまり利用したくない	-2
4 やや不満	-1	4 わからない	-
5 不満	-2	0 無回答	-
6 わからない	-		
0 無回答	-		

満足度は、市民図書館、総合福祉センター、ふたかみ文化センターのスコアが高かった。利用意向も、市民図書館、総合福祉センター、ふたかみ文化センターのスコアが高かった。スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)は、満足度ではスコアが最も低かったが、利用意向ではやや高いスコアになっている。

男女別では、満足度のスコアは、中央公民館、スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)以外では、概ね女性の方が高くなる傾向が見られた。

年代別で全体平均スコアと比べて特徴的な傾向としては、中央公民館、スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)の満足度は、70歳代以上でスコアが高く、総合体育館、スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)、青少年野外活動センターの満足度は、10-20歳代で高くなっている。

校区别で全体平均スコアと比べて特徴的な傾向としては、中央公民館、総合体育館は関屋校区の満足度が低い。二上山博物館は五位堂校区の満足度が低い。市民図書館は真美ヶ丘東校区の満足度が低い。スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)は関屋校区の満足度が低い。青少年野外活動センターは真美ヶ丘西校区の満足度が低い。

問17 あなたは、下記の施設についてどのように思われますか。下記の施設の満足度と、今後の利用意向についてのお答えください。( ~ の各項目の満足度と利用意向についてそれぞれ1つに○をつけてください)

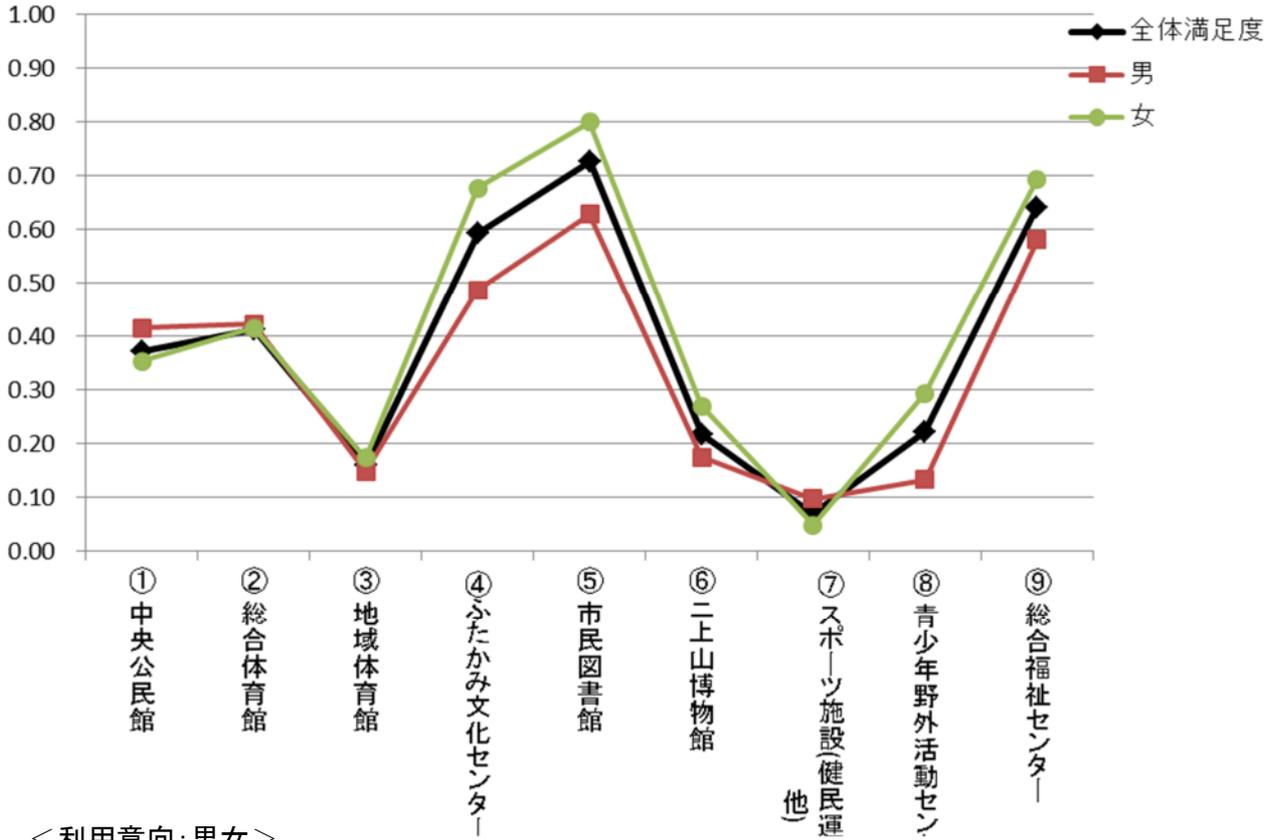
問17満足度 平均スコア	全体	男	女	10-20 歳代	30-40 歳代	50-60 歳代	70歳代 以上
①中央公民館	0.37	0.42	0.35	0.37	0.19	0.34	0.73
②総合体育館	0.41	0.42	0.42	0.66	0.29	0.39	0.56
③地域体育館	0.16	0.15	0.17	0.39	0.02	0.18	0.23
④ふたかみ文化センター	0.59	0.49	0.68	0.57	0.58	0.54	0.77
⑤市民図書館	0.73	0.63	0.80	0.60	0.70	0.73	0.89
⑥二上山博物館	0.22	0.17	0.27	0.38	0.03	0.20	0.46
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.07	0.10	0.05	0.51	-0.05	-0.09	0.32
⑧青少年野外活動センター	0.22	0.13	0.29	0.52	0.17	0.12	0.33
⑨総合福祉センター	0.64	0.58	0.69	0.58	0.60	0.63	0.79

今後の利用意向 平均スコア	全体	男	女	10-20 歳代	30-40 歳代	50-60 歳代	70歳代 以上
①中央公民館	0.80	0.74	0.84	0.43	0.86	0.71	1.04
②総合体育館	0.72	0.75	0.72	0.76	0.90	0.53	0.52
③地域体育館	0.35	0.36	0.35	0.39	0.52	0.04	0.41
④ふたかみ文化センター	1.04	0.90	1.12	0.58	1.12	1.07	1.09
⑤市民図書館	1.29	1.19	1.36	1.19	1.35	1.27	1.25
⑥二上山博物館	0.23	0.21	0.25	-0.04	0.19	0.23	0.56
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.48	0.58	0.42	0.66	0.79	-0.06	0.46
⑧青少年野外活動センター	0.33	0.34	0.28	0.70	0.63	-0.15	-0.43
⑨総合福祉センター	1.02	0.96	1.05	0.65	1.03	0.97	1.23

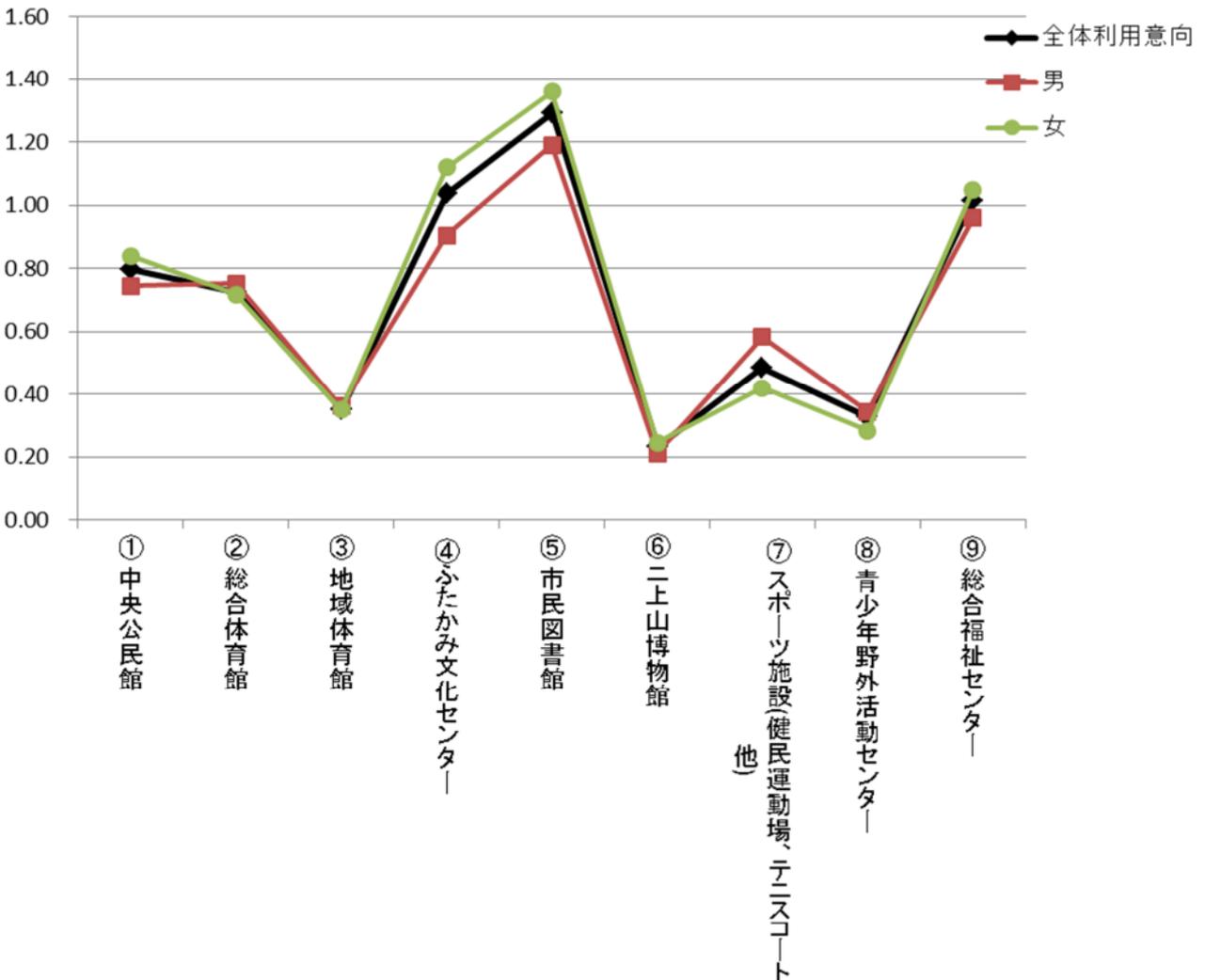
問17満足度 校区別平均スコア	全体	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘
①中央公民館	0.37	0.33	0.48	0.36	0.45	0.12	0.29	0.44	0.76	0.48	0.20
②総合体育館	0.41	0.29	0.51	0.50	0.29	0.14	0.61	0.55	0.19	0.65	0.31
③地域体育館	0.16	0.10	0.13	0.24	0.07	0.10	0.12	0.21	0.22	0.18	0.22
④ふたかみ文化センター	0.59	0.59	0.81	0.47	0.29	0.42	0.74	0.52	0.29	0.44	0.80
⑤市民図書館	0.73	0.45	0.86	0.90	0.38	0.71	0.97	0.88	0.28	0.76	0.73
⑥二上山博物館	0.22	-0.44	0.54	0.26	0.00	0.13	0.10	0.41	0.44	0.13	0.14
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.07	0.13	0.09	0.05	0.00	-0.19	0.00	0.15	0.25	0.06	0.21
⑧青少年野外活動センター	0.22	0.20	0.31	0.47	0.14	0.31	0.36	0.20	0.00	-0.36	0.26
⑨総合福祉センター	0.64	0.43	0.85	0.85	0.79	0.51	0.74	0.52	0.59	0.32	0.61

今後の利用意向 校区別平均スコア	全体	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘
①中央公民館	0.80	0.67	0.58	1.22	0.69	0.37	0.82	1.27	1.17	0.75	0.88
②総合体育館	0.72	0.50	0.34	1.00	0.82	0.70	1.13	0.93	0.71	0.96	0.55
③地域体育館	0.35	0.19	-0.17	0.83	-0.08	0.42	0.81	0.45	0.71	0.71	0.19
④ふたかみ文化センター	1.04	0.86	1.12	1.22	0.74	0.83	1.13	1.12	1.10	1.17	1.02
⑤市民図書館	1.29	0.83	1.37	1.42	1.24	1.13	1.38	1.23	1.33	1.50	1.31
⑥二上山博物館	0.23	-0.10	0.24	0.09	-0.17	0.15	0.67	0.33	0.95	0.70	-0.24
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.48	0.18	0.22	0.50	0.33	0.26	0.75	0.00	1.24	0.89	0.51
⑧青少年野外活動センター	0.33	0.08	0.22	1.25	0.30	0.00	1.27	0.10	1.00	0.33	-0.08
⑨総合福祉センター	1.02	0.58	0.88	1.50	1.00	1.00	1.17	1.00	1.19	1.13	0.86

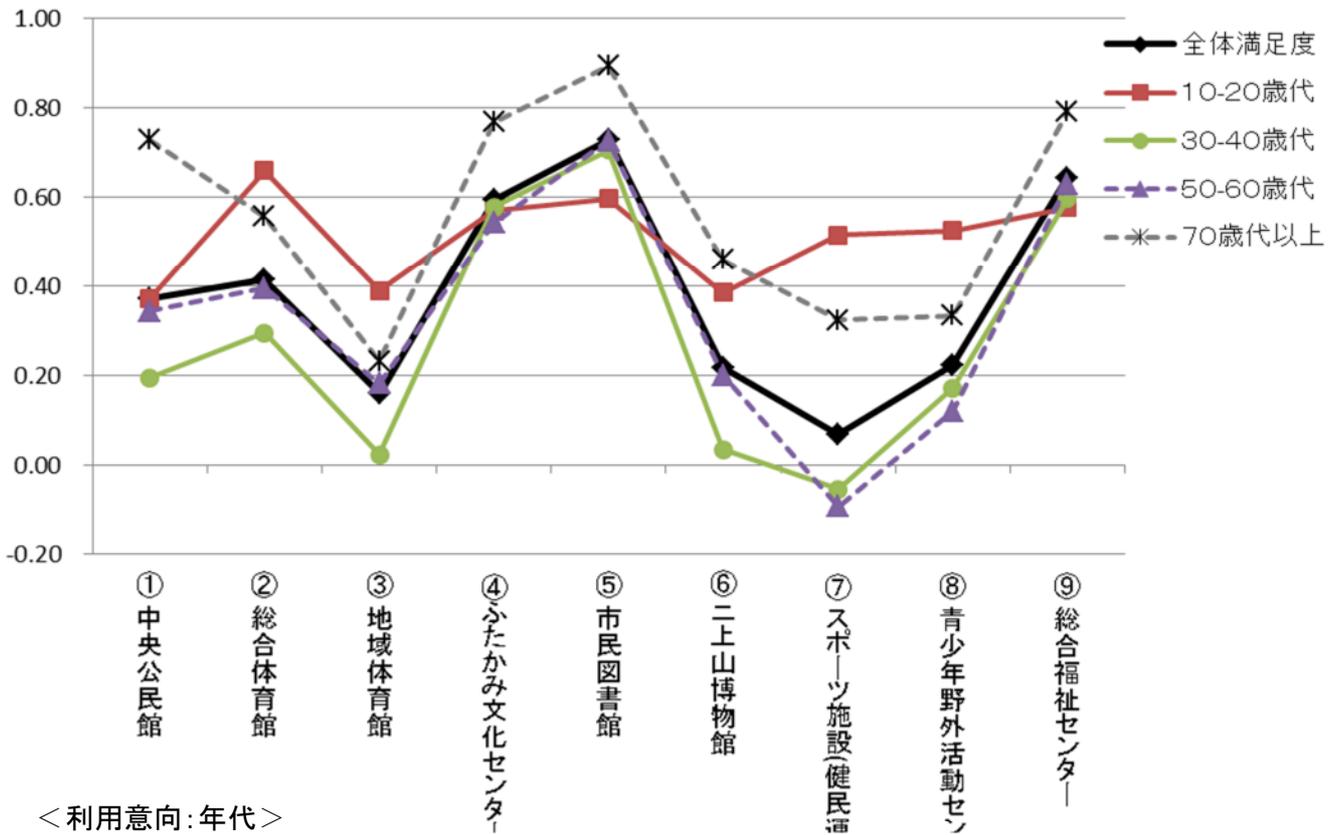
<満足度:男女>



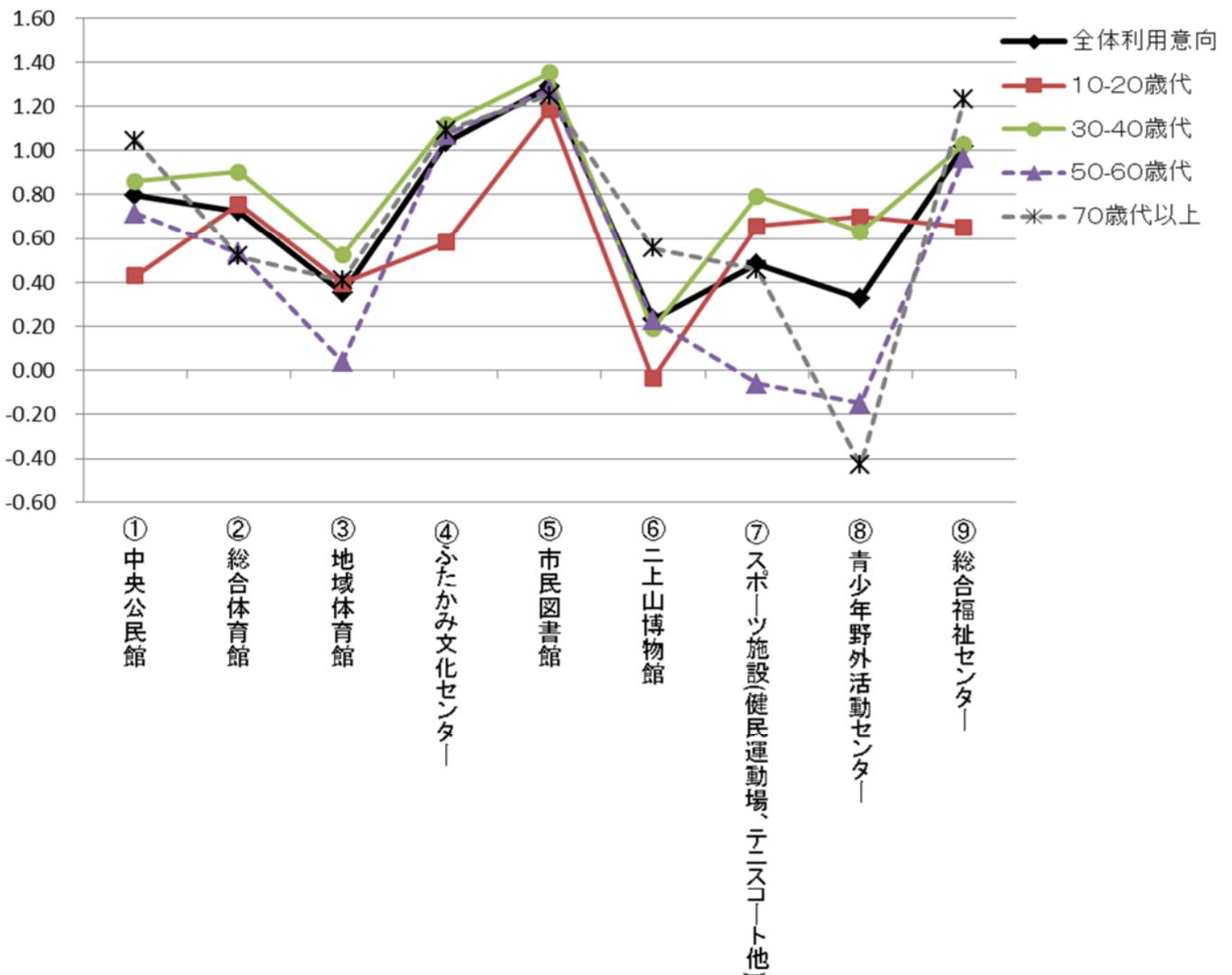
<利用意向:男女>



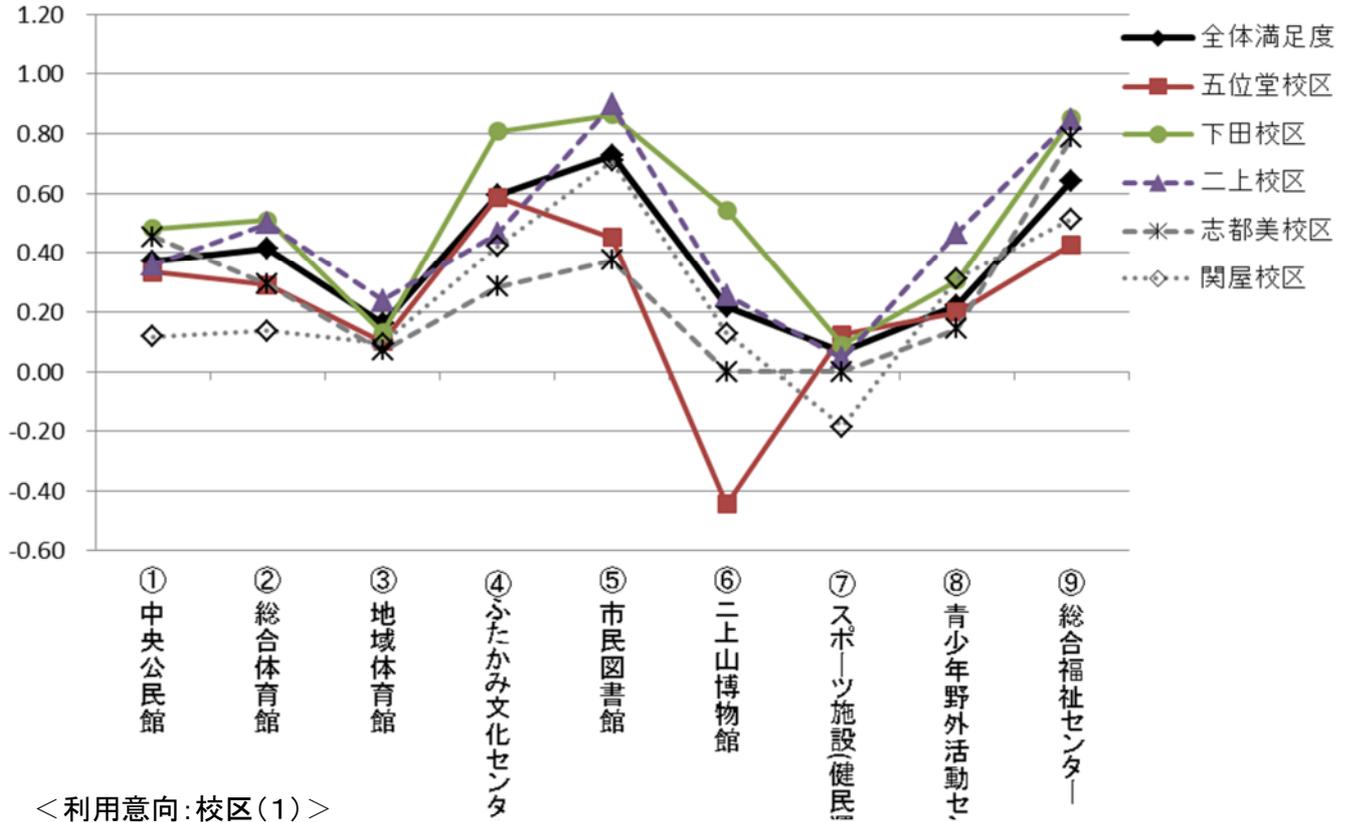
<満足度:年代>



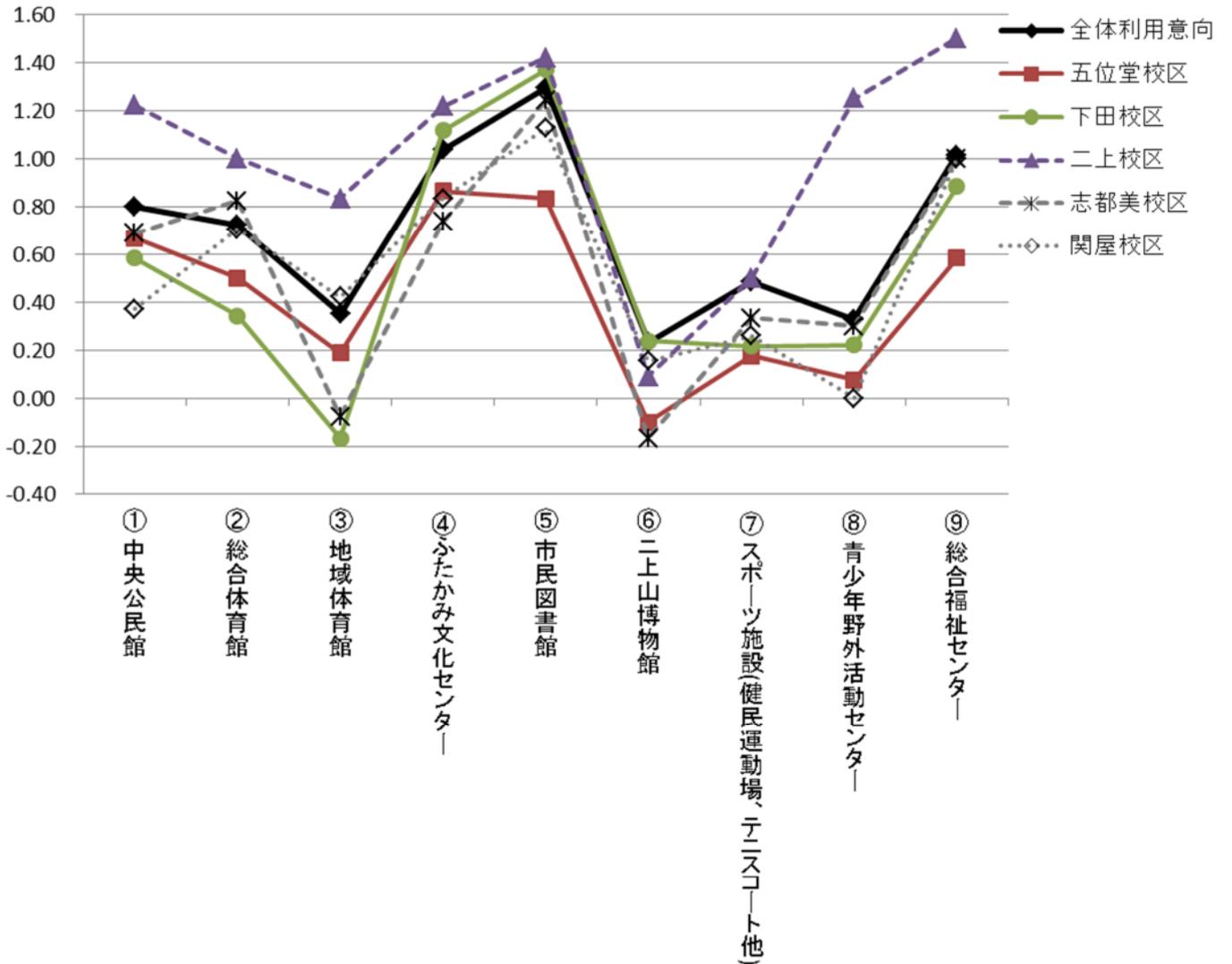
<利用意向:年代>



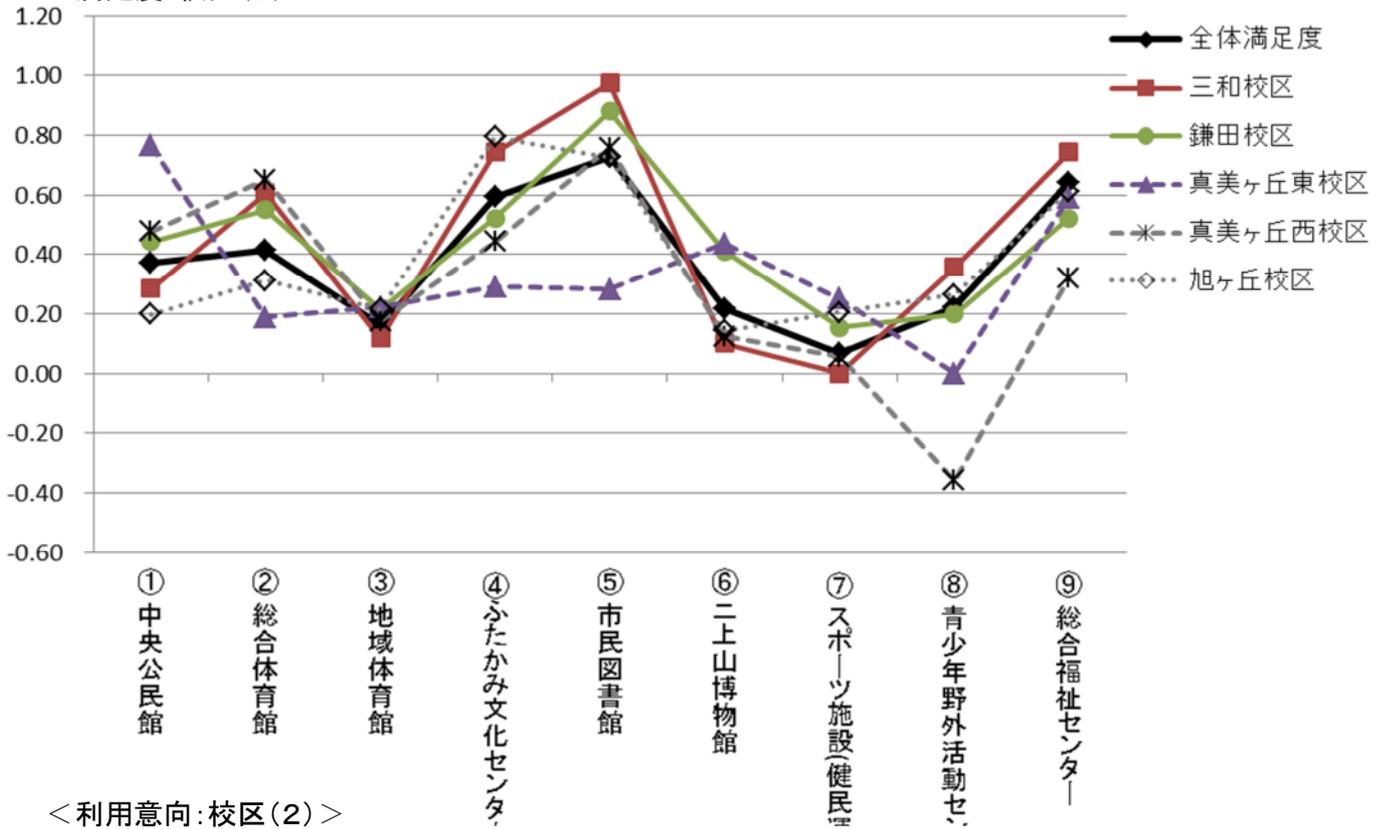
<満足度:校区(1)>



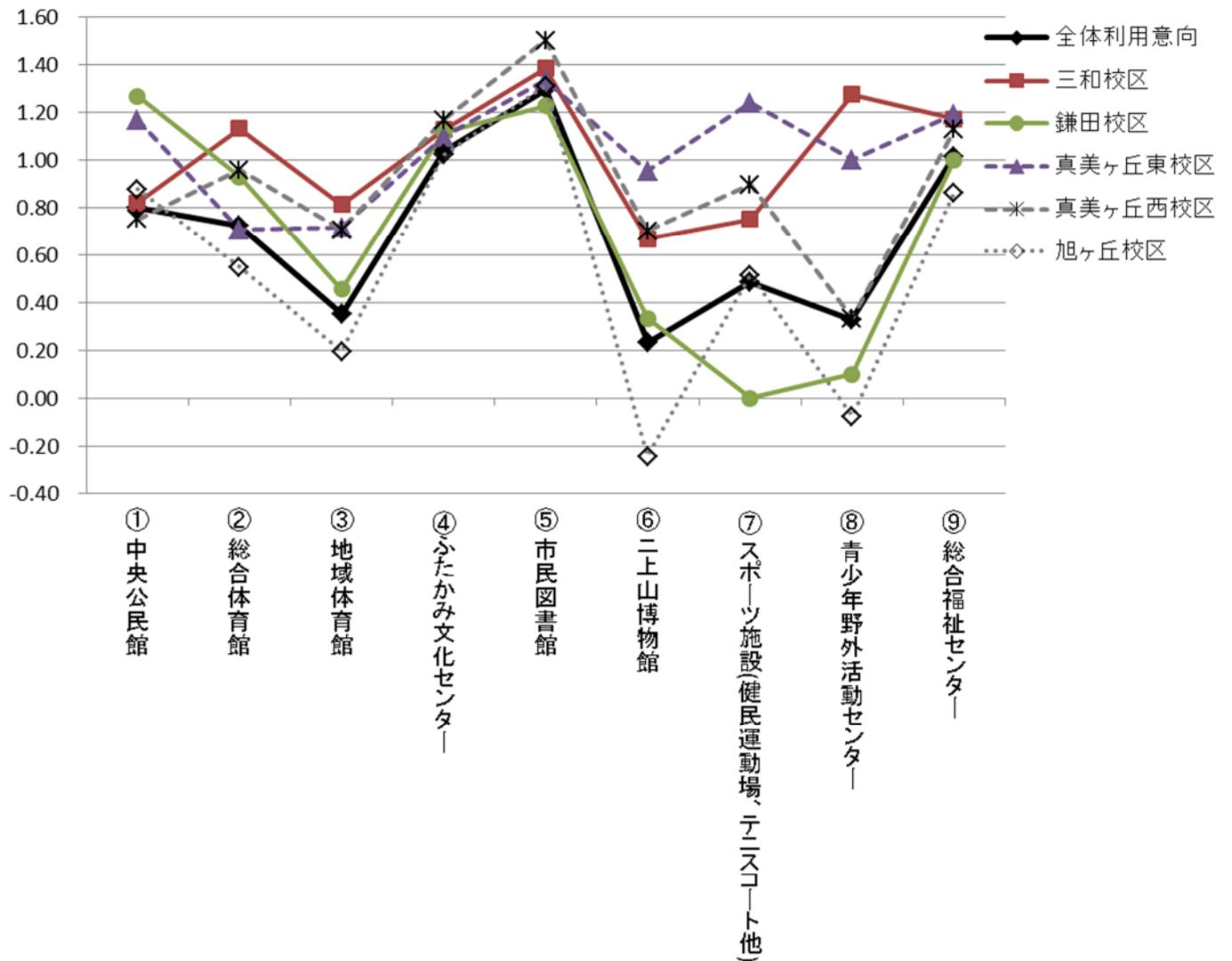
<利用意向:校区(1)>



<満足度:校区(2)>



<利用意向:校区(2)>



(16) 市の生涯学習への取組み

1) 取組みの重要度

香芝市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度をたずねた。「重要」の回答率%が高いのは、「中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)」「体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)」「身近なところでの学習機会の充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「生涯学習に対する情報提供」であった。

問18 あなたは、香芝市が行っている生涯学習の取組みは、今後どのくらい重要であると思われますか。

%	1	2	3	4	5	0
	重要	えいば重要 どちらかとい	えいば重要 どちらともい	では重要 あまり重要	重要でない	無回答
①講座、講演会などの種類や数の充実	22.5	30.2	29.7	4.4	2.0	11.1
②身近なところでの学習機会の充実	23.2	32.8	26.5	3.8	2.1	11.6
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	21.2	32.5	27.5	5.7	2.0	11.1
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	28.6	32.8	22.4	3.6	1.8	10.8
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	27.3	30.2	25.0	3.9	2.0	11.6
⑥芸術・文化活動の機会の充実	20.8	32.4	31.0	2.6	2.1	11.1
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	20.3	33.3	27.9	1.6	1.8	15.0
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	19.0	31.7	29.2	3.1	1.8	15.2
⑨指導者・リーダーの養成	18.1	27.0	33.3	3.8	2.5	15.4
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	12.3	30.2	36.8	2.9	1.8	16.0
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	15.7	32.2	31.4	2.6	2.0	16.2
⑫ボランティア育成や活動の支援	18.0	36.6	25.8	2.3	1.5	15.8
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	19.1	29.9	28.4	3.4	3.1	16.0
⑭大学との連携と公開講座の推進	14.1	27.5	35.3	5.1	2.8	15.4
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	16.5	31.4	31.4	2.8	2.3	15.7
⑯学んだことを発表する機会	8.0	24.2	41.2	8.0	3.3	15.4
⑰生涯学習に対する情報提供	22.1	36.8	22.1	2.1	2.0	15.0
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	13.6	31.4	32.8	3.3	2.9	16.0
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	20.6	29.4	28.4	4.2	2.3	15.0
⑳NPO等の活動支援	10.6	23.7	40.7	4.2	5.2	15.5

\*20%以上の値に網掛け

香芝市が行っている生涯学習の取組みの重要度をたずねた結果を、下記の通りスコア化してその傾向を見た。

	スコア
1 重要	2
2 どちらかといえば重要	1
3 どちらともいえない	0
4 あまり重要ではない	-1
5 重要でない	-2
0 無回答	-

全体の平均スコアが 0.8 以上だった上位項目は、次の通りだった。

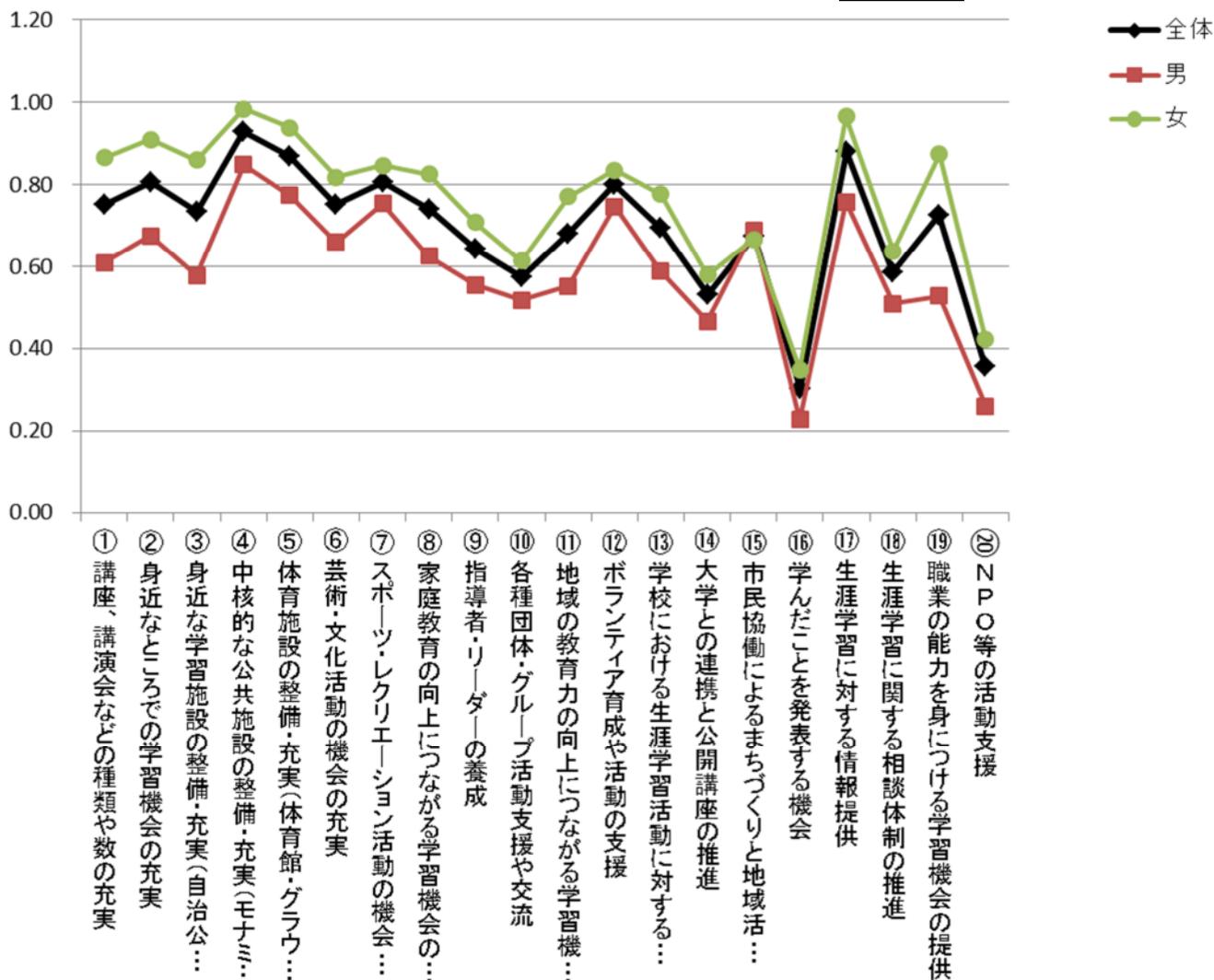
生涯学習の取組みの重要度	平均スコア
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93
⑪生涯学習に対する情報提供	0.88
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81
②身近なところでの学習機会の充実	0.81
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80

男女では、女性の方が概ねスコアが高くなる傾向が見られる。

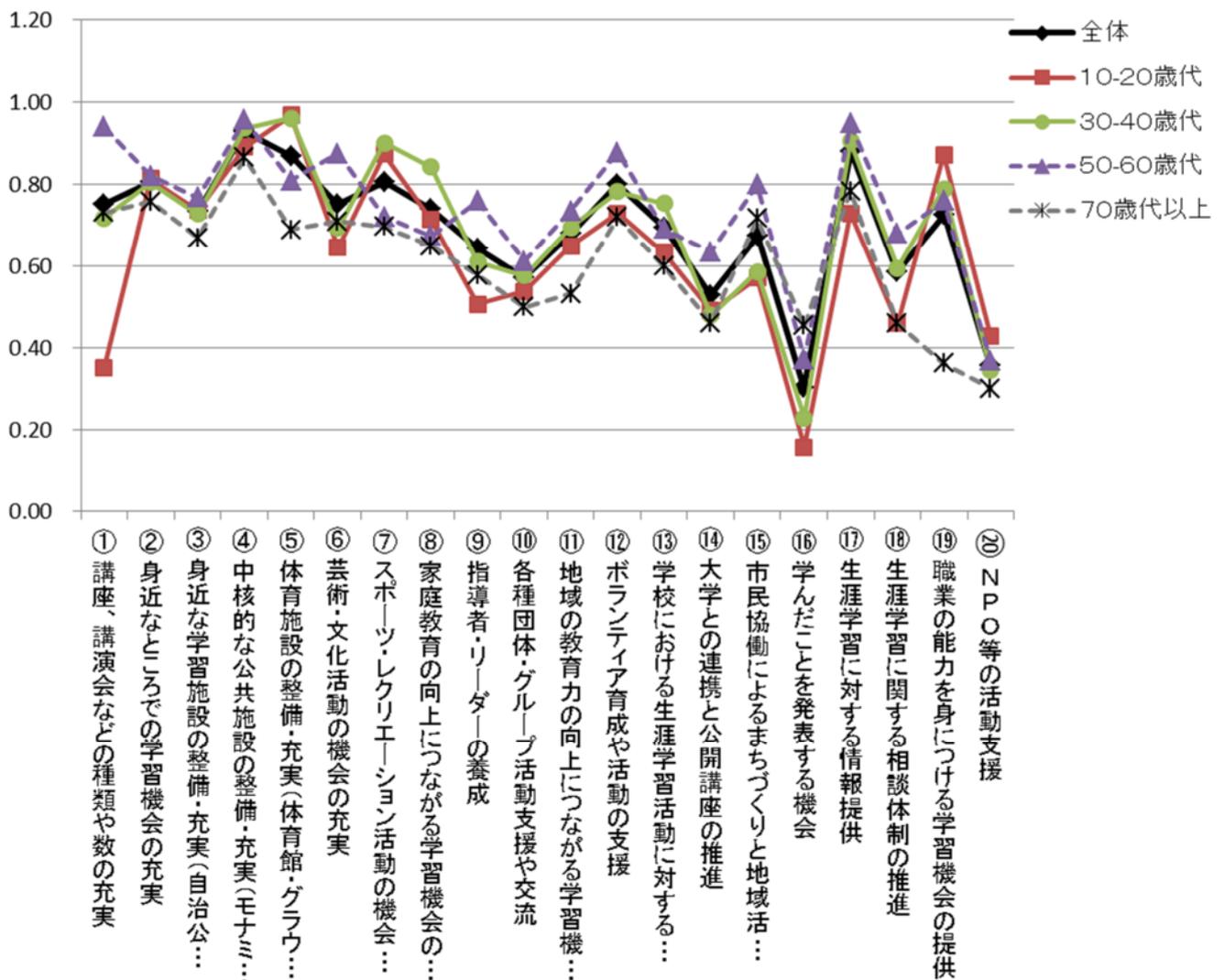
年代別で全体平均スコアと比べて特徴的な傾向としては、「講座、講演会などの種類や数の充実」は、50-60 歳代でスコアが高く、10-20 歳代で低くなっている。「体育施設の整備・充実」と「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」は、10-20 歳代と 30-40 歳代でスコアが高くなっている。「芸術・文化活動の機会の充実」「指導者・リーダーの養成」は、50-60 歳代でスコアが高くなっている。「家庭教育の向上につながる学習機会の提供」は 30-40 歳代でスコアが高くなっている。

生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」回答者では、「体育施設の整備・充実」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「ボランティア育成や活動の支援」のスコアが高くなっている。「過去にしていた」の回答者では、「生涯学習に対する情報提供」「生涯学習に関する相談体制の推進」「職業の能力を身につける学習機会の提供」「ボランティア育成や活動の支援」のスコアが高くなっている。

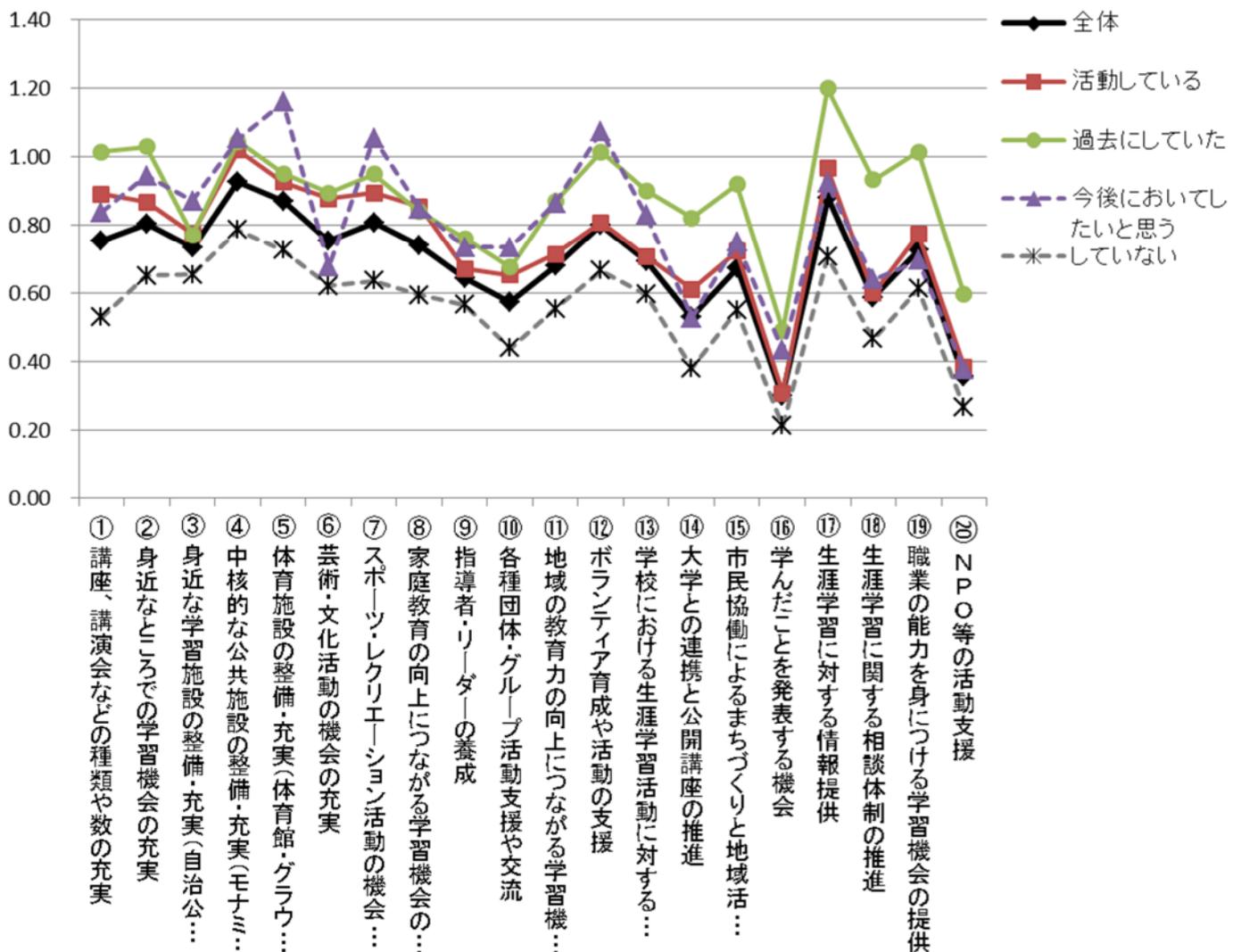
問18 重要度平均スコア	全体	男	女
①講座、講演会などの種類や数の充実	0.75	0.61	0.87
②身近なところでの学習機会の充実	0.81	0.68	0.91
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	0.74	0.58	0.86
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93	0.85	0.98
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87	0.77	0.94
⑥芸術・文化活動の機会の充実	0.75	0.66	0.82
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81	0.75	0.85
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.74	0.63	0.83
⑨指導者・リーダーの養成	0.64	0.56	0.71
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	0.57	0.52	0.61
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.68	0.55	0.77
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80	0.75	0.84
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.70	0.59	0.78
⑭大学との連携と公開講座の推進	0.53	0.47	0.58
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.68	0.69	0.67
⑯学んだことを発表する機会	0.30	0.23	0.35
⑰生涯学習に対する情報提供	0.88	0.76	0.97
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	0.59	0.51	0.64
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	0.73	0.53	0.87
⑳ NPO等の活動支援	0.36	0.26	0.42



問18 重要度平均スコア	全体	10-20歳代	30-40歳代	50-60歳代	70歳代以上
①講座、講演会などの種類や数の充実	0.75	0.35	0.72	0.94	0.73
②身近なところでの学習機会の充実	0.81	0.82	0.81	0.82	0.76
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	0.74	0.74	0.73	0.77	0.67
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93	0.89	0.94	0.96	0.87
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87	0.97	0.96	0.81	0.69
⑥芸術・文化活動の機会の充実	0.75	0.65	0.70	0.88	0.71
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81	0.88	0.90	0.72	0.70
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.74	0.71	0.84	0.67	0.65
⑨指導者・リーダーの養成	0.64	0.51	0.61	0.76	0.58
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	0.57	0.54	0.58	0.61	0.50
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.68	0.65	0.70	0.74	0.53
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80	0.73	0.78	0.88	0.72
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.70	0.63	0.75	0.69	0.60
⑭大学との連携と公開講座の推進	0.53	0.49	0.48	0.64	0.46
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.68	0.57	0.59	0.80	0.72
⑯学んだことを発表する機会	0.30	0.16	0.23	0.37	0.45
⑰生涯学習に対する情報提供	0.88	0.73	0.91	0.95	0.78
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	0.59	0.46	0.60	0.68	0.46
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	0.73	0.87	0.79	0.76	0.36
⑳NPO等の活動支援	0.36	0.43	0.35	0.37	0.30



問18 重要度平均スコア -問6生涯学習種別状況(この1年間)	全体	活動している	過去にしていた	今後したいと思う	していない
①講座、講演会などの種類や数の充実	0.75	0.89	1.02	0.84	0.53
②身近なところでの学習機会の充実	0.81	0.87	1.03	0.95	0.65
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	0.74	0.78	0.77	0.87	0.66
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93	1.02	1.05	1.05	0.79
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87	0.93	0.95	1.16	0.73
⑥芸術・文化活動の機会の充実	0.75	0.88	0.90	0.68	0.62
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81	0.90	0.95	1.06	0.64
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.74	0.86	0.84	0.85	0.60
⑨指導者・リーダーの養成	0.64	0.67	0.76	0.74	0.57
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	0.57	0.65	0.68	0.74	0.44
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.68	0.72	0.87	0.87	0.56
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80	0.81	1.02	1.08	0.67
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.70	0.71	0.90	0.83	0.60
⑭大学との連携と公開講座の推進	0.53	0.61	0.82	0.53	0.38
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.68	0.72	0.92	0.75	0.55
⑯学んだことを発表する機会	0.30	0.31	0.49	0.43	0.21
⑰生涯学習に対する情報提供	0.88	0.97	1.20	0.92	0.71
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	0.59	0.60	0.93	0.64	0.47
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	0.73	0.77	1.02	0.70	0.61
⑳NPO等の活動支援	0.36	0.39	0.60	0.38	0.27



## 2) 生涯学習を盛んにするために市が取り組むべきこと

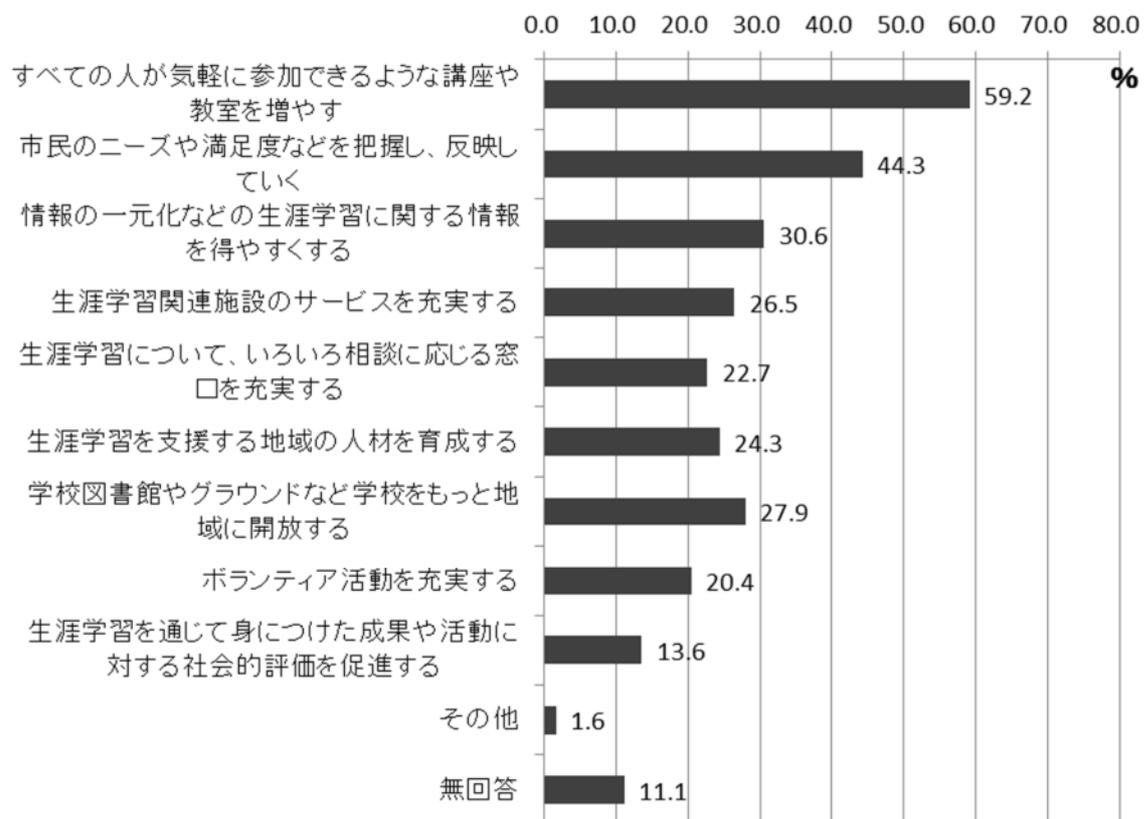
今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、香芝市では、どのようなことに力を入れるべきかをたずねたところ、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が 59.2%で最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」が 44.3%「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」が 30.6%で多かった。

「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「ボランティア活動を充実する」は、10-20 歳代で割合が大きくなっている。「学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する」は、10-20 歳代、30-40 歳代で割合が大きくなっている。「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」「生涯学習関連施設のサービスを充実する」は、30-40 歳代、50-60 歳代で割合が大きくなっている。「生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する」は 50-60 歳代で割合が大きくなっている。

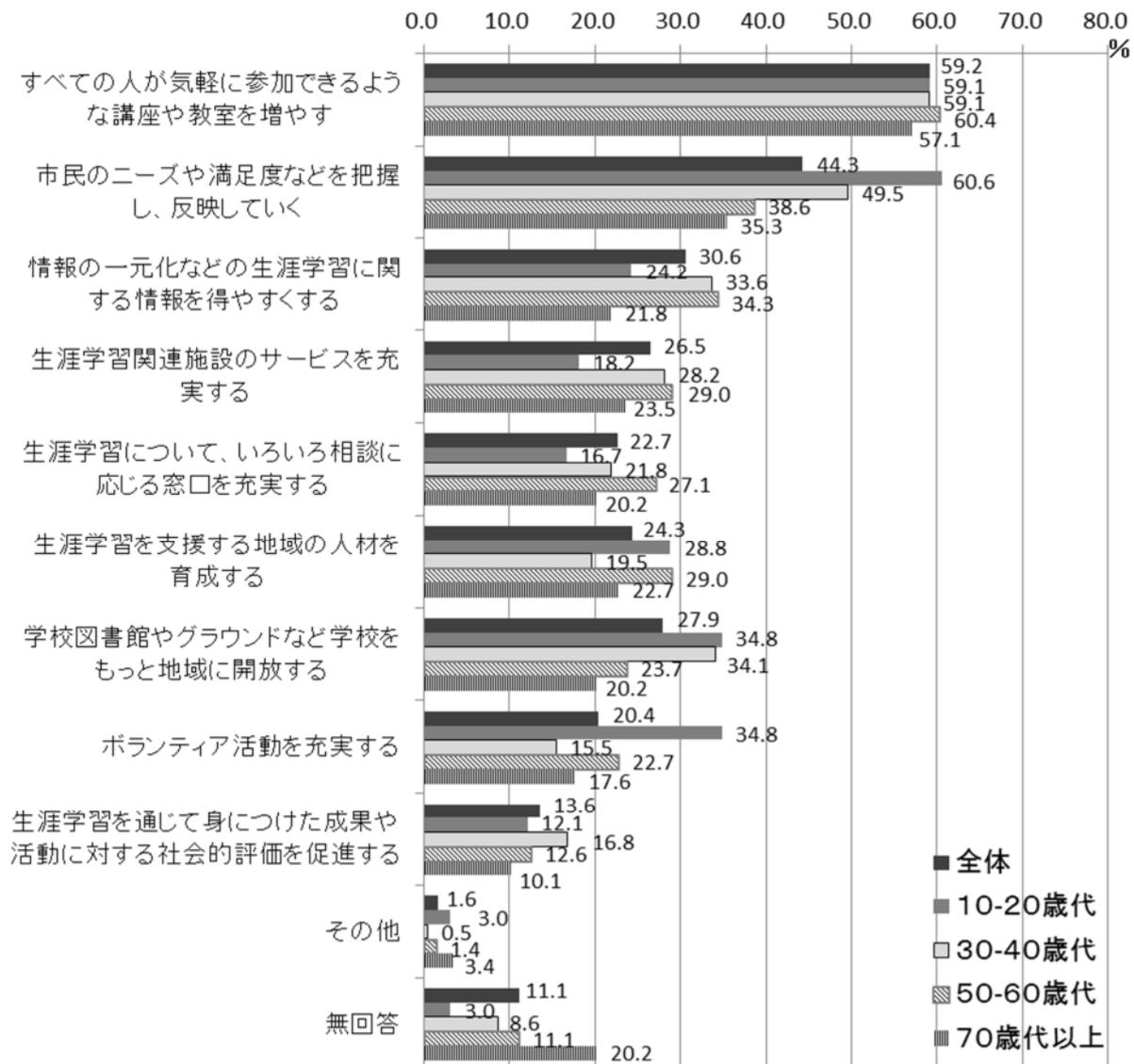
生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」回答者では、「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」「生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する」「生涯学習を支援する地域の人材を育成する」の割合が大きくなっている。「過去にしていた」回答者では、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」の割合が大きくなっている。

問19 あなたは、今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、香芝市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるすべてに○を）

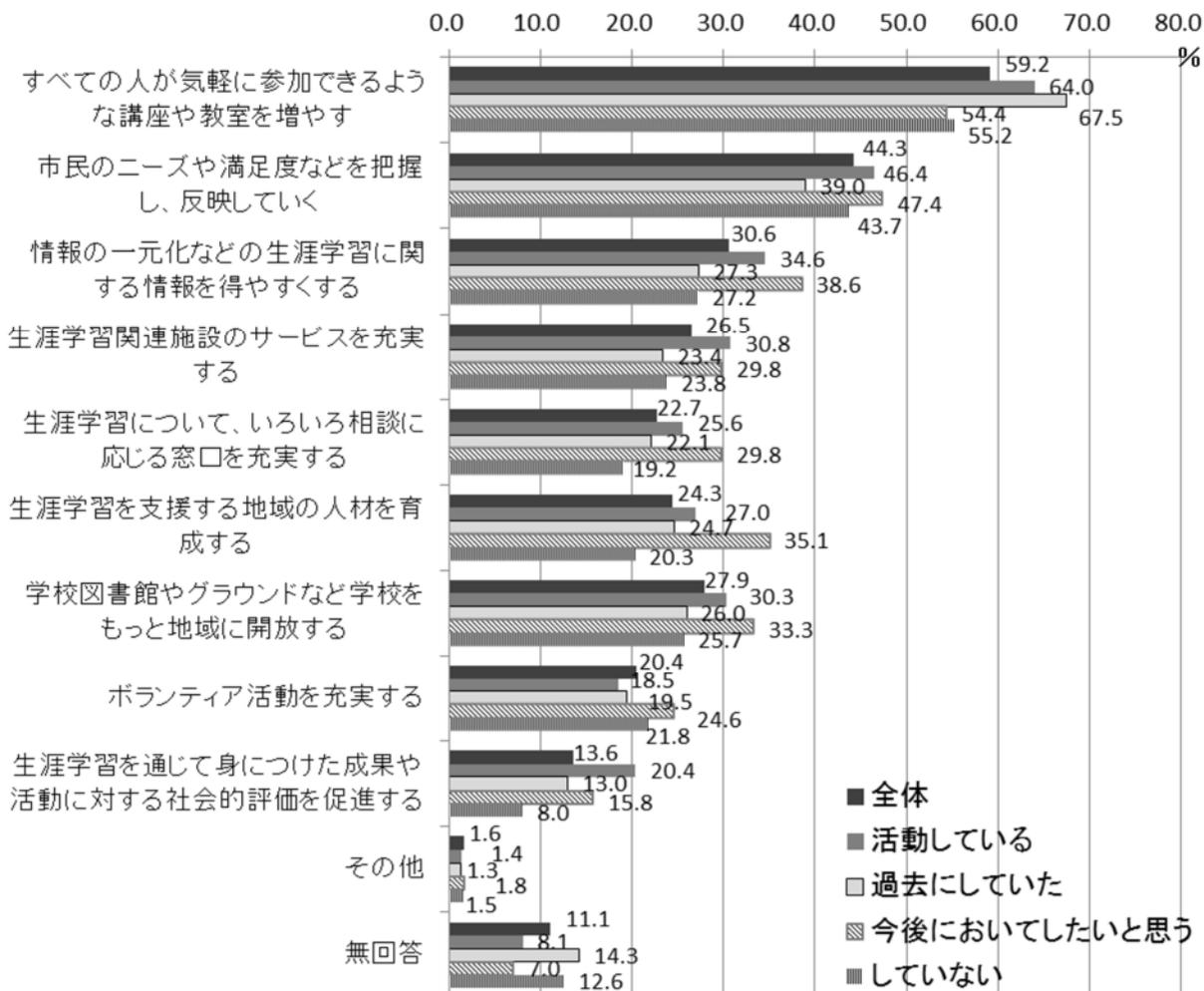
問19(MA)	回答数	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	362	59.2
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	271	44.3
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	187	30.6
生涯学習関連施設のサービスを充実する	162	26.5
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	139	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	149	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	171	27.9
ボランティア活動を充実する	125	20.4
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	83	13.6
その他	10	1.6
無回答	68	11.1
全体	612	-



問19(MA)	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	39	59.1	130	59.1	125	60.4	68	57.1	362	59.2
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	40	60.6	109	49.5	80	38.6	42	35.3	271	44.3
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	16	24.2	74	33.6	71	34.3	26	21.8	187	30.6
生涯学習関連施設のサービスを充実する	12	18.2	62	28.2	60	29.0	28	23.5	162	26.5
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	11	16.7	48	21.8	56	27.1	24	20.2	139	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	19	28.8	43	19.5	60	29.0	27	22.7	149	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	23	34.8	75	34.1	49	23.7	24	20.2	171	27.9
ボランティア活動を充実する	23	34.8	34	15.5	47	22.7	21	17.6	125	20.4
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	8	12.1	37	16.8	26	12.6	12	10.1	83	13.6
その他	2	3.0	1	0.5	3	1.4	4	3.4	10	1.6
無回答	2	3.0	19	8.6	23	11.1	24	20.2	68	11.1
全体	66	—	220	—	207	—	119	—	612	—



問19(MA) 一問6生涯学習活動状況(この1年間)	活動している	%	過去にしていた	%	今後したいと思う	%	していない	%	無回答	全体	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	135	64.0	52	67.5	31	54.4	144	55.2	0	362	59.2
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	98	46.4	30	39.0	27	47.4	114	43.7	2	271	44.3
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	73	34.6	21	27.3	22	38.6	71	27.2	0	187	30.6
生涯学習関連施設のサービスを充実する	65	30.8	18	23.4	17	29.8	62	23.8	0	162	26.5
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	54	25.6	17	22.1	17	29.8	50	19.2	1	139	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	57	27.0	19	24.7	20	35.1	53	20.3	0	149	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	64	30.3	20	26.0	19	33.3	67	25.7	1	171	27.9
ボランティア活動を充実する	39	18.5	15	19.5	14	24.6	57	21.8	0	125	20.4
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	43	20.4	10	13.0	9	15.8	21	8.0	0	83	13.6
その他	3	1.4	1	1.3	1	1.8	4	1.5	1	10	1.6
無回答	17	8.1	11	14.3	4	7.0	33	12.6	3	68	11.1
全体	211	-	77	-	57	-	261	-	6	612	-



## (17) 一般市民アンケート調査結果のまとめ

### ○健康や老後のことに不安を感じている

日常生活で悩みや不安を感じていることとして、「自分や家族の健康のこと」、「自分や家族の老後のこと」を回答者の半数があげている。

### ○地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないことが課題となっている

地域の行事、地域活動等への参加状況は、「よく参加している」、「ある程度参加している」を合わせた、参加している人は50%を下まわっており、「まったく参加していない」が20%を超えている。「よく参加している」は、70歳代以上で割合が大きく、「ある程度参加している」は、50-60歳代、30-40歳代の順で割合が大きかった。一方「まったく参加していない」は、10-20歳代で特に割合が大きくなっている。

参加している地域活動等の内容は、「自治会、老人会、子ども会活動」、「地域のまつりや運動会などのイベント」「清掃などのボランティア活動」が、それぞれ5割以上で多かった。

地域活動等に参加しない理由としては、「時間的な余裕がないから」約5割で最も多く、次いで「興味のある行事、イベントがないから」約3割、「行ったことがないので参加しにくいから」、「知らない人ばかりで参加しにくいから」、「行事の情報を知らないから」が2割以上だった。行事、地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないということは課題といえる。

### ○生涯学習に関する活動をしている人は5割弱となっている

生涯学習に関する活動をしている人は、「今後においてしたいと思う」を合わせると50%を上まわるが、していない人が40%以上で多数を占めている。「活動している」、「過去にしていた」では、年代が上がるほど割合が大きく、反対に「していない」では年代が下がるほど割合が大きくなっている。一方で「今後においてしたいと思う」は30-40歳代、10-20歳代で割合が大きくなっている。

生涯学習活動の内容は、現在、今後とも「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「教養」となった。今後したい生涯学習では、「教養」と「健康増進・食育」「保健・介護・地域福祉」が、現在よりも多くなっている。

### ○生涯学習活動は自宅では図書やインターネットを通じて、自宅以外ではグループ・サークル活動、公営や民間の講座、教室で行われている

生涯学習に関する活動をしている人が生涯学習活動をしている形態は、自宅では「図書、新聞等の出版物」が最も多く25%、次いで「インターネットを通じて」だった。自宅以外では、「グループ・サークル活動」、「公営の講座、教室」がそれぞれ30%以上、次いで「民間の講座、教室」となっている。

### ○生涯学習は、自分の人生をより豊かにし、自分の健康の維持・増進に役立っている

生涯学習に関する活動を行う目的や動機は、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」が多かった。

生涯学習活動をしている人が生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかは、「自分の人生がより豊かになっている」が最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が多かった。

全体での生涯学習で学んだことをどのように役立てたいかの意向についても、「自分や家族の教養・資質の向上」が4割弱で最も多いものの、次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」、「社会福祉活動」、「市民や子どもたちの学習指導や手伝い」がそれぞれ2割以上で、地域づくりや社会福祉活動に生涯学習で学んだことを役立てたいという意向がみられる。

### ○生涯学習活動をしていない理由は、時間がないことが大きな理由となっている

生涯学習活動をしていない理由は、「仕事や家事で忙しくて時間がない」が最も多く、次いで「余暇に使える自由な時間がない」が多かった。時間がないことが大きな理由となっている。

### ○スポーツ・レクリエーション活動をしていない人は4割以上

スポーツ・レクリエーション活動状況は、「ほとんど、まったくしていない」が4割以上で最も多くなった。「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせた割合では、女性の方が大きく、年代別では30-40歳代、50-60歳代で割合が大きくなっている。

今後したいスポーツは、「水泳」、「ジョギング」、「室内フィットネス・ダンス等」「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多かった。「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多いのは特徴といえる。

### ○ボランティア活動への意向を持つ人は約4割

ボランティア活動への意向は、「生かしたことがないが、できれば生かしたい」、「すでに生かしている」をあわせて約4割だった。その内容としては、「自治会の活動」、「団体、サークルの世話役」が多かった。次いで「花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア」、「市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア」、「近所の高齢者（または障害者）の困っている人へのボランティア」と続き、多様なボランティア活動への参加意向が存在している。

ボランティア活動を盛んにするために必要な取組みとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が最も多かった。次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る」と続いている。

### ○「まちの安全や住みやすさ」が地域の課題

地域にどのような課題があるかについて、「まちの安全や住みやすさ」が最も多かった。次いで「要介護のお年寄りの生活支援」、「住民同士の助け合いや地域交流」、「子どものしつけや青少年健全育成」と続いている。

### ○生涯学習への支援としては、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きい

生涯学習への支援について、「学習に関する情報提供」が最も多く、次いで「場所・設備などの支援」が多かった。さらに「活動に関する相談支援」、「講師・指導者の派遣」、「新しい仲間づくりに対する支援」と続いている。生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」の回答者では、「新しい仲間づくりに対する支援」「活動に関する相談支援」「場所・設備などの支援」「講師・指導者の派遣」の割合が大きくなっている。

ボランティア活動を盛んにするための取組みと同様に、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きいといえる。また、生涯学習活動にこれから取り組みたいと思っている人には、仲間づくりや相談支援へのニーズが大きいといえる。

### ○生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きい

生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が6割強で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」、「新聞や雑誌」、「インターネット・携帯電話」と続いている。「今後においてしたいと思う」の回答者では、「県や市の広報誌」の割合が大きくなっている。行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、新聞・雑誌など従来からの情報源と合わせて、10-20歳代、30-40歳代ではインターネット・携帯電話も情報源として利用されている。生涯学習活動について

### ○今後市が力を入れるべきことは、「気軽に参加できるような講座や教室」「市民のニーズや満足度の把握と反映」「生涯学習に関する情報を得やすくすること」

市が行っている生涯学習の取り組みについて、今後の重要度が高い取り組みとして、「中核的な公共施設の整備・充実」「体育施設の整備・充実」「身近なところでの学習機会の充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「生涯学習に対する情報提供」があげられている。

今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、市として力を入れるべきことは、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」が多かった。生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」回答者では、「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」「生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する」「生涯学習を支援する地域の人材を育成する」の割合が大きくなっている。

### 3 生涯学習団体アンケート調査の結果

#### (1) アンケート対象者の特性

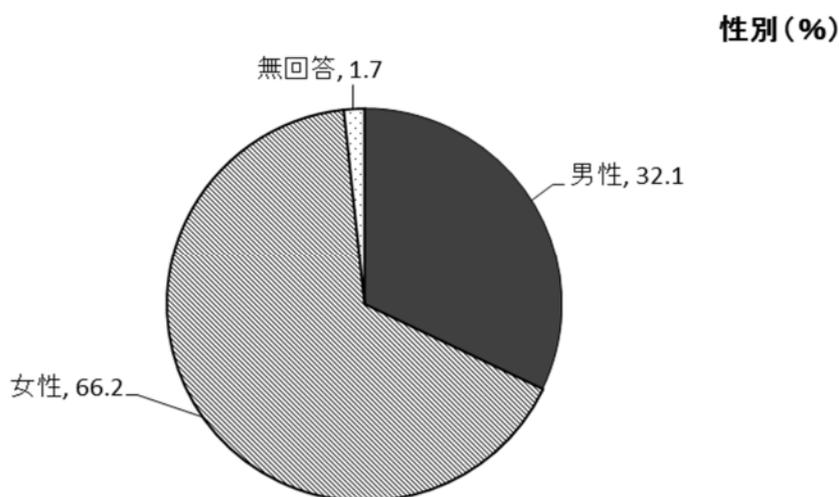
アンケート回答者の性別、居住小学校区、年代は次の通りだった。

##### 1) 性別

回答者の性別は、男性 32.1%、女性 66.2%で女性が多かった。

問1 あなたの性別についてお答えください。

問1	回答数	%
男性	114	32.1
女性	235	66.2
無回答	6	1.7
計	355	100.0

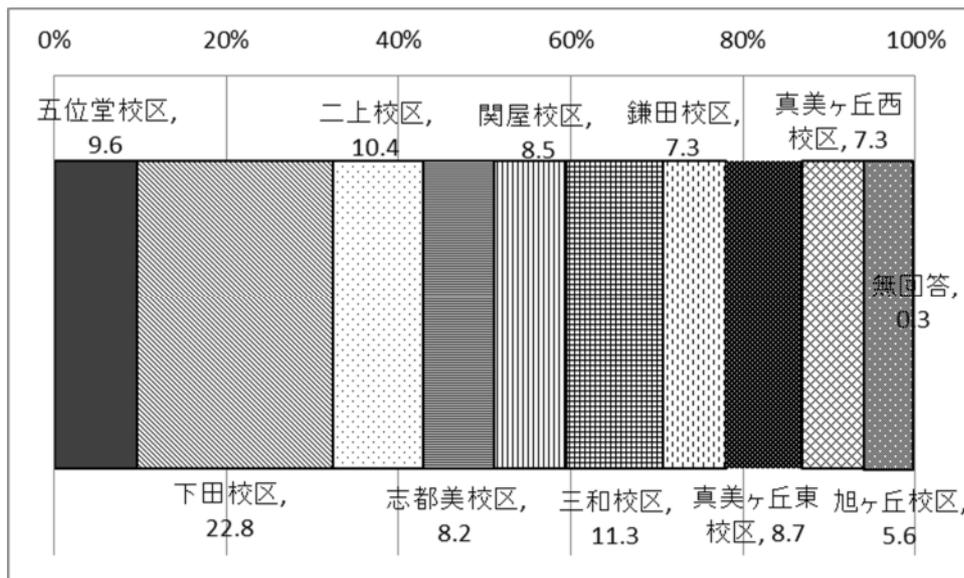


##### 2) 居住小学校区

回答者の居住小学校区は、下田校区が 22.8%、次いで三和校区 11.3%、二上校区 10.4% となった。

問2 あなたのお住まいの校区についてお答えください。 (いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
五位堂校区	34	9.6
下田校区	81	22.8
二上校区	37	10.4
志都美校区	29	8.2
関屋校区	30	8.5
三和校区	40	11.3
鎌田校区	26	7.3
真美ヶ丘東校区	31	8.7
真美ヶ丘西校区	26	7.3
旭ヶ丘校区	20	5.6
無回答	1	0.3
計	355	100.0

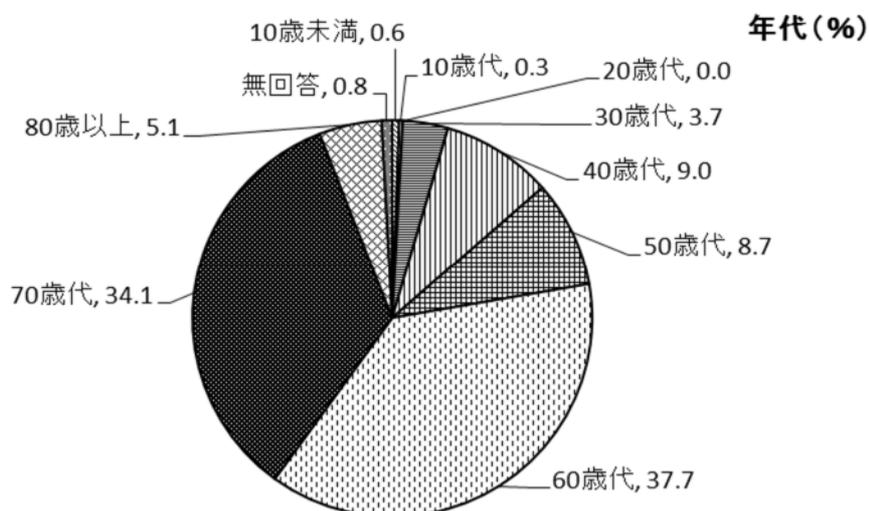


### 3) 年齢

回答者の年齢は、60歳代が37.7%、次いで70歳代が34.1%となった。

問3 あなたの年齢についてお答えください。(いずれか1つに○を)

問3	回答数	%
10歳未満	2	0.6
10歳代	1	0.3
20歳代	0	0.0
30歳代	13	3.7
40歳代	32	9.0
50歳代	31	8.7
60歳代	134	37.7
70歳代	121	34.1
80歳以上	18	5.1
無回答	3	0.8
計	355	100.0



## (2) 参加している生涯学習活動

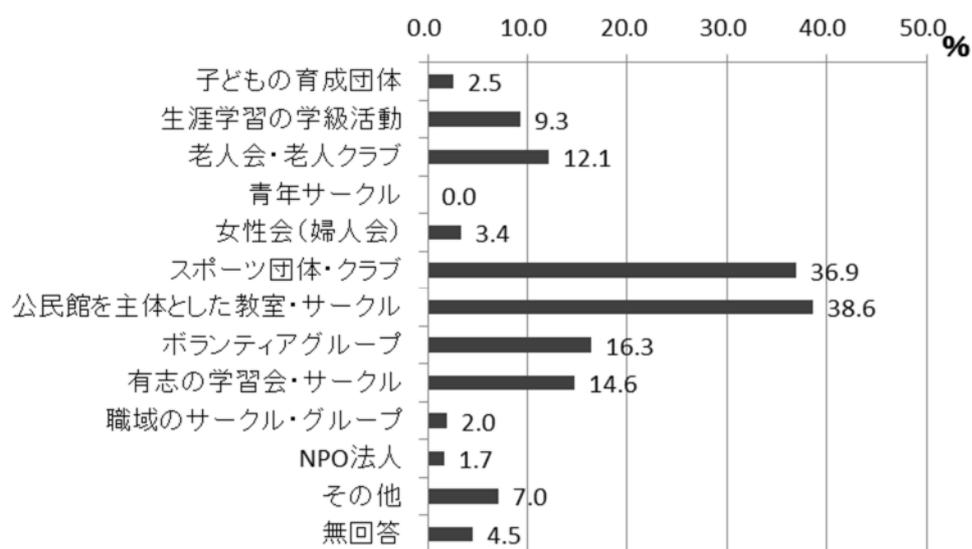
アンケート回答者が参加している生涯学習活動は次の通りだった。

### 1) 生涯学習団体

回答者が参加している団体は、「公民館を主体とした教室・サークル」が **38.6%**、「スポーツ団体・クラブ」が **36.9%** で多かった。次いで「ボランティアグループ」「有志の学習会・サークル」と多様な団体の参加者から回答が寄せられている。

問4 あなたは、どのような団体・サークル・クラブに加入されていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問4(MA)	回答数	%
子どもの育成団体	9	2.5
生涯学習の学級活動	33	9.3
老人会・老人クラブ	43	12.1
青年サークル	0	0.0
女性会(婦人会)	12	3.4
スポーツ団体・クラブ	131	36.9
公民館を主体とした教室・サークル	137	38.6
ボランティアグループ	58	16.3
有志の学習会・サークル	52	14.6
職域のサークル・グループ	7	2.0
NPO 法人	6	1.7
その他	25	7.0
無回答	16	4.5
全体	355	-

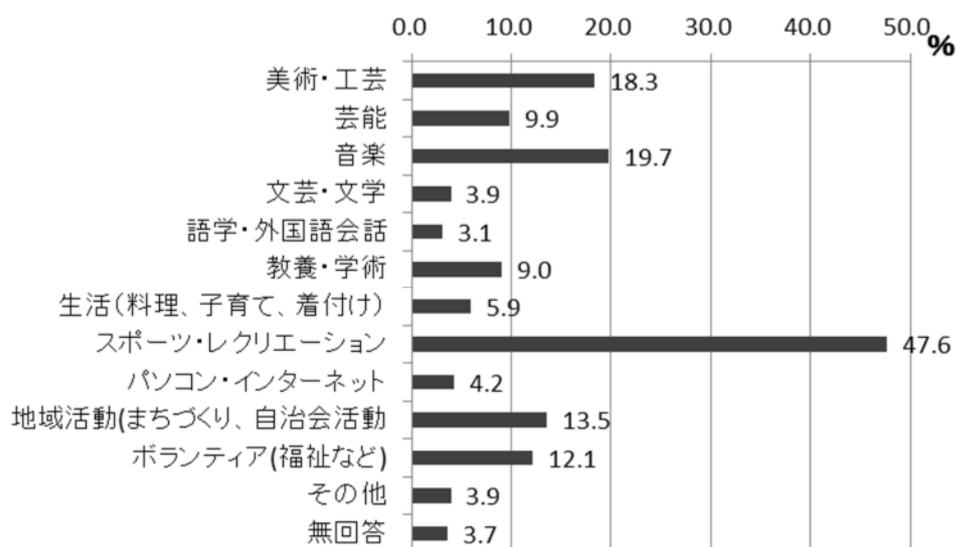


## 2) 生涯学習活動分野

回答者が参加している生涯学習活動の分野は、「スポーツ・レクリエーション」が最も多く 47.6%、次いで「音楽」19.7%、「美術・工芸」18.3%が多かった。「地域活動(まちづくり、自治会活動)」「ボランティア(福祉など)」と多様な活動分野の参加者から回答が寄せられている。

問5 あなたは、どのような分野の活動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問5(MA)	回答数	%
美術・工芸	65	18.3
芸能	35	9.9
音楽	70	19.7
文芸・文学	14	3.9
語学・外国語会話	11	3.1
教養・学術	32	9.0
生活(料理、子育て、着付け)	21	5.9
スポーツ・レクリエーション	169	47.6
パソコン・インターネット	15	4.2
地域活動(まちづくり、自治会活動)	48	13.5
ボランティア(福祉など)	43	12.1
その他	14	3.9
無回答	13	3.7
全体	355	-



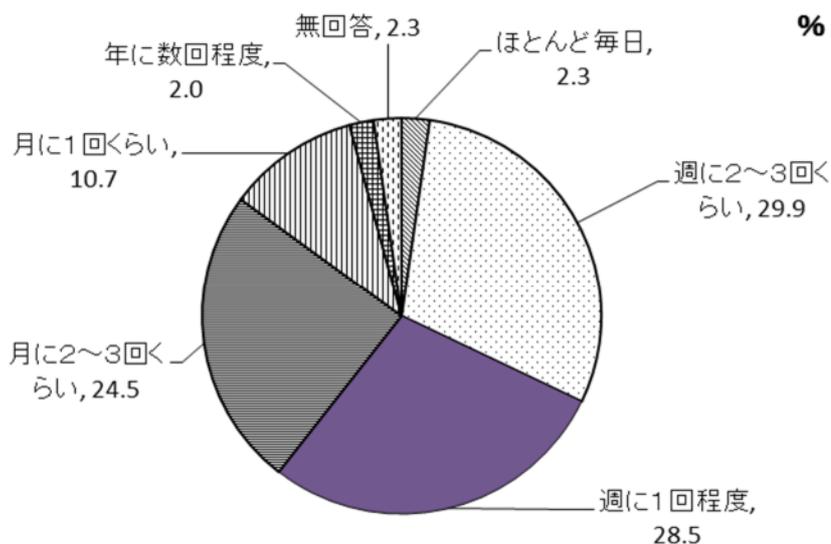
### (3) 生涯学習活動の状況等

#### 1) 生涯学習活動の回数

行っている生涯学習に関する活動の回数をたずねたところ、「週に2～3回くらい」29.9%、「週に1回程度」28.5%、「月に2～3回くらい」24.5%が多かった。一般市民アンケートと比較しても、活発な活動状況が見て取れる。

問6 あなたは、どの程度で生涯学習活動を行っていますか。(いずれか1つに○を)

問6	回答数	%	一般市民%
ほとんど毎日	8	2.3	10.1
週に2～3回くらい	106	29.9	19.1
週に1回程度	101	28.5	20.8
月に2～3回くらい	87	24.5	18.8
月に1回くらい	38	10.7	10.8
年に数回程度	7	2.0	11.8
無回答	8	2.3	8.7
計	355	100.0	100.0



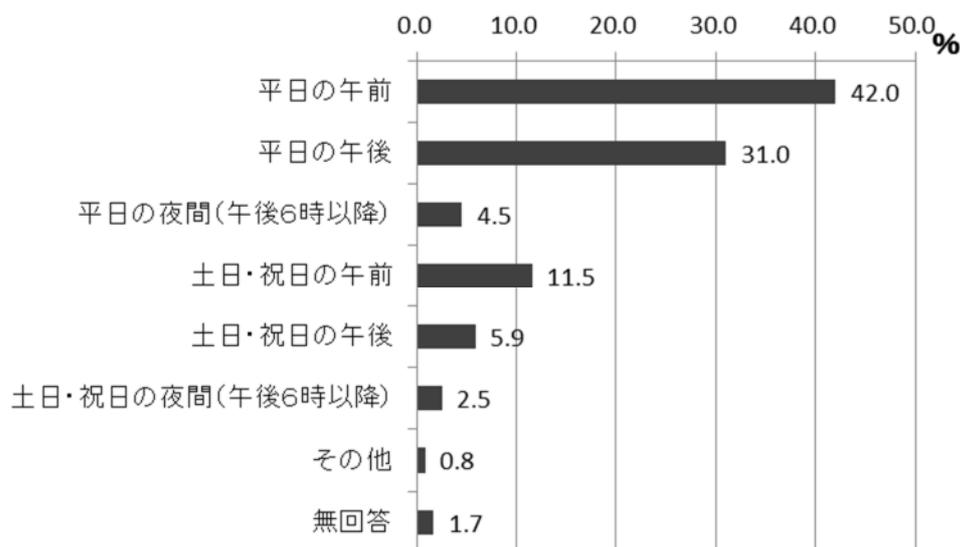
## 2) 主な活動の時間帯

生涯学習の主な活動の時間帯をたずねたところ、「平日の午前」42.0%、「平日の午後」31.0%が多く7割以上を占めた。次いで「土日・祝日の午前」11.5%となった。

一般市民アンケートでは、生涯学習活動がしやすい時間帯をたずねているが、「平日の午前」22.9%、「平日の午後」17.2%、「土日・祝日の午前」16.7%、「土日・祝日の午後」13.6%と順位は同様だが、その比率の差異は団体アンケートほど大きくはない。

問7 あなたの主な活動の時間帯はいつですか。(いずれか1つに○を)

問7	回答数	%	一般市民(活動しやすい時間帯)%
平日の午前	149	42.0	22.9
平日の午後	110	31.0	17.2
平日の夜間(午後6時以降)	16	4.5	8.0
土日・祝日の午前	41	11.5	16.7
土日・祝日の午後	21	5.9	13.6
土日・祝日の夜間(午後6時以降)	9	2.5	4.9
その他	3	0.8	8.0
無回答	6	1.7	8.8
計	355	100.0	100.0

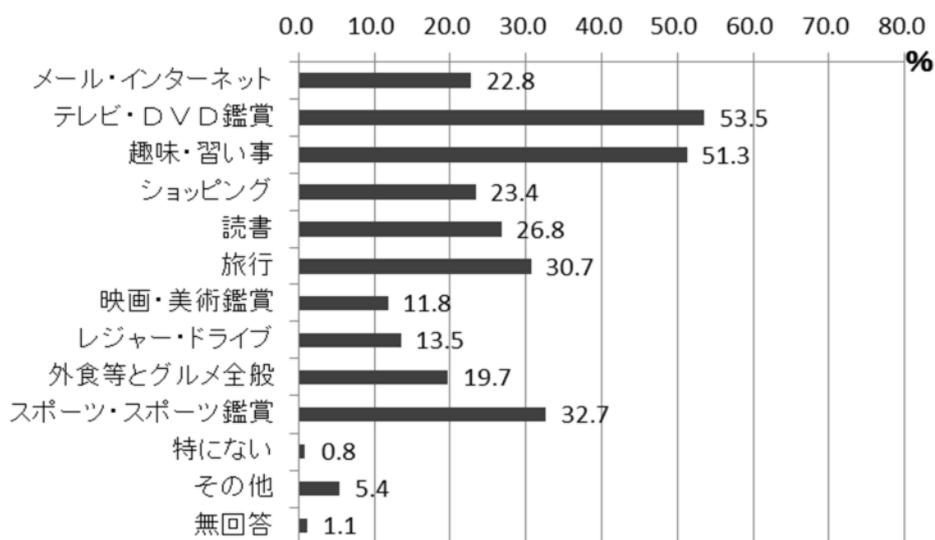


### 3) 余暇時間の過ごし方

余暇時間の過ごし方についてたずねたところ、「テレビ・DVD鑑賞」53.5%、「趣味・習い事」51.3%が多く、次いで「スポーツ・スポーツ鑑賞」32.7%、「旅行」30.7%となった。余暇時間の多くで、生涯学習・スポーツに取り組んでいることがわかる。

問8 あなたの余暇時間の過ごし方は、主にどれですか（あてはまるものすべてに○を）

問8(MA)	回答数	%
メール・インターネット	81	22.8
テレビ・DVD鑑賞	190	53.5
趣味・習い事	182	51.3
ショッピング	83	23.4
読書	95	26.8
旅行	109	30.7
映画・美術鑑賞	42	11.8
レジャー・ドライブ	48	13.5
外食等とグルメ全般	70	19.7
スポーツ・スポーツ鑑賞	116	32.7
特にない	3	0.8
その他	19	5.4
無回答	4	1.1
全体	355	-



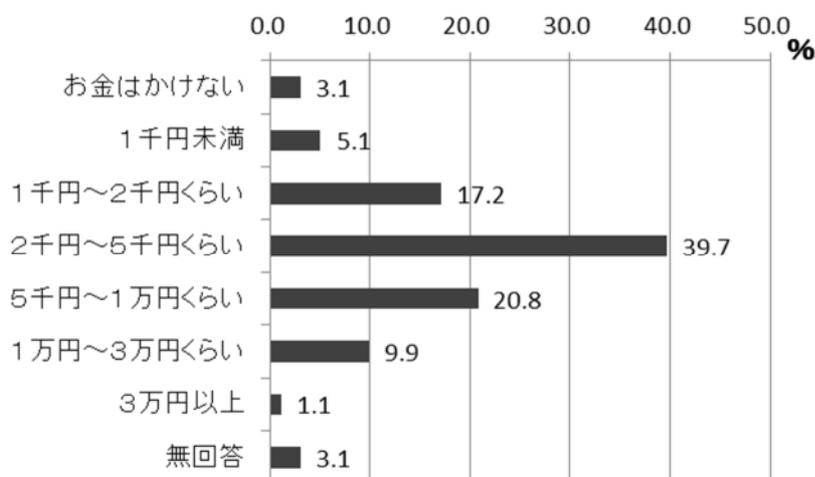
#### 4) 生涯学習にかかる経費

生涯学習にかかる経費（1ヶ月単位）についてたずねたところ、「2千円～5千円くらい」が39.7%で最も多く、次いで「5千円～1万円くらい」20.8%、「1千円～2千円くらい」17.2%となった。

一般市民アンケートでは、生涯学習にかかる経費（1ヶ月単位）は、どのくらいまでならいいかをたずねている。「2千円～5千円くらい」26.8%が最も多いが、続いて「1千円～2千円くらい」23.0%、「お金はかけない」18.8%となっている。

問14 あなたが、1ヶ月当たり、生涯学習にかかる経費についてお伺いします。(いずれか1つに○を)

問14	回答数	%	一般市民(かけてもいい経費)%
お金はかけない	11	3.1	18.8
1千円未満	18	5.1	5.7
1千円～2千円くらい	61	17.2	23.0
2千円～5千円くらい	141	39.7	26.8
5千円～1万円くらい	74	20.8	14.2
1万円～3万円くらい	35	9.9	4.4
3万円以上	4	1.1	0.3
無回答	11	3.1	6.7
全体	355	100.0	100.0



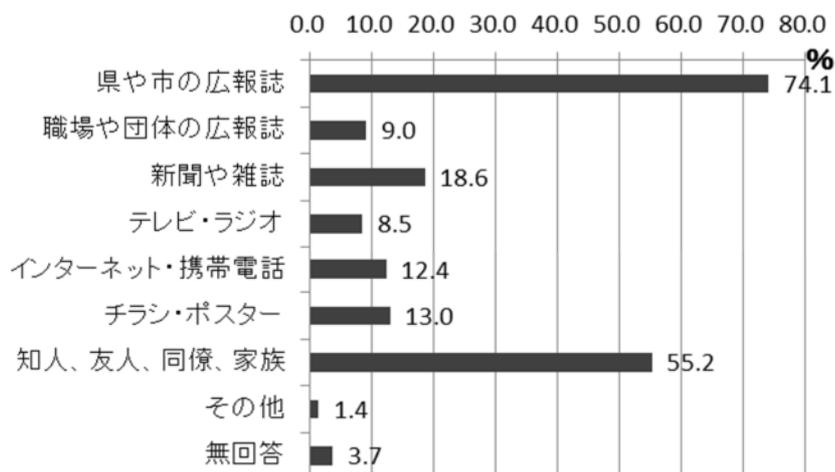
#### (4) 生涯学習の情報

生涯学習の情報をどこから得ているかをたずねたところ、「県や市の広報誌」が74.1%で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」55.2%で多く、これは一般市民アンケートの26.6%と比べて高くなっている。「新聞や雑誌」18.6%（一般市民アンケート20.8%）と続いている。「インターネット・携帯電話」（一般市民アンケート20.9%）は12.4%だった。

一般市民アンケートと同様に、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、団体参加者ということから「知人、友人、同僚、家族」からの情報が大きくなっていると考えられる。

問9 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問9(MA)	回答数	%	一般市民%
県や市の広報誌	263	74.1	63.4
職場や団体の広報誌	32	9.0	7.4
新聞や雑誌	66	18.6	20.8
テレビ・ラジオ	30	8.5	9.3
インターネット・携帯電話	44	12.4	20.9
チラシ・ポスター	46	13.0	11.4
知人、友人、同僚、家族	196	55.2	26.6
その他	5	1.4	3.9
無回答	13	3.7	7.5
全体	355	-	-

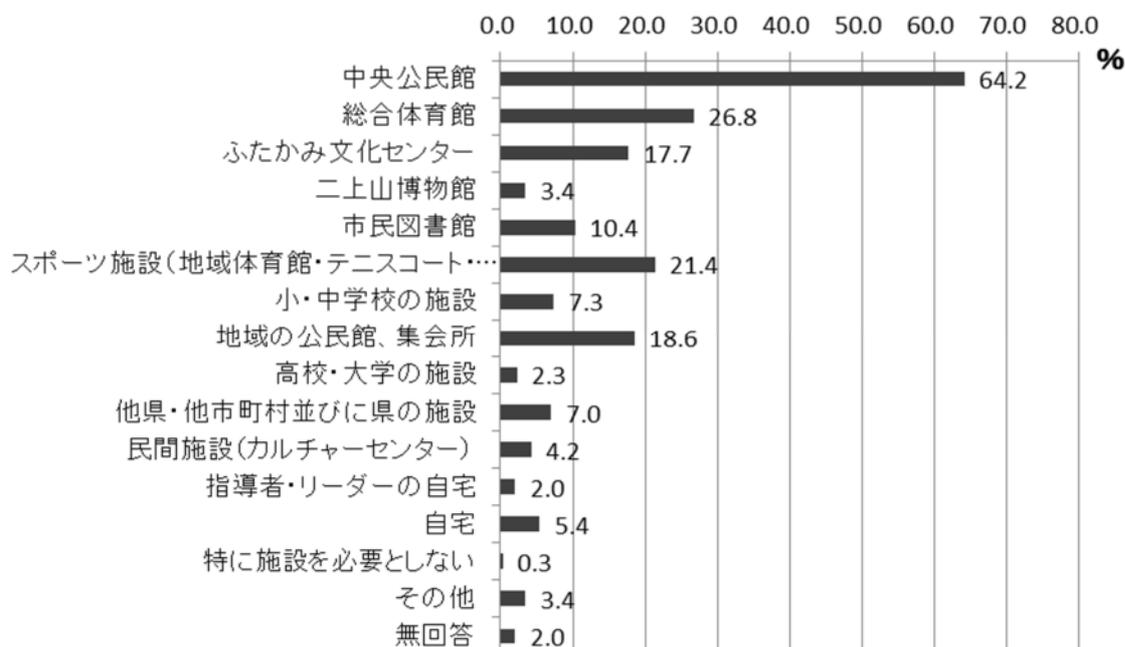


### (5) 生涯学習の活動場所

主な生涯学習の活動場所をたずねたところ、「中央公民館」が64.2%で最も多かった。次いで「総合体育館」26.8%、「スポーツ施設（地域体育館・テニスコート・グラウンド）」21.4%、「地域の公民館、集会所」18.6%、「ふたかみ文化センター」17.7%と続いている。

問10 あなたの主な生涯学習の活動場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○を)

問10(MA)	回答数	%
中央公民館	228	64.2
総合体育館	95	26.8
ふたかみ文化センター	63	17.7
二上山博物館	12	3.4
市民図書館	37	10.4
スポーツ施設(地域体育館・テニスコート・グラウンド)	76	21.4
小・中学校の施設	26	7.3
地域の公民館、集会所	66	18.6
高校・大学の施設	8	2.3
他県・他市町村並びに県の施設	25	7.0
民間施設(カルチャーセンター)	15	4.2
指導者・リーダーの自宅	7	2.0
自宅	19	5.4
特に施設を必要としない	1	0.3
その他	12	3.4
無回答	7	2.0
全体	355	-



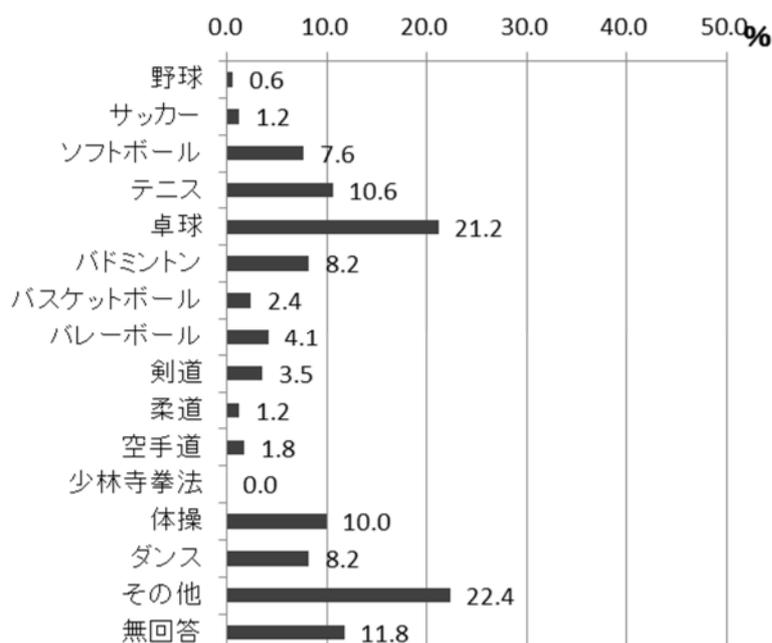
## (6) スポーツの実施状況

### 1) スポーツの内容

総合体育館、スポーツ施設（地域体育館・テニスコート・グラウンド）、小・中学校の施設を活動場所としている人に、現在しているスポーツをたずねたところ、その他以外では、「卓球」21.2%が最も多く、次いで「テニス」10.6%、「体操」10.0%となった。

問10-1 問10で2.6.7と答えた方のみお答えください。どのような、スポーツをしていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問10-1(MA)	回答数	%
野球	1	0.6
サッカー	2	1.2
ソフトボール	13	7.6
テニス	18	10.6
卓球	36	21.2
バドミントン	14	8.2
バスケットボール	4	2.4
バレーボール	7	4.1
剣道	6	3.5
柔道	2	1.2
空手道	3	1.8
少林寺拳法	0	0.0
体操	17	10.0
ダンス	14	8.2
その他	38	22.4
無回答	20	11.8
回答対象数	170	-



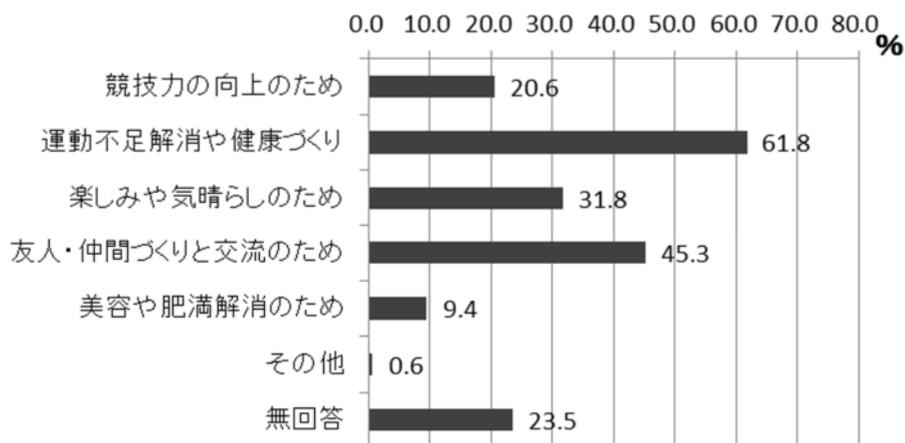
## 2) スポーツをする理由

スポーツ施設を活動場所としている回答者にスポーツをする理由をたずねたところ、「運動不足解消や健康づくり」が**61.8%**で最も多かった。次いで「友人・仲間づくりと交流のため」**45.3%**、「楽しみや気晴らしのため」**31.8%**と続いている。

問10-2 問10で2.6.7と答えた方のみお答えください。

スポーツをする理由をあげてください（あてはまるものすべてに○を）

問10-2(MA)	回答数	%
競技力の向上のため	35	20.6
運動不足解消や健康づくり	105	61.8
楽しみや気晴らしのため	54	31.8
友人・仲間づくりと交流のため	77	45.3
美容や肥満解消のため	16	9.4
その他	1	0.6
無回答	40	23.5
回答対象数	170	-



## (7) 生涯学習への意向

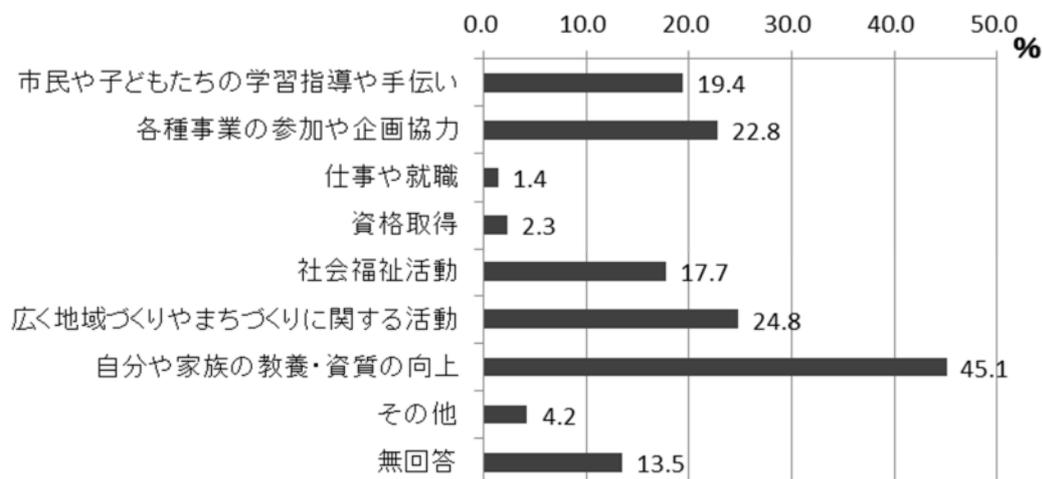
### 1) 生涯学習の活用

生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思うかとたずねたところ、「自分や家族の教養・資質の向上」が45.1%で最も多かった。次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」24.8%、「各種事業（講座、展示会、イベントなど）の参加や企画協力」22.8%と続いている。

一般市民アンケートと比較すると、「各種事業（講座、展示会、イベントなど）の参加や企画協力」の割合が大きく、「仕事や就職」「資格取得」の割合が小さくなっている。

問11 あなたは、生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問11(MA)	回答数	%	一般市民%
市民や子どもたちの学習指導や手伝い	69	19.4	20.9
各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力	81	22.8	14.2
仕事や就職	5	1.4	20.4
資格取得	8	2.3	14.7
社会福祉活動	63	17.7	22.5
広く地域づくりやまちづくりに関する活動	88	24.8	25.0
自分や家族の教養・資質の向上	160	45.1	39.5
その他	15	4.2	1.8
無回答	48	13.5	12.9
全体	355	-	-

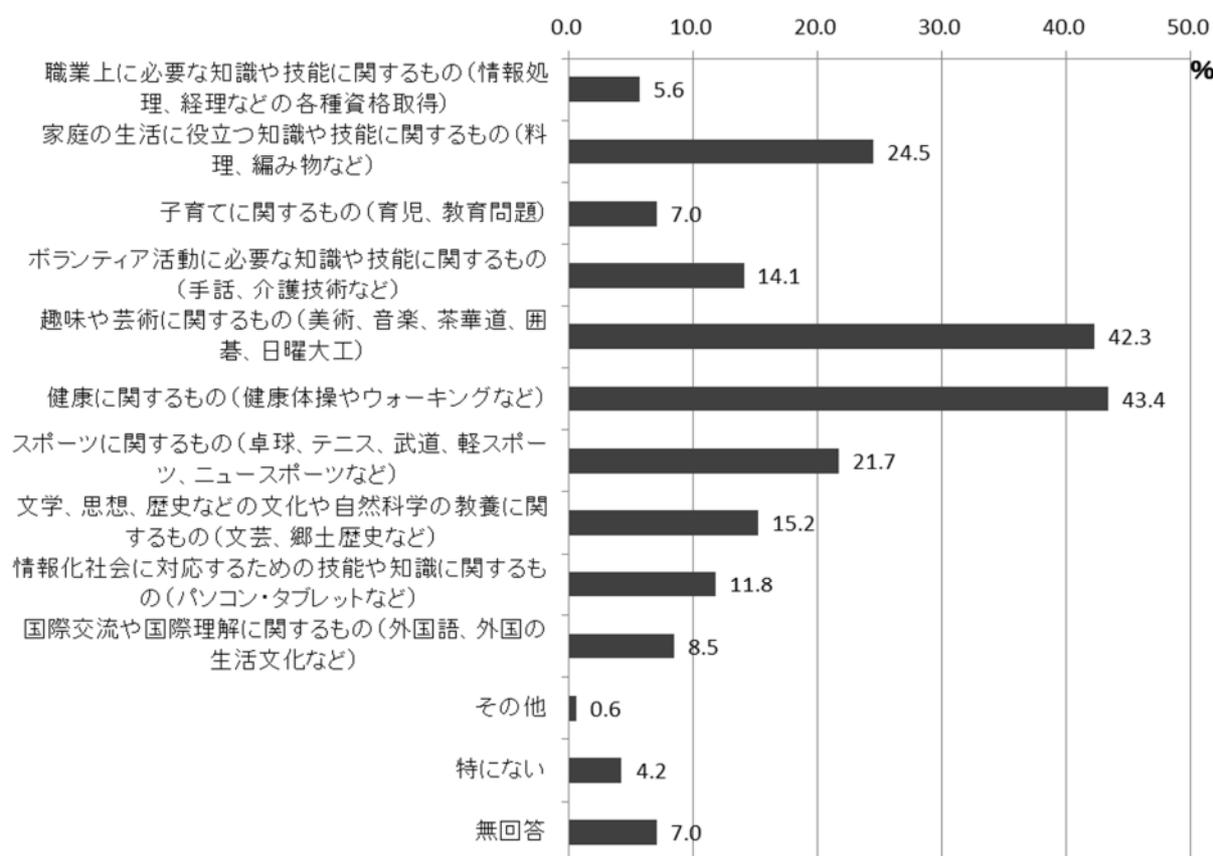


## 2) 今後学びたいこと

今後どのようなことを学びたいと思うかとたずねたところ、「健康に関するもの（健康体操やウォーキングなど）」が43.4%で最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工）」42.3%が多かった。「家庭の生活に役立つ知識や技能に関するもの（料理、編み物など）」24.5%、「スポーツに関するもの（卓球、テニス、武道、軽スポーツ、ニュースポーツなど）」21.7%と続いている。健康に関する生涯学習のニーズが高いことがわかる。

問12 あなたは、今後どのようなことを学びたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問12(MA)	回答数	%
職業上に必要な知識や技能に関するもの(情報処理、経理などの各種資格取得)	20	5.6
家庭の生活に役立つ知識や技能に関するもの(料理、編み物など)	87	24.5
子育てに関するもの(育児、教育問題)	25	7.0
ボランティア活動に必要な知識や技能に関するもの(手話、介護技術など)	50	14.1
趣味や芸術に関するもの(美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工)	150	42.3
健康に関するもの(健康体操やウォーキングなど)	154	43.4
スポーツに関するもの(卓球、テニス、武道、軽スポーツ、ニュースポーツなど)	77	21.7
文学、思想、歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの(文芸、郷土歴史など)	54	15.2
情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(パソコン・タブレットなど)	42	11.8
国際交流や国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)	30	8.5
その他	2	0.6
特にない	15	4.2
無回答	25	7.0
全体	355	-

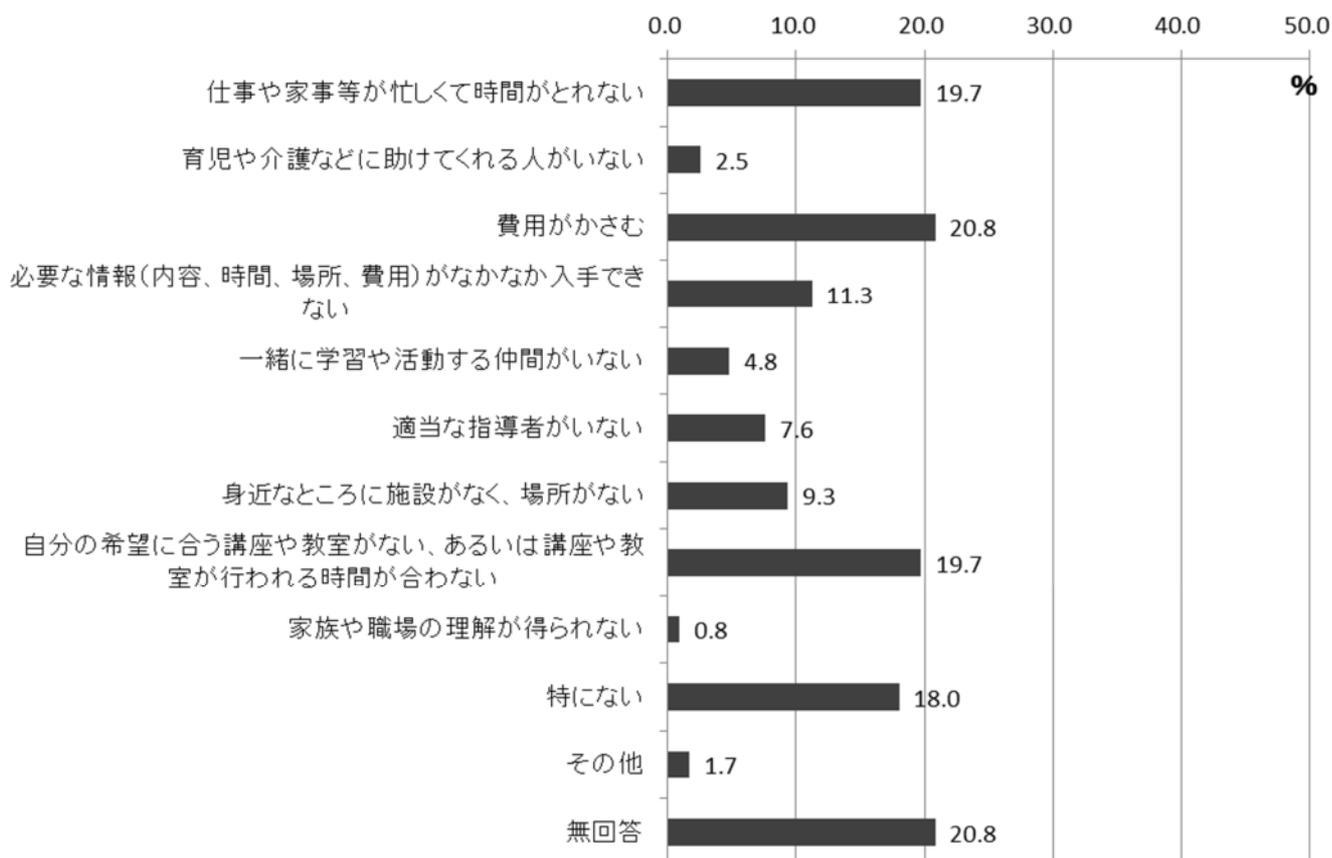


### (8) 生涯学習を行うときに妨げになること

生涯学習を行うときに、どのようなことが妨げになっているかをたずねたところ、「費用がかさむ」が 20.8%で最も多かった。次いで「仕事や家事等が忙しくて時間がとれない」19.7%、「自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室が行われる時間が合わない」19.7%と続いている。

問13 あなたが、生涯学習を行うときに、どのようなことが妨げになっていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問13(MA)	回答数	%
仕事や家事等が忙しくて時間がとれない	70	19.7
育児や介護などに助けてくれる人がいない	9	2.5
費用がかさむ	74	20.8
必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない	40	11.3
一緒に学習や活動する仲間がいない	17	4.8
適当な指導者がいない	27	7.6
身近なところに施設がなく、場所がない	33	9.3
自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室が行われる時間が合わない	70	19.7
家族や職場の理解が得られない	3	0.8
特にない	64	18.0
その他	6	1.7
無回答	74	20.8
全体	355	-



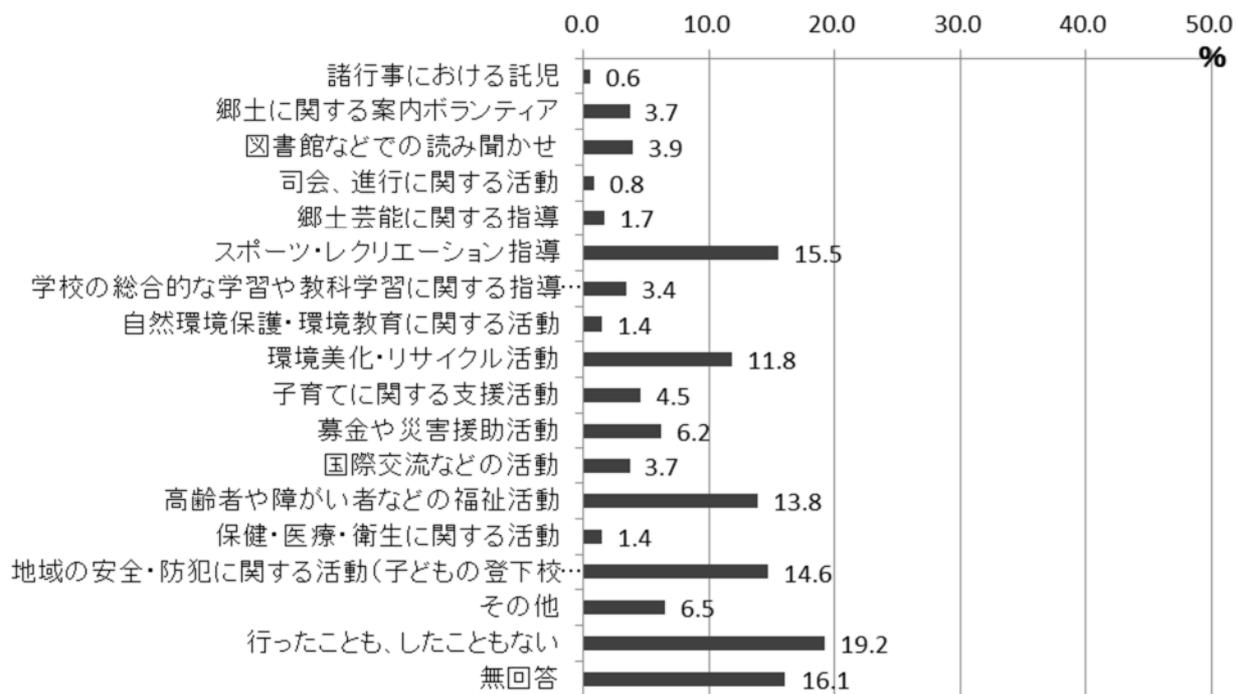
(9) ボランティア活動

1) ボランティア活動状況

どのようなボランティア活動を行っているかとたずねたところ、「行ったことも、したこともない」が19.2%で最も多かった。次いで「スポーツ・レクリエーション指導」が15.5%、「地域の安全・防犯に関する活動（子どもの登下校時の見守り活動）」14.6%、「高齢者や障がい者などの福祉活動」13.8%、「環境美化・リサイクル活動」11.8%と続いている。

問15 あなたは、どのようなボランティア活動を行っていますか。(有償ボランティアも含む)(あてはまるものすべてに○を)

問15(MA)	回答数	%
諸行事における託児	2	0.6
郷土に関する案内ボランティア	13	3.7
図書館などでの読み聞かせ	14	3.9
司会、進行に関する活動	3	0.8
郷土芸能に関する指導	6	1.7
スポーツ・レクリエーション指導	55	15.5
学校の総合的な学習や教科学習に関する指導助言	12	3.4
自然環境保護・環境教育に関する活動	5	1.4
環境美化・リサイクル活動	42	11.8
子育てに関する支援活動	16	4.5
募金や災害援助活動	22	6.2
国際交流などの活動	13	3.7
高齢者や障がい者などの福祉活動	49	13.8
保健・医療・衛生に関する活動	5	1.4
地域の安全・防犯に関する活動(子どもの登下校時の見守り活動)	52	14.6
その他	23	6.5
行ったことも、したこともない	68	19.2
無回答	57	16.1
全体	355	-



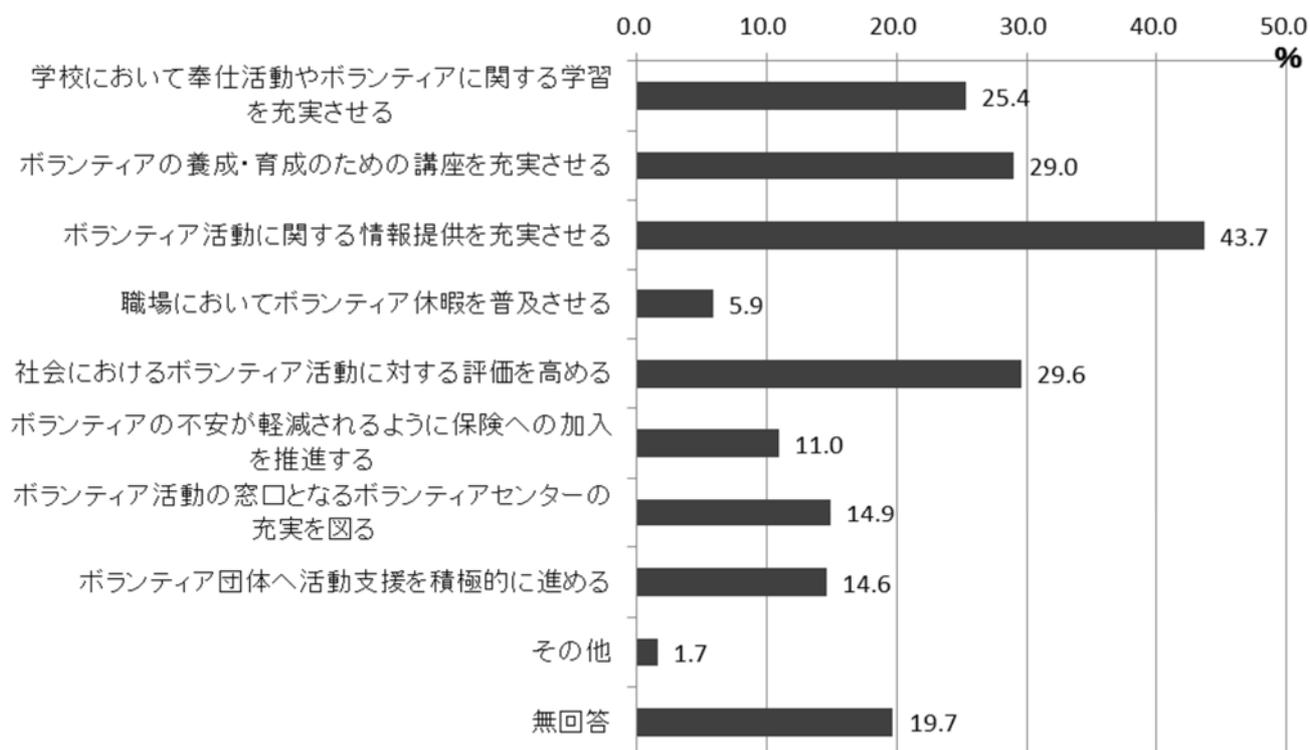
## 2) ボランティア活動を盛んにするための取組み

ボランティア活動をもっと盛んにするためには、どのような取組みが必要だと思いかをたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」が43.7%で最も多かった。次いで「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」29.6%、「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」29.0%、「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」25.4%と続いている。

一般市民アンケートとほぼ同様の傾向が見られるが、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの充実を図る」「ボランティア団体へ活動支援を積極的に進める」の割合が小さくなっている、

問16 ボランティア活動をもっと盛んにするためには、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問16(MA)	回答数	%	一般市民%
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	90	25.4	33.5
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	103	29.0	23.4
ボランティア活動に関する情報提供を充実させる	155	43.7	48.2
職場においてボランティア休暇を普及させる	21	5.9	17.5
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	105	29.6	25.5
ボランティアの不安が軽減されるように保険への加入を推進する	39	11.0	11.1
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの充実を図る	53	14.9	33.3
ボランティア団体へ活動支援を積極的に進める	52	14.6	21.7
その他	6	1.7	1.3
無回答	70	19.7	11.1
全体	355	-	-



### (10) 市の生涯学習施設の満足度と今後の利用意向

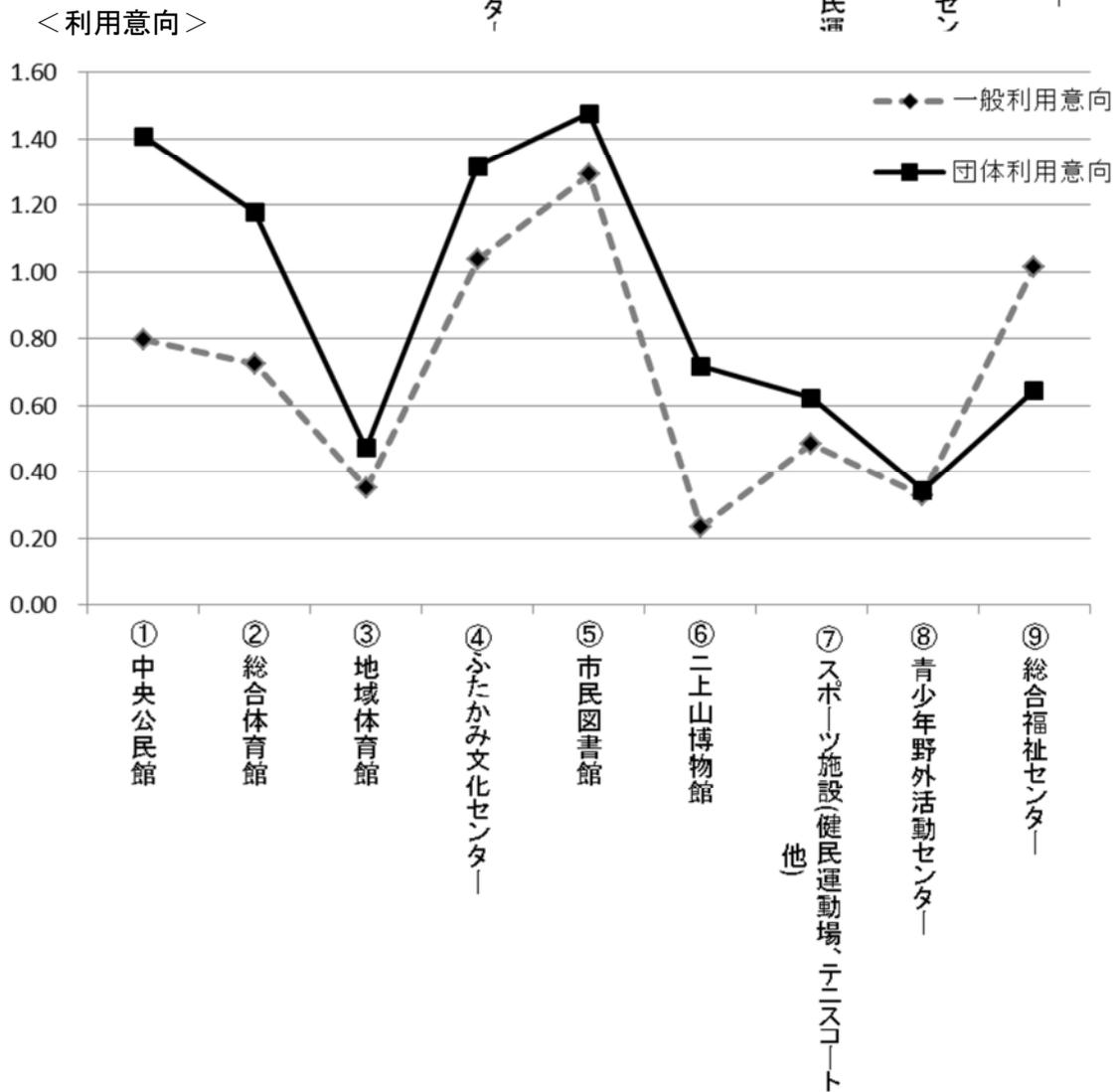
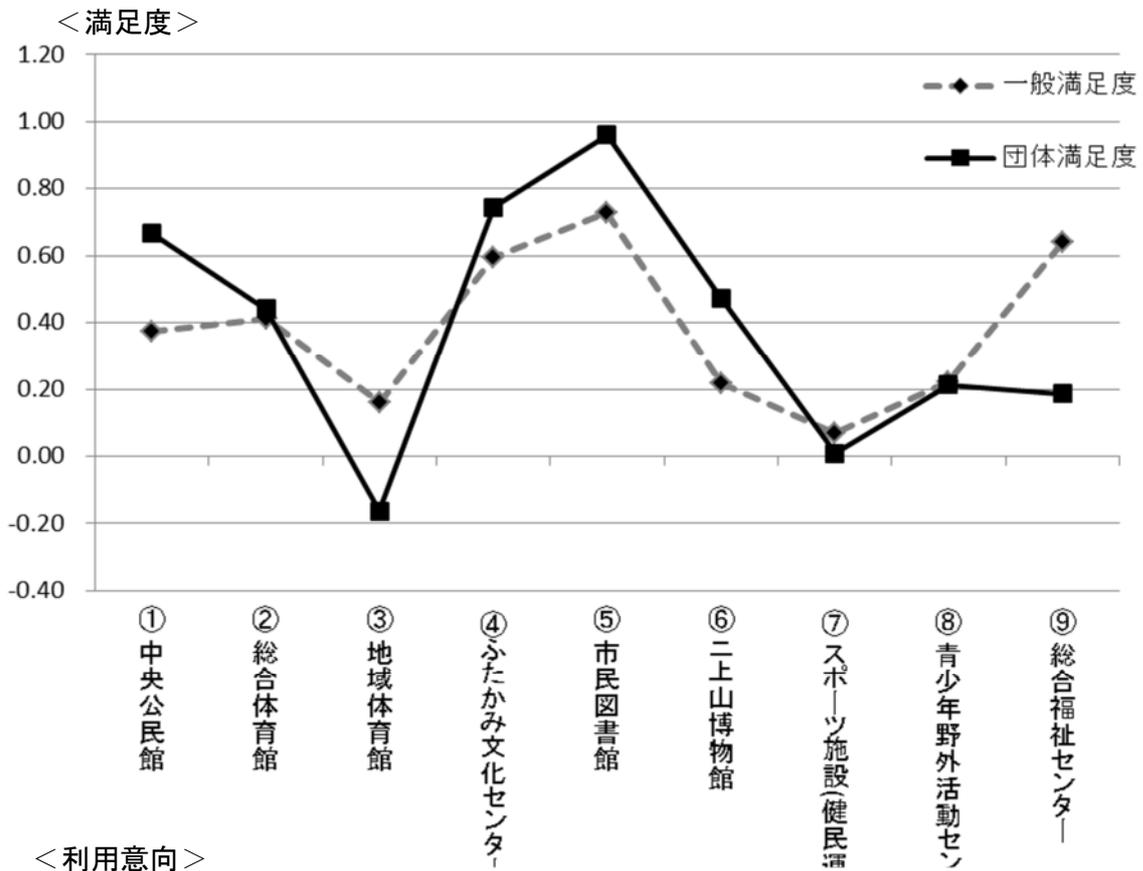
香芝市の生涯学習施設について、満足度と今後の利用意向をたずねた結果を下記の通りスコア化してその傾向を見た。

問17 満足度	スコア	今後の利用意向	スコア
1 満足	2	1 ぜひ利用したい	2
2 まあまあ満足	1	2 出来れば利用したい	1
3 どちらともいえない	0	3 あまり利用したくない	-2
4 やや不満	-1	4 わからない	-
5 不満	-2	0 無回答	-
6 わからない	-		
0 無回答	-		

地域体育館と総合福祉センターの満足度は、一般市民アンケートの満足度よりスコアが低くなっている。今後の利用意向は、総合福祉センター以外は、概ね一般市民アンケートのスコアより高くなっている。

問17 下記の施設についての満足度と、今後の利用意向についてのお答えください。( ~ の各項目の満足度と利用意向についてそれぞれ、1つに○をつけてください)

平均スコア	団体満足度	一般市民満足度	団体利用意向	一般市民利用意向
①中央公民館	0.67	0.37	1.41	0.80
②総合体育館	0.44	0.41	1.18	0.72
③地域体育館	-0.16	0.16	0.47	0.35
④ふたかみ文化センター	0.75	0.59	1.32	1.04
⑤市民図書館	0.96	0.73	1.48	1.29
⑥二上山博物館	0.47	0.22	0.72	0.23
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.01	0.07	0.62	0.48
⑧青少年野外活動センター	0.21	0.22	0.34	0.33
⑨総合福祉センター	0.19	0.64	0.65	1.02



### (11) 市の生涯学習への取組み

香芝市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度をたずねた。「重要」の回答率%が高いのは、「体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)」「中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)」「講座、講演会などの種類や数の充実」「身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「芸術・文化活動の機会の充実」であった。

問18 あなたは、香芝市が行っている生涯学習の取組みは、今後どのくらい重要であると考えますか。

	1 重要	2 え ば 重 要 ど ち ら か と い	3 ど ち ら と も い	4 あ ま り 重 要 で は な い	5 重 要 で な い	0 無 回 答
①講座、講演会などの種類や数の充実	31.3	34.6	15.2	1.4	1.1	16.3
②身近なところでの学習機会の充実	26.8	39.7	12.4	2.0	0.6	18.6
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	29.9	36.6	12.7	3.1	0.8	16.9
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	35.8	34.1	11.3	1.7	0.3	16.9
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	35.8	24.8	12.1	0.8	0.6	25.9
⑥芸術・文化活動の機会の充実	27.6	29.3	14.9	1.7	0.6	25.9
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	28.7	29.0	14.4	1.1	0.6	26.2
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	20.6	29.3	18.3	2.0	0.8	29.0
⑨指導者・リーダーの養成	22.0	32.4	16.9	0.8	1.1	26.8
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	19.2	29.3	20.0	2.0	0.8	28.7
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	16.9	32.7	18.0	2.0	0.3	30.1
⑫ボランティア育成や活動の支援	20.8	34.6	15.8	1.7	0.6	26.5
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	19.4	26.2	22.5	2.5	1.1	28.2
⑭大学との連携と公開講座の推進	14.4	25.4	26.8	4.8	1.4	27.3
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	18.0	31.0	19.7	2.5	0.8	27.9
⑯学んだことを発表する機会	12.7	25.9	30.4	3.1	1.1	26.8
⑰生涯学習に対する情報提供	20.0	37.7	14.1	2.0	0.6	25.6
⑱生涯学習に関する相談体制の充実	13.0	29.3	25.1	3.9	0.6	28.2
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	14.1	26.8	25.6	4.2	0.8	28.5
⑳NPO等の活動支援	11.0	20.3	33.5	4.5	2.3	28.5

\*20%以上の値に網掛け

香芝市が行っている生涯学習の取組みの重要度をたずねた結果を、下記の通りスコア化してその傾向を見た。

	スコア
1 重要	2
2 どちらかといえば重要	1
3 どちらともいえない	0
4 あまり重要ではない	-1
5 重要でない	-2
0 無回答	-

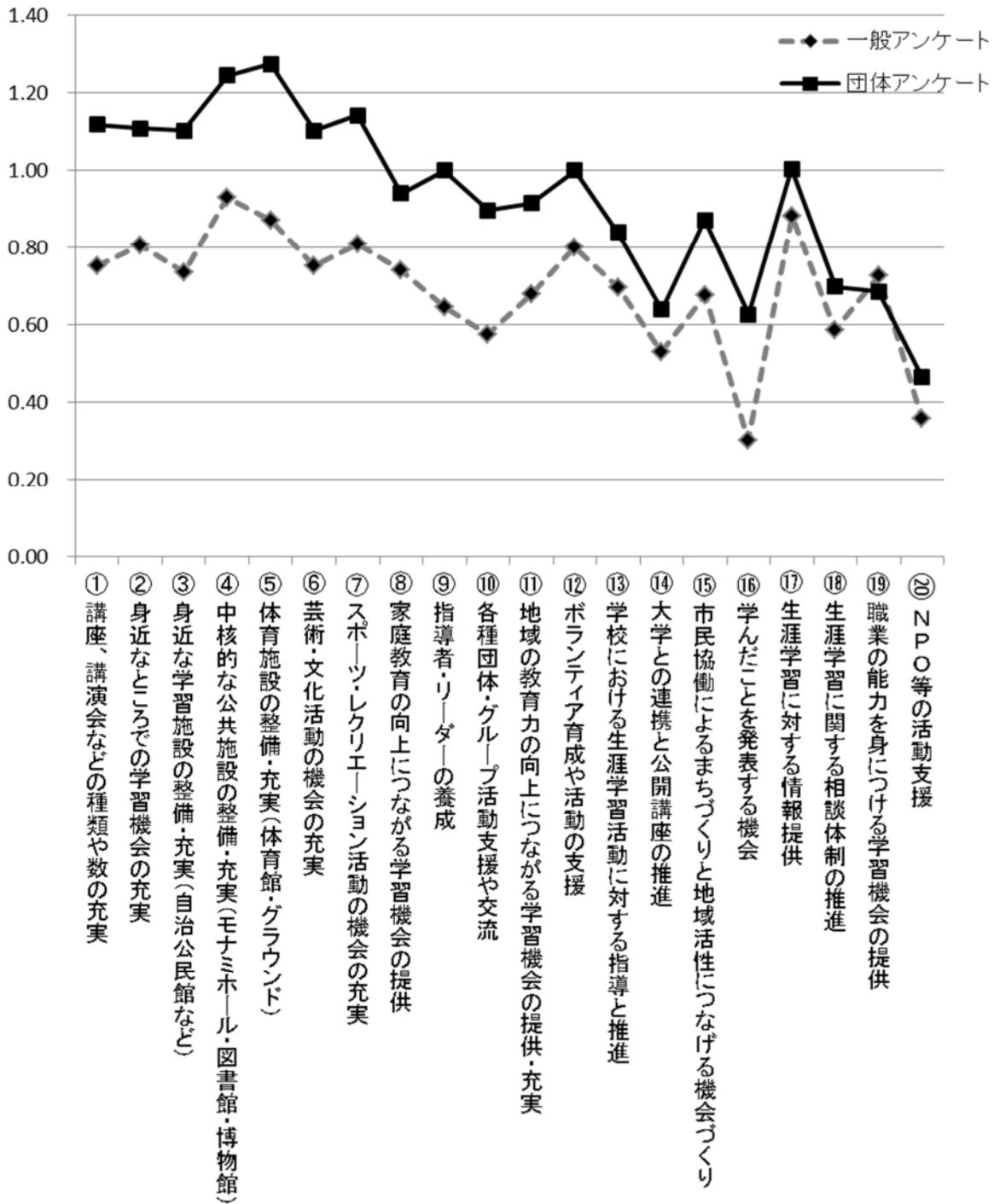
平均スコアの上位5項目は、次の通りだった。

生涯学習の取組みの重要度	平均スコア
⑤ 体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	1.27
④ 中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	1.24
⑦ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	1.14
① 講座、講演会などの種類や数の充実	1.12
② 身近なところでの学習機会の充実	1.11

「職業の能力を身につける学習機会の提供」以外の項目で、概ね一般市民アンケートの平均スコアを上回った。特に、体育施設や中核的な公共施設の整備・充実のスコアが高くなっている。

問18 重要度平均スコア	団体	一般市民
① 講座、講演会などの種類や数の充実	1.12	0.75
② 身近なところでの学習機会の充実	1.11	0.81
③ 身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	1.10	0.74
④ 中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	1.24	0.93
⑤ 体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	1.27	0.87
⑥ 芸術・文化活動の機会の充実	1.10	0.75
⑦ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	1.14	0.81
⑧ 家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.94	0.74
⑨ 指導者・リーダーの養成	1.00	0.64
⑩ 各種団体・グループ活動支援や交流	0.90	0.57
⑪ 地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.92	0.68
⑫ ボランティア育成や活動の支援	1.00	0.80
⑬ 学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.84	0.70
⑭ 大学との連携と公開講座の推進	0.64	0.53
⑮ 市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.87	0.68
⑯ 学んだことを発表する機会	0.63	0.30
⑰ 生涯学習に対する情報提供	1.00	0.88
⑱ 生涯学習に関する相談体制の推進	0.70	0.59
⑲ 職業の能力を身につける学習機会の提供	0.69	0.73
⑳ NPO等の活動支援	0.46	0.36

<重要度>



## (12) 生涯学習団体アンケート調査の結果のまとめ

### ○生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きい

生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が7割以上で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」が5割以上と多く、これは一般市民アンケートと比べて高くなっている。一般市民アンケートで2割あった「インターネット・携帯電話」は1割強だった。

一般市民アンケートと同様に、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、団体参加者ということから「知人、友人、同僚、家族」からの情報が大きくなっていると考えられる

### ○生涯学習は、自分や家族の教養・資質の向上に役立っている

生涯学習で学んだことをどのように役立てたかは、「自分や家族の教養・資質の向上」が最も多かった。次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」、「各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力」と続いている。

今後学びたいことでは、「健康に関するもの(健康体操やウォーキングなど)」が最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの(美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工)」が多かった。健康に関する生涯学習のニーズが高いことがわかる。

### ○ボランティア活動に関する情報提供を普及させることが必要

ボランティア活動を盛んにするために必要な取組みとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が最も多かった。次いで「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」と続いている

### ○今後の重要度が高い取り組みは、「体育施設や中核的な公共施設の整備・充実」「講座、講演会などの充実」「スポーツ・レクリエーション活動や芸術・文化活動の機会の充実」

市が行っている生涯学習の取り組みについて、今後の重要度が高い取り組みとして、「体育施設の整備・充実」「中核的な公共施設の整備・充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「身近な学習施設の整備・充実」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「芸術・文化活動の機会の充実」があげられている。

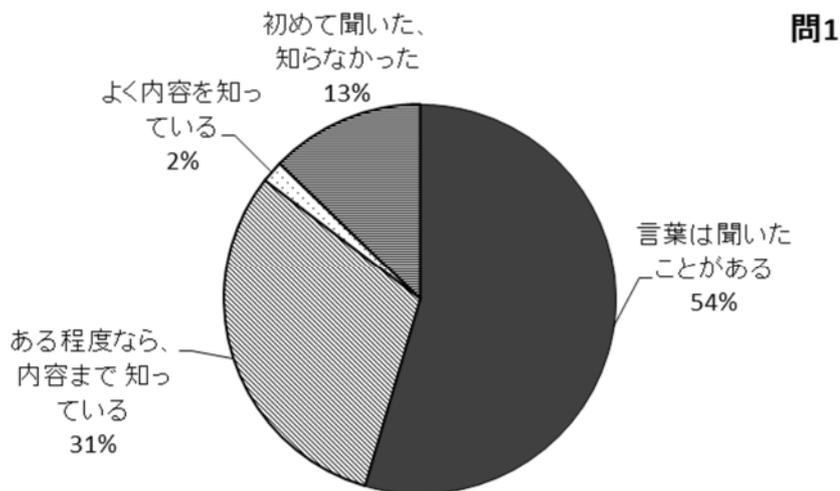
#### 4 事業所アンケート調査の結果

##### (1) 生涯学習の認知度

「生涯学習」という言葉の認知度をたずねたところ、「言葉は聞いたことがある」が55%で最も多く、「ある程度なら、内容まで知っている」、「よく内容を知っている」を合わせて33%であり、前回平成11年調査と同様の認知度だった。

問1 これまで、「生涯学習」という言葉を耳にしたり、内容を聞いたことがありますか。(いずれか1つに○を)

	回答数	%	H11 調査%
言葉は聞いたことがある	30	55	55
ある程度なら、内容まで知っている	17	31	26
よく内容を知っている	1	2	8
初めて聞いた、知らなかった	7	13	9
無回答	0	0	1
計	55	100	99



## (2) アンケート対象事業所の特性

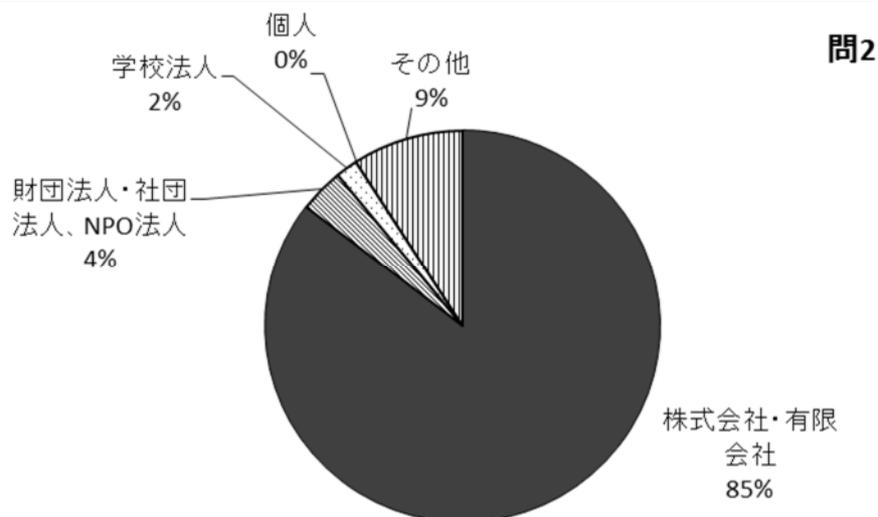
アンケートに回答いただいた事業所の事業形態、従業員数、従業員の雇用形態は次の通りだった。

### 1) 事業形態

事業形態は、「株式会社・有限会社」が85%で多数を占めていた。

問2 貴社の事業形態をお答えください。(いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
株式会社・有限会社	47	85
財団法人・社団法人、NPO 法人	2	4
学校法人	1	2
個人	0	0
その他	5	9
計	55	100



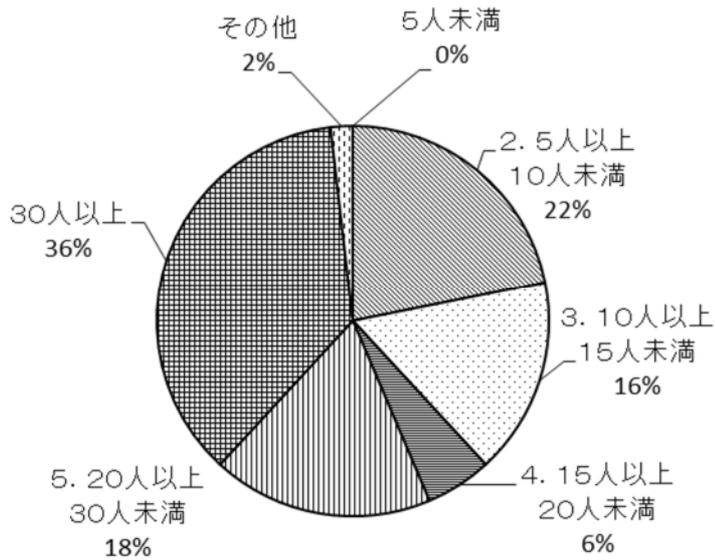
### 2) 従業員数

従業員数は、30人未満の事業所が6割を占めていた。

問3 貴社の従業員数をお答えください。(いずれか1つに○を)

問3	回答数	%
5人未満	0	0
5人以上10人未満	12	22
10人以上15人未満	9	16
15人以上20人未満	3	5
20人以上30人未満	10	18
30人以上	20	36
その他	1	2
計	55	100

問3



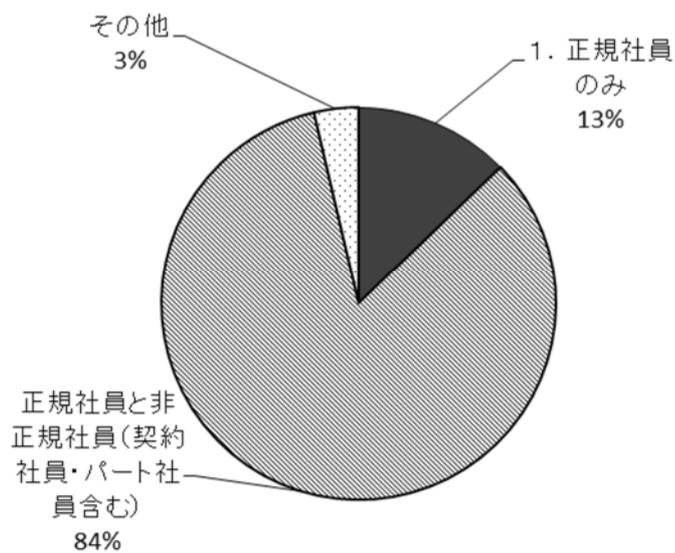
3) 雇用形態

従業員の雇用形態は、「正規社員と非正規社員」が8割以上を占めていた。

問4 貴社の従業員の雇用形態をお答えください。(いずれか1つに○を)

問4	回答数	%
正規社員のみ	7	13
正規社員と非正規社員(契約社員・パート社員含む)	46	84
その他	2	4
計	55	100

問4



### (3) 休日・休暇制度

事業所の週休制度、有給休暇制度、連続休暇、生涯学習の支援につながる休暇制度・勤務形態の状況は次の通りだった。

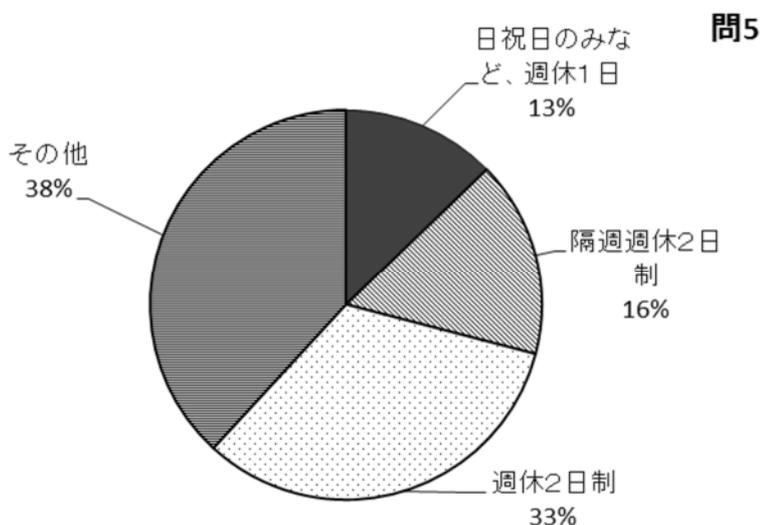
#### 1) 週休制度

週休制度は、「週休2日制」は33%で、前回平成11年調査と同様の状況だった。

問5 貴社における週休制度をお答えください。(いずれかに1つに○を)

問5	回答数	%	H11 調査%
日祝日のみなど、週休1日	7	13	25
隔週週休2日制	9	16	33
週休2日制	18	33	33
その他	21	38	8
無回答	0	0	1
計	55	100	100

「その他」内訳	回答数	%
変形労働時間制	6	11
自社カレンダー	5	9
4週8休	2	4
その他	8	15



#### 2) 有給休暇制度

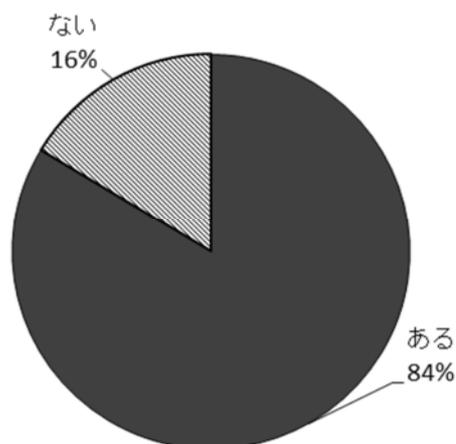
##### ①年間有給休暇制度の有無

有給休暇制度は、「ある」は84%で、前回平成11年調査より増加した。

問6 貴社には、有給休暇制度はありますか。

問6①	回答数	%	H11 調査%
ある	46	84	70
ない	9	16	30
無回答	0	0	1
計	55	100	101

問6①



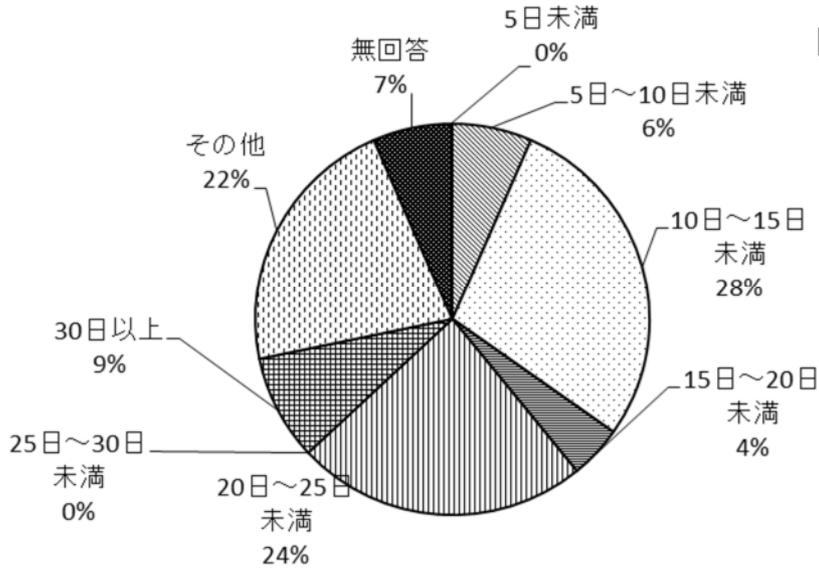
②年間有給休暇日数

年間有給休暇日数は、「10日～15日未満」28%、「20日～25日未満」24%が多かった。

問6 年間有給休暇日数（あるとお答え頂いた事業所）

問6②	回答数	%
5日未満	0	0
5日～10日未満	3	7
10日～15日未満	13	28
15日～20日未満	2	4
20日～25日未満	11	24
25日～30日未満	0	0
30日以上	4	9
その他	10	22
無回答	3	7
制度有り事業所計	46	100

問6②

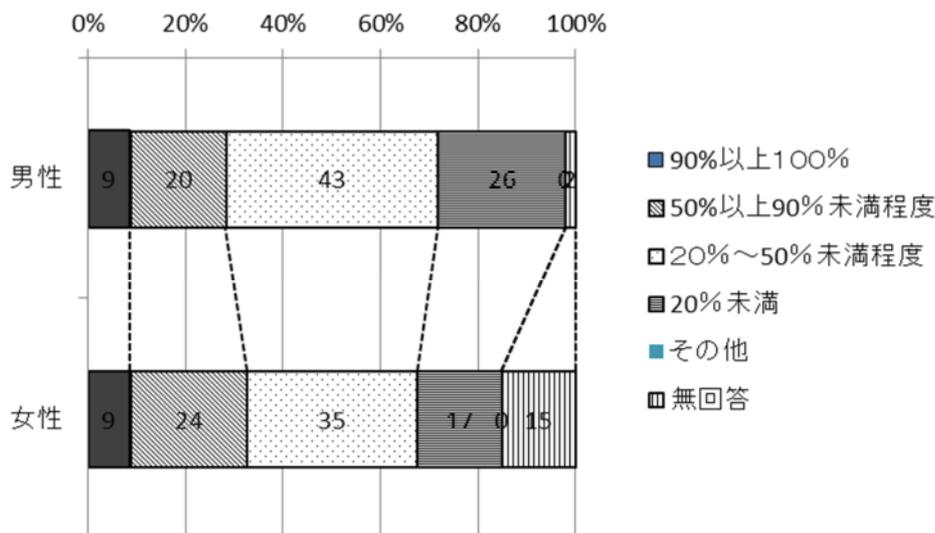


③有給休暇消化率

有給休暇の消化率は、「90%以上100%」は男女とも9%、「50%以上90%未満程度」はやや女性が高く24%、男性は20%だった。50%以上消化しているのは男性で29%、女性で33%にとどまっている。

有給休暇は、どの程度消化されていますか。また、男性・女性別で取得可能日数に対する消化率の全従業員の平均値でお答えください。(正解な数値でなくても結構です)(いずれか1つに○を)

問6③	男性:回答数	%	女性:回答数	%
90%以上100%	4	9	4	9
50%以上90%未満程度	9	20	11	24
20%～50%未満程度	20	43	16	35
20%未満	12	26	8	17
その他	0	0	0	0
無回答	1	2	7	15
制度有り事業所計	46	100	46	100

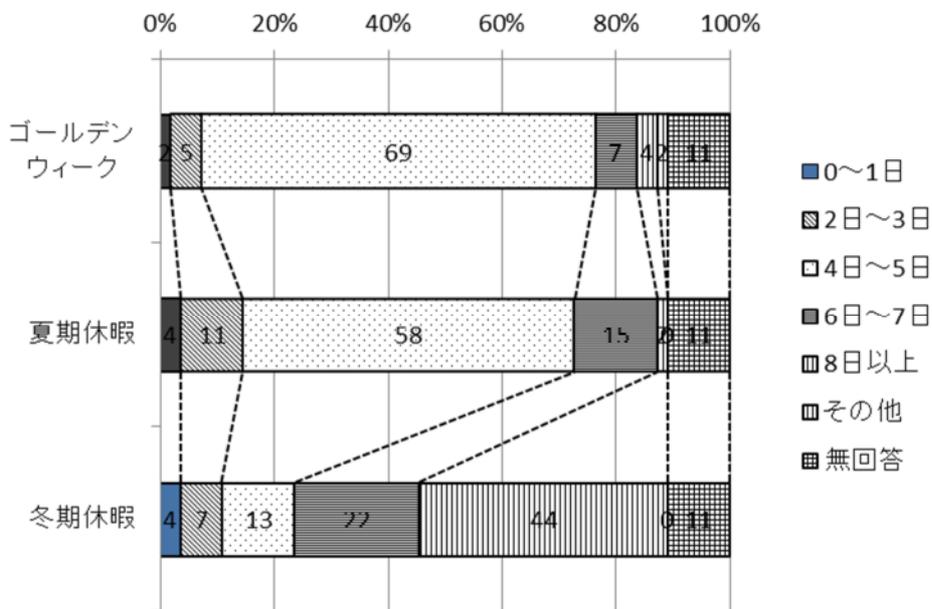


### 3) 連続休暇

前年（平成25年度）の連続休暇の日数をたずねたところ、ゴールデンウィークは「4日～5日」が69%、夏期休暇は「4日～5日」が58%、冬期休暇は比較的長く「8日以上」が44%と多かった。前回平成11年調査と比べると、日数が長い回答の割合がやや多くなっている

問7 貴社の連続休暇について、昨年（平成25年度）の実績（従業員平均）は何日だったかお答えください。

	ゴールデンウィーク			夏期休暇			冬期休暇		
	回答数	%	H11調%	回答数	%	H11調%	回答数	%	H11調%
0～1日	1	2	9	2	4	8	2	4	8
2日～3日	3	5	16	6	11	16	4	7	6
4日～5日	38	69	51	32	58	43	7	13	18
6日～7日	4	7	12	8	15	12	12	22	35
8日以上	2	4	1	1	2	14	24	44	27
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0
無回答	6	11	12	6	11	7	6	11	7
計	55	100	101	55	100	100	55	100	101



### 4) 生涯学習の支援につながる休暇制度・勤務形態

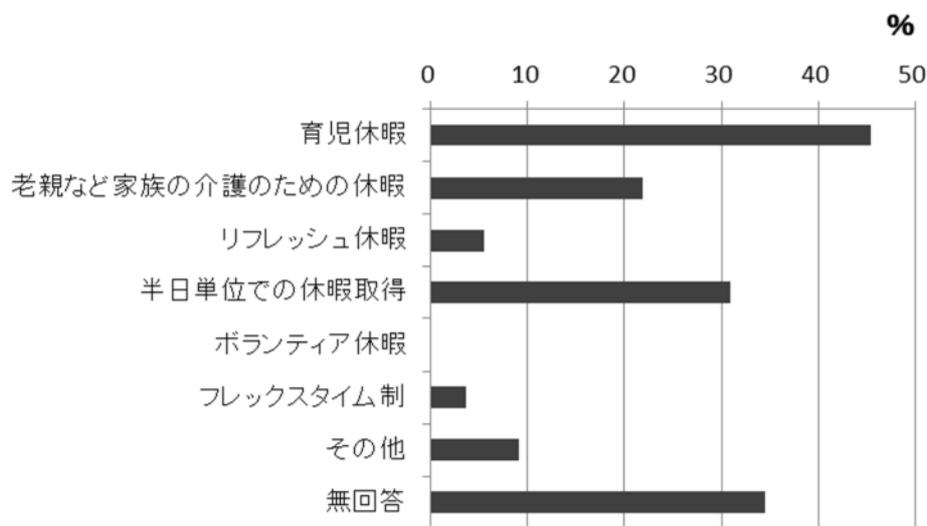
生涯学習の支援にもつながる休暇制度・勤務形態の導入状況について、「育児休暇」制度を導入している事業所は全体の45%、次いで「半日単位での休暇取得」が31%で、どちら

も前回平成 11 年調査より増えている。「老親など家族の介護のための休暇」は 22%で前回調査とほぼ同じだった。

「リフレッシュ休暇」「ボランティア休暇」「フレックスタイム制」を認めている事業所は少なく、前回平成 11 年調査と状況は変わらない。

問 8 下記の休暇制度や勤務形態のうち、貴社で採用しているものはあります。(あてはまるものすべてに○を)

問8(MA)	回答数	%	H11 調査%
育児休暇	25	45	33
老親など家族の介護のための休暇	12	22	21
リフレッシュ休暇	3	5	11
半日単位での休暇取得	17	31	22
ボランティア休暇	0	0	3
フレックスタイム制	2	4	7
その他	5	9	0
無回答	19	35	48
全体	55	-	-

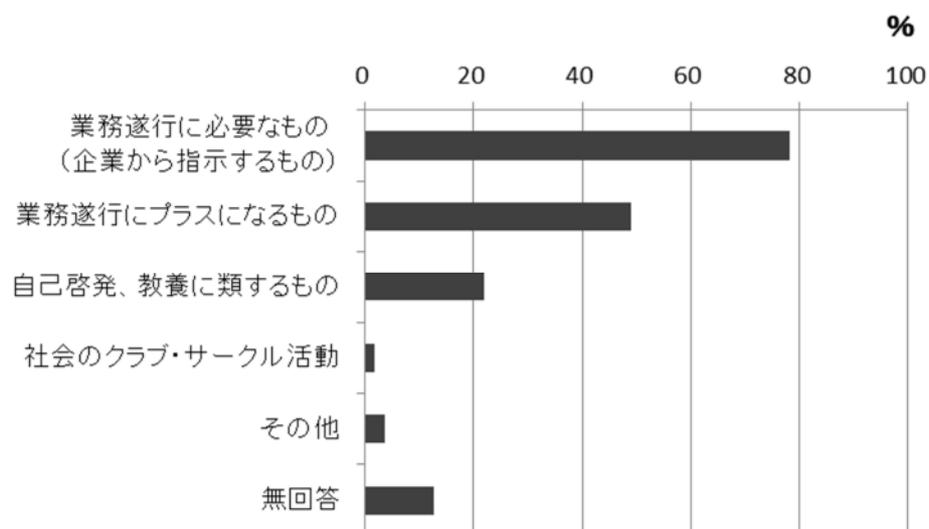


#### (4) 従業員の資格習得・講座などの参加に対する支援

従業員の資格習得・講座などの参加に対し、金銭的な負担や助成を行なっているかをたずねたところ、「業務遂行に必要なもの」78%、「業務遂行にプラスになるもの」49%で、業務関連であれば支援を行う事業所は多い。この傾向は前回平成11年調査と変わらない。

問9 以下のような、従業員の資格習得・講座などの参加に対し、貴社では金銭的な負担や助成を行なっているものはありますか。(あてはまるものすべてに○を)

問9(MA)	回答数	%	H11 調査%
業務遂行に必要なもの(企業から指示するもの)	43	78	70
業務遂行にプラスになるもの	27	49	51
自己啓発、教養に類するもの	12	22	20
社会のクラブ・サークル活動	1	2	14
その他	2	4	0
無回答	7	13	20
全体	55	-	-



## (5) 従業員の社会貢献活動への参加について

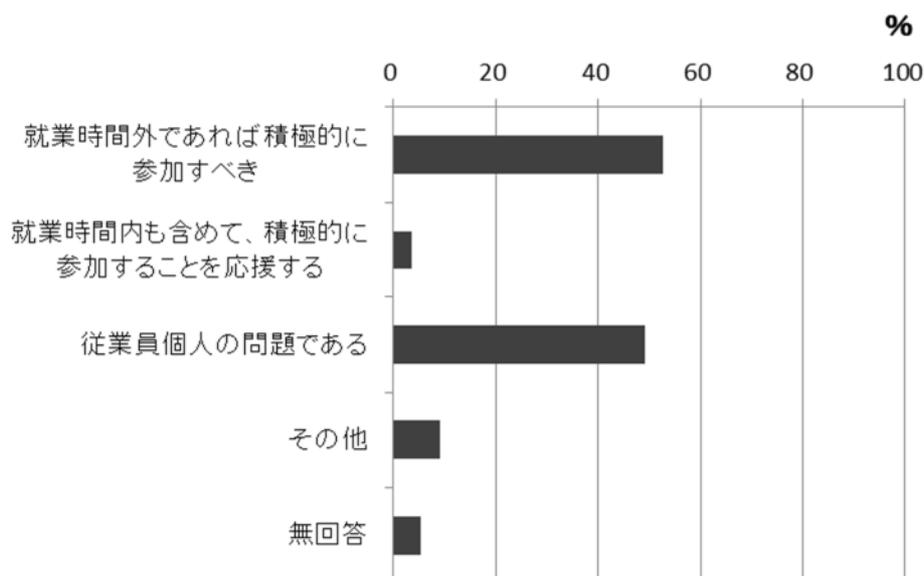
### 1) 参加に対する企業の姿勢

従業員が社会貢献活動を行う場合に、事業所がどのような姿勢かについてたずねたところ、「就業時間外であれば積極的に参加すべき」が事業所全体の 53%で最も多く、前回調査では最多だった「従業員個人の問題である」は 49%だった。

前回平成 11 年調査より、従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢が、やや積極的になっている傾向が見られる。

問 10 従業員社会貢献活動（ボランティアなど）への参加について、どのようにお考えでしょうか。（あてはまるものすべてに○を）

問10①(MA)	回答数	%	H11 調査%
就業時間外であれば積極的に参加すべき	29	53	39
就業時間内も含めて、積極的に参加することを応援する	2	4	9
従業員個人の問題である	27	49	56
その他	5	9	1
無回答	3	5	2
全体	55	-	-



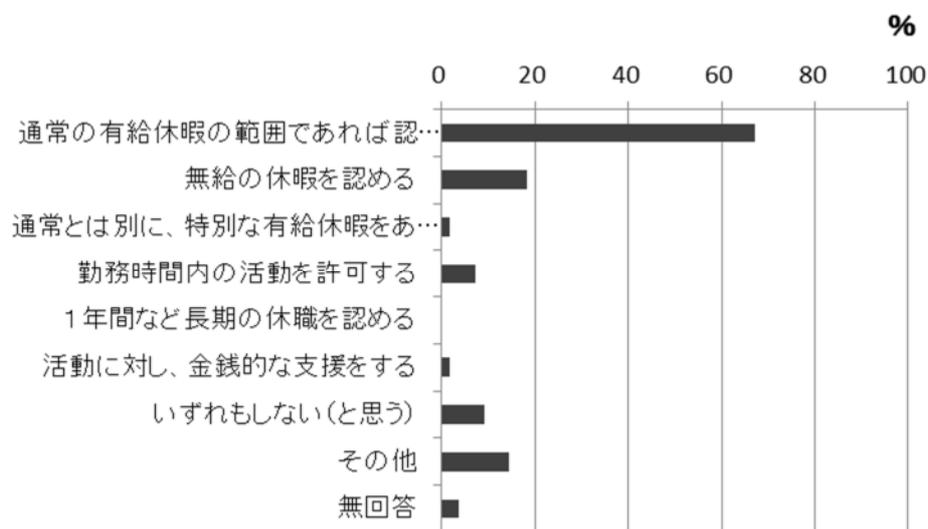
### 2) 参加申し出があった場合の対応

従業員から社会貢献活動に参加したいと申し出があった場合に、どのような対応をとるかをたずねたところ、「通常の有給休暇の範囲であれば認める」が事業所全体の 67%で最も多かった。

「勤務時間内の活動を許可する」や「活動に対し、金銭的な支援をする」「通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる」といった積極的な支援の姿勢で対応する事業所は少数だが、「いづれもしない」の回答は前回調査より少なくなっている。

従業員から、社会貢献活動に参加したい申し出があった場合、貴社ではどのような対応をとられるでしょうか。(あてはまるものすべてに○を)

問10②(MA)	回答数	%	H11 調査%
通常の有給休暇の範囲であれば認める	37	67	60
無給の休暇を認める	10	18	17
通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる	1	2	1
勤務時間内の活動を許可する	4	7	4
1年間など長期の休職を認める	0	0	0
活動に対し、金銭的な支援をする	1	2	2
いずれもしない(と思う)	5	9	16
その他	8	15	0
無回答	2	4	4
全体	55	-	-



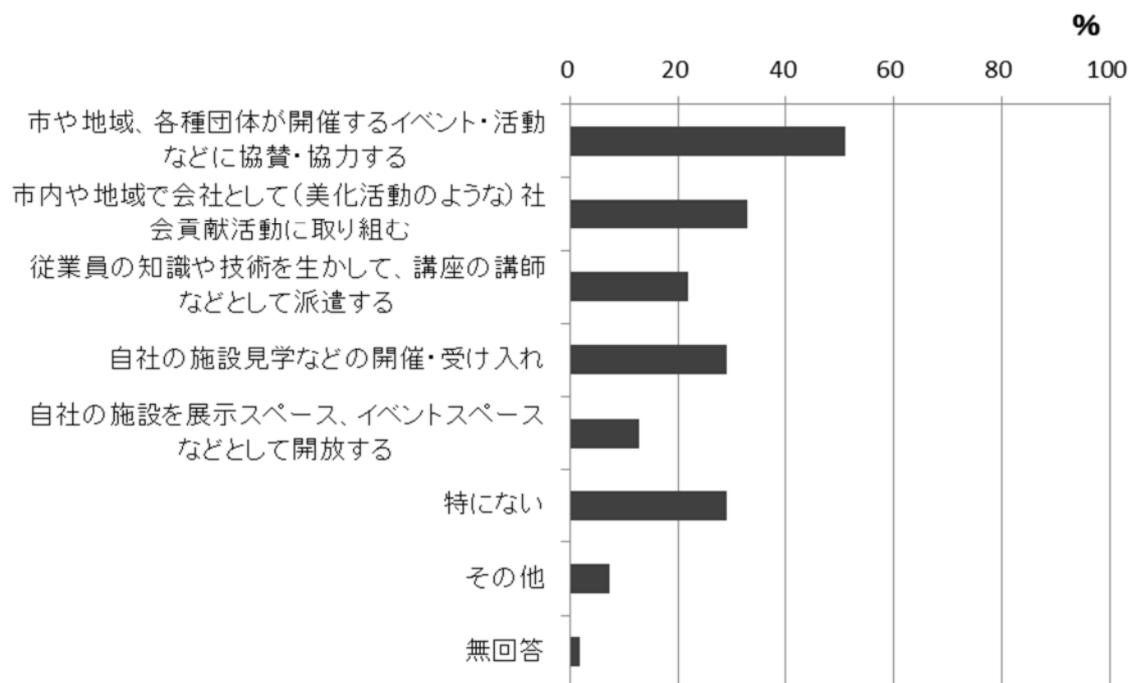
### (6) 会社としての社会貢献活動の取り組みについて

会社としての社会貢献活動の取り組みについての意向をたずねたところ、「市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する」が事業所全体の 51%で多数だった。「市内や地域で会社として(美化活動のような)社会貢献活動に取り組む」が 33%、「自社の施設見学などの開催・受け入れ」が 29%で、会社として社会貢献活動に取り組む意向が高いことがわかる。

「特にない」や無回答の事業所は 3 割ほどで、7 割の事業所で何らかの社会貢献活動への取組み意向を持っていることがわかった。

問 1 1 貴社では、会社としての社会貢献活動の取り組みについて、どのような意向をお持ちでしょうか。(あてはまるものすべてに○を)

問11(MA)	回答数	%
市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する	28	51
市内や地域で会社として(美化活動のような)社会貢献活動に取り組む	18	33
従業員の知識や技術を生かして、講座の講師などとして派遣する	12	22
自社の施設見学などの開催・受け入れ	16	29
自社の施設を展示スペース、イベントスペースなどとして開放する	7	13
特にない	16	29
その他	4	7
無回答	1	2
全体	55	-



## (7) 事業所アンケート調査結果のまとめ

### ○生涯学習の認知度には大きな変化はみられない

生涯学習の認知度は、「言葉は聞いたことがある」が55%で最も多く、「ある程度なら、内容まで知っている」、「よく内容を知っている」を合わせて33%であり、前回平成11年調査と同様に、言葉としては知っているが、その内容まで理解しているところはまだそれほど多くはないといえる。

### ○有給休暇制度、育児休暇制度の導入は進んでいる。連続休暇日数はやや増加している。

週休制度は、「週休2日制」は33%で、前回平成11年調査から導入の進展は見られなかった。

有給休暇制度は、「ある」が84%で、前回平成11年調査より増加した。年間有給休暇日数は、「10日～15日未満」28%、「20日～25日未満」24%だった。有給休暇の消化率では50%以上消化は男性で29%、女性で33%にとどまっている。

前年(平成25年度)の連続休暇の日数は、ゴールデンウィークは「4日～5日」が69%、夏期休暇は「4日～5日」が58%、冬期休暇は比較的長く「8日以上」が44%と多かった。前回平成11年調査と比べると、日数が長い回答の割合がやや多くなっている。

生涯学習の支援にもつながる休暇制度・勤務形態の導入状況について、「育児休暇」制度を導入している事業所は全体の45%、次いで「半日単位での休暇取得」が31%で、どちらも前回平成11年調査より増えている。「リフレッシュ休暇」「ボランティア休暇」「フレックスタイム制」を認めている事業所は少なく、前回平成11年調査と状況は変わらない。

### ○業務関連であれば従業員の資格習得・講座などの参加に対する支援を行う事業所は多い

従業員の資格習得・講座などの参加に対する、金銭的な負担や助成の実施について、「業務遂行に必要なもの」78%、「業務遂行にプラスになるもの」49%で、業務関連であれば支援を行う事業所は多い。この傾向は前回平成11年調査と変わらない。

### ○従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢は、やや積極的になっている傾向が見られる

従業員の社会貢献活動への参加に対する事業所の姿勢は、「就業時間外であれば積極的に参加すべき」が事業所全体の53%で最も多く、前回調査では最多だった「従業員個人の問題である」は49%だった。前回平成11年調査より、従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢が、やや積極的になっている傾向が見られる。

従業員から社会貢献活動に参加したいと申し出があった場合の対応について、「通常の有給休暇の範囲であれば認める」が事業所全体の67%で最も多かった。「勤務時間内の活

動を許可する」や「活動に対し、金銭的な支援をする」「通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる」といった積極的な支援の姿勢で対応する事業所は少数だが、「いずれもしない」の回答は前回調査より少なくなっている。

#### ○会社としての社会貢献活動への取り組み意向は高い

会社としての社会貢献活動の取り組みについて、7割の事業所で何らかの社会貢献活動への取組み意向を持っていることがわかった。「市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する」が事業所全体の51%、「市内や地域で会社として（美化活動のような）社会貢献活動に取り組む」が33%、「自社の施設見学などの開催・受け入れ」が29%と、会社として社会貢献活動に取り組む意向は高い。